

ちがさき男女共同参画推進プラン

平成23年度～平成27年度

(2011年度～2015年度)

進捗状況に関する報告書

【平成23～25年度】

平成26年(2014年)7月

茅ヶ崎市

目次

I	本報告書の目的	1
1	目的	1
2	評価者及び評価の対象	2
3	事業計画の進行管理	3
4	評価方法及び評価基準	4
5	報告事項	7
6	対象年度	7
II	成果指標に基づく評価	9
1	男女共同参画に関するアンケート調査	9
2	男女共同参画の進捗状況に関する評価及び基本目標別評価	10
	男女共同参画の進捗状況	10
	基本目標1 男女平等の意識づくり	12
	基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	14
	基本目標3 人権が尊重される社会づくり	16
	基本目標4 男女が共に参画するまちづくり	18
III	活動指標に基づく評価	20
1	プラン、基本目標及び目標の活動率	20
2	目標別評価	22
	基本目標1 男女平等の意識づくり	22
	目標1 男女平等について学ぶ機会を増やす	22
	目標2 「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識をなくす	24
	目標3 平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進する	24
	基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	26
	目標4 働きやすい環境をつくる	26
	目標5 子育て、介護がしやすい環境をつくる	28
	目標6 男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめる	34
	基本目標3 人権が尊重される社会づくり	36
	目標7 あらゆる暴力をなくす	36
	目標8 茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした相談事業に取り組む	38
	目標9 女性が自分のからだのことを自分で決める権利を女性の人権として 確立する	38
	目標10 生涯にわたる健康を支援する	40

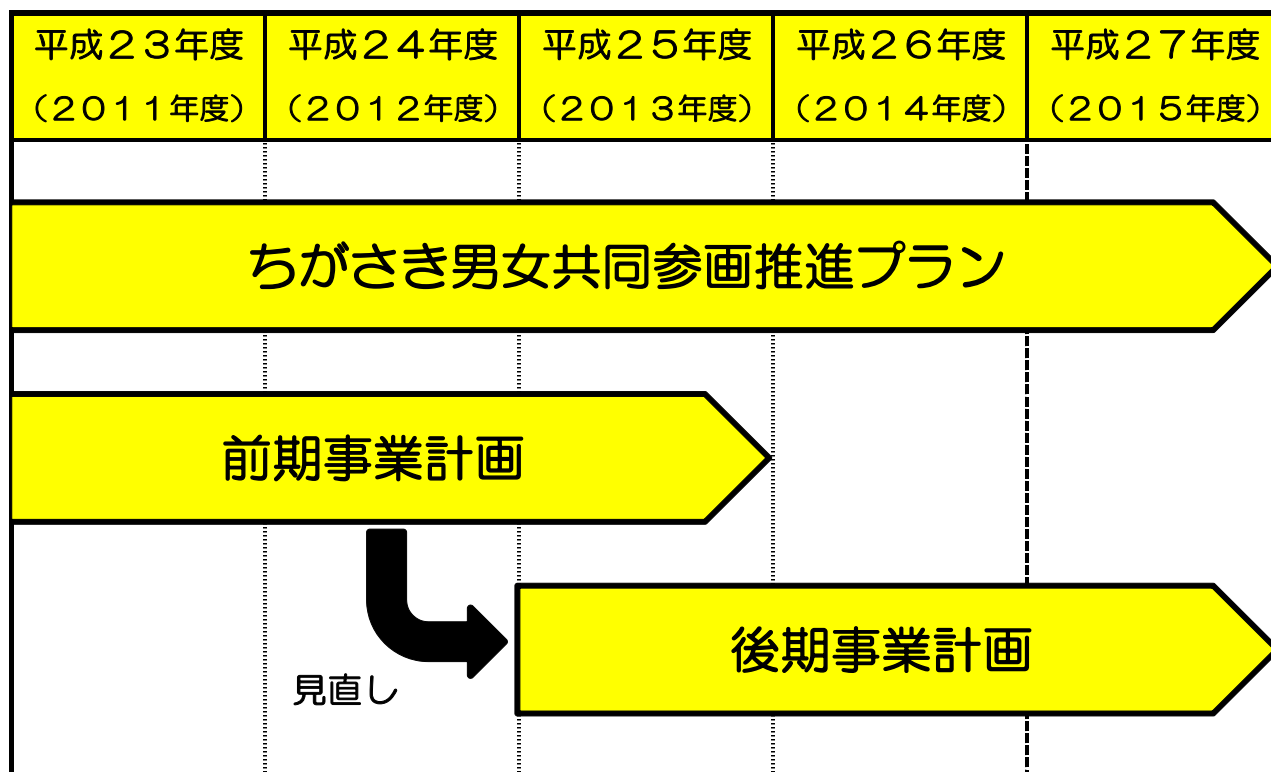
目標 1 1	人権尊重のために、メディアからの情報を主体的に読み解く力 （メディア・リテラシー）を育成する	42
目標 1 2	様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備する	44
基本目標 4	男女が共に参画するまちづくり	48
目標 1 3	政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やす	48
目標 1 4	市民が主体的に男女共同参画を推進する	50
3	担当課による事務事業に対する評価	56
IV	資料	65

I 本報告書の目的

1 目的

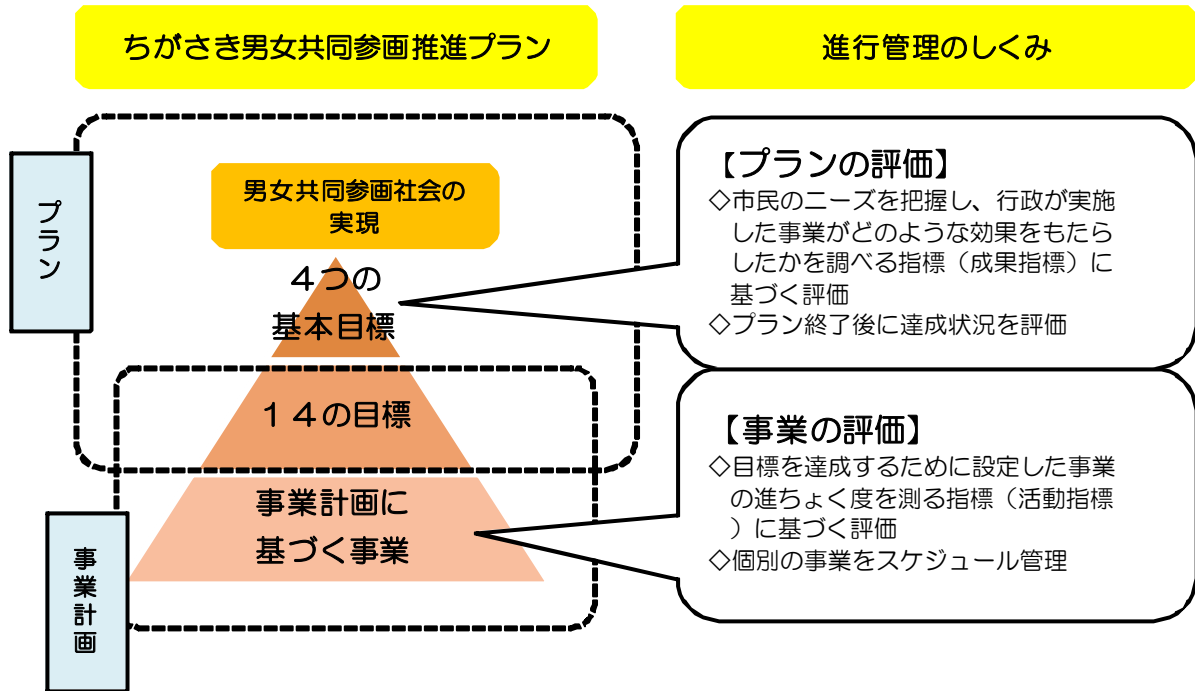
男女共同参画社会の実現に向け、本市では、茅ヶ崎市総合計画の個別プランとして、国の男女共同参画社会基本法に基づき「ちがさき男女共同参画推進プラン」【平成23年度（2011年度）～平成27年度（2015年度）】（以下「プラン」といいます。）を平成23年3月に策定しました。

本報告書は、本市における男女共同参画社会の実現に向けた各種の取り組みを進める中で、事業計画に基づく実施事業の進捗状況等を把握するとともに、実施事業の進捗状況の課題を整理し、公表するものです。



2 評価者及び評価の対象

本市が、プランの成果指標に基づき、実施したプランの進捗状況を総合的に評価します。
また、事務事業を実施した担当課が、活動指標に基づき、実施した事務事業を評価します。

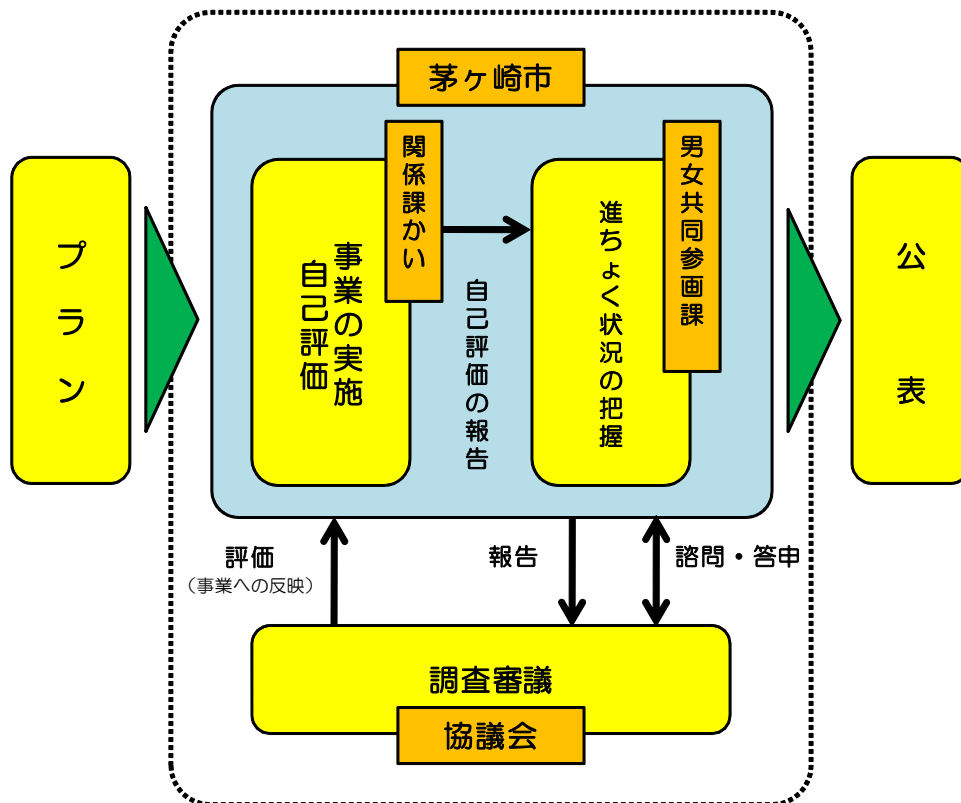


3 事業計画の進行管理

事業計画に位置付けた事業の着実な推進を図るため、指標による評価や課題分析、事業のスケジュール管理を体系的に行い、効果的な事業計画の進行管理に努めます。

事業計画では、14の目標ごとに指標に基づき事業の評価を行います。

進行管理にあたっては、茅ヶ崎市男女共同参画推進会議において随時状況を把握しつつ、ちがさき男女共同参画推進プラン協議会における意見も踏まえ、各事業の着実な推進に努めます。



4 評価方法及び評価基準

プランでは、男女共同参画社会基本法の理念に則り、男女共同参画社会の形成に向けた施策を実施し、その進行管理を行う中で、施策の現状がどうなっているかを検証するため、プラン策定時に評価指標を設定しました。この評価指標は、本市が実施したそれぞれの施策がどのような効果（成果）をもたらしたかを調べる尺度（ものさし）とするもので、それぞれに目標値を定め示したものです。この評価指標は、計画期間である平成23年度から27年度までの5年間、経年推移の観察が可能なアンケート手法による意識調査にて把握が可能なものを主として設定しました。

1. 男女共同参画の進捗状況に関する指標

調査方法	指標名	説明	実績値	目標値 (平成27年度)	担当課
アンケート	男女共同参画社会基本法を知っている人の割合	男女共同参画についての市民の意識の浸透度を測る目安として、男女共同参画社会基本法を知っている人の割合を指標として設定。※参考：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成21年10月）「男女共同参画社会」という用語を聞いたことのある人の割合 64.6%	33.7% (平成17年9月)	60.0%	男女共同参画課
アンケート	ちがさき男女共同参画推進プランを知っている人の割合	男女共同参画についての市民の意識の浸透度を測る目安として、ちがさき男女共同参画推進プランを知っている人の割合を指標として設定。	12.2% (平成17年9月) (前プランを知っている人の割合)	50.0%	男女共同参画課
アンケート	茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ（旧女性センター）を拠点とした男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを知っている人の割合	茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ（旧女性センター）を拠点とした講座等男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを知っている人の割合を指標として設定。	なし	60.0%	男女共同参画課

2. 基本目標に対する指標

基本目標	調査方法	指標名	説明	実績値	目標値 (平成27年度)	担当課
男女平等の意識向上	アンケート	男女の地位における平等感 (社会通念・習慣・しきたりにおける平等と思う人の割合)	男女共同参画の実現に向け、男女平等の意識の浸透の目安として、社会通念・習慣・しきたりにおいて男女の地位が平等であると思う人の割合を指標として設定。※参考：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成21年10月)同左20.6%	12.3% (平成21年10月)	20.0%	男女共同参画課
	アンケート	固定的性別役割分担意識について反対と思う人の割合	多様な生き方を認め合う男女共同参画社会の意識の浸透の目安として、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について反対と思う人の割合を指標として設定。※参考：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成21年10月)同左55.1%	35.1% (平成21年10月)	55.0%	男女共同参画課
仕事と生活の両立が可能な環境向上	アンケート	女性が職業を持つことについて「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える人の割合	多様な生き方を認め合う男女共同参画社会の意識の浸透の目安として、子どもができて、ずっと職業を続ける方がよいと考える人の割合を指標として設定。※参考：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成21年10月)同左45.9%	37.4% (平成21年10月)	50.0%	男女共同参画課
	実績	ワーク・ライフ・バランスの推進 ※茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画(後期計画平成22年度～平成26年度)と連携	人生の各段階に応じて、多様な生き方、働き方が選択できる、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けた啓発講座等実施事業数を指標として設定。	3事業 (平成21年度)	4事業	男女共同参画課
	実績	待機児童解消のための保育園の整備拡充(通常保育事業) ※茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画(後期計画平成22年度～平成26年度)と連携	待機児童解消のため、また保護者の多様な保育ニーズに対応するため、保育園の入園児童数を指標として設定。 ※茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画において、目標値を当初値の2,500人から上方修正し、2,800人に設定。	2,101人 (平成21年6月)	2,800人	保育課

基本目標	調査方法	指標名	説明	実績値	目標値 (平成27年度)	担当課
人権が尊重される社会づくり	実績	家庭児童相談事業※茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画（後期計画平成22年度～平成26年度）より抜粋	家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉向上のため、児童相談所、保健福祉事務所、学校、警察署及び関係機関との連携を緊密にしながら実施している家庭児童相談室における相談解決率を指標として設定。	50.0% (平成21年9月)	60.0% (平成26年度)	こども育成相談課
	アンケート	女性のための相談室を知っている人の割合	問題解決の一助として、困ったときに安心して相談できる女性のための相談室の存在を知っている人の割合を指標として設定。	13.5% (平成17年9月)	40.0%	男女共同参画課
	アンケート	女性がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを有するという考え方に賛成する人の割合	女性が、妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利である性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）を有するということの意識の浸透を図る目安として、その考え方に賛成する人の割合を指標として設定。	65.4% (平成21年10月)	75.0%	男女共同参画課
	アンケート	メディア・リテラシーを知っている人の割合	「女性や子どもの人権を侵害するような表現に問題意識を持って情報を取捨選択し、読み解き、活用することが大切である」という考え方の浸透を図るため、メディア・リテラシーを知っている人の割合を指標として設定。	なし	増加	男女共同参画課
男女が共に参画するまちづくり	実績	市の審議会等における女性委員の割合	性別に偏らない政策、意思決定の場の実現のため、市の審議会等における女性委員の割合を指標として設定。	25.7% (平成22年3月)	40.0% ※達成した時点で新たな目標値を設定する。	男女共同参画課
	実績	託児サポーター事業の活用	子育て中の方が、啓発講座や審議会等への参加が可能な体制を整えることを目的とし託児サポーターを活用した事業数を指標として設定。	6事業 (平成22年6月現在)	30事業	男女共同参画課

5 報告事項

評価については、本市及び事務事業担当課の評価を示しました。

男女共同参画の進捗状況及び基本目標については、本市の総評を示しました。

また、実施した事務事業については、活動実績、実績値、活動率、予算額及び決算額を取りまとめました。

6 対象年度

本報告書の対象となる事務事業の年度は、平成23～25年度としました。

Ⅱ 成果指標に基づく評価

1 男女共同参画に関するアンケート調査

男女共同参画に関する意識を把握し、今後の男女共同参画の施策に反映させるための基礎資料とすることを目的として、毎年アンケートを実施します。

このアンケートの結果と、本市の男女共同参画の進捗状況及びプランの基本目標の目標値を比較し、本市が実施したプランの進捗状況を総合的に評価します。

なお、平成25年度に実施したアンケートの設計及び回収結果は次のとおりです。

1 調査の設計

- ①調査地域：茅ヶ崎市内全域
- ②調査対象：市内に居住する満18歳以上の男女
- ③標本数：1,300人
- ④抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法
- ⑤調査方法：郵送配布調査法（往復はがき）
- ⑥調査期間：平成25年5月1日（水）から5月31日（金）まで

2 回収結果

- ①発送数：1,300件
- ②有効回収数：433件
- ③回収率：33.3%

<p>郵便往復はがき 往復</p> <p>茅ヶ崎市 料金後納 郵便</p> <p>宛名シール添付面</p> <p>【ご回答にあたってのお願い】</p> <p>1 記入方法 このアンケートは個人の方を対象としておりますので、あて名の方が直接ご記入くださるか、ご家族の方などに協力いただきご記入ください。また、ご記入は黒や青のボールペン、または鉛筆ではっきりとお書きください。なお、紙面の都合上、文字が小さいことにつきましてはご容赦くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>2 提出期限 ご記入が終了しましたら、お手数ですが取り離して、平成25年6月30日（木）までに返信くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>お問い合わせ先 茅ヶ崎市 文化生涯学習部 男女共同参画課 電話 0467-57-1414（直通）</p>	<p>平成23年度 男女共同参画社会に関するアンケート調査 ご協力のお願い</p> <p>東日本大震災により亡くなられた方々とそのご遺族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々や避難生活を続けておられる方々に心からお見舞い申し上げます。また、市民の皆様におかれましては、日ごろより男女共同参画の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、本市では、今後の男女共同参画の施策に反映させるための基礎資料とするため「男女共同参画に関するアンケート調査」を実施することになりました。</p> <p>そこで、茅ヶ崎市にお住まいの満18歳以上の男女900人を住民基本台帳より無作為に選ばせていただいた結果、そのお一人としてあなた様にアンケートのご協力をお願いすることになりました。</p> <p>お忙しいところお手数はございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいます。</p> <p>平成23年6月</p> <p>※ このアンケート調査は、無記名で行いますので、調査票に本人、また、行先上の基礎資料としてこの目的以外には使用することはできません。</p>	<p>郵便往復はがき 返信</p> <p>料金受取人払郵便 253-879</p> <p>茅ヶ崎支店 承認 (受取人) 252 茅ヶ崎市役所 男女共同参画課 行</p> <p>差出有効期間 平成24年 3月31日まで (切手不要)</p> <p>はじめに、あなたご自身のことについておうかがいいたします。 設問に対するお答えは、選択肢がある場合には、1つだけ○印で囲んでください。</p> <p>○あなたの性別を教えてください。男性・女性 ○あなたの年代をご記入ください。() 歳代 ○あなたの職業は、次のどれにあたりますか。 1 農業者・漁業者 2 自営業・経営者・自由業 (経営者や弁護士など) 3 公務員・団体職員 4 会社員 5 パート・アルバイト 6 家事専業 7 学生 8 無職 9 その他 () ○あなたのご家族は次のどれにあたりますか。 1 単身者 (ひとり暮らしなど) 2 夫婦のみ (パートナーとふたり暮らし) 3 親と未婚の子どものみ 4 親と子ども夫婦のみ 5 直続3世代以上 (親と子、孫など) 6 その他 ()</p> <p>※ 1 F/Fの情報を主体的に読み解く能力、活用する能力、F/Fを通じていかにする能力の3つを構成要素とする複合的な要領のこと。</p> <p>ご協力いただき、ありがとうございました。</p>
--	--	---

～毎年実施している
はがきアンケートのイメージ～

2 男女共同参画の進捗状況に関する評価及び基本目標別評価

男女共同参画の進捗状況

●指標の説明

【男女共同参画社会基本法を知っている人の割合】

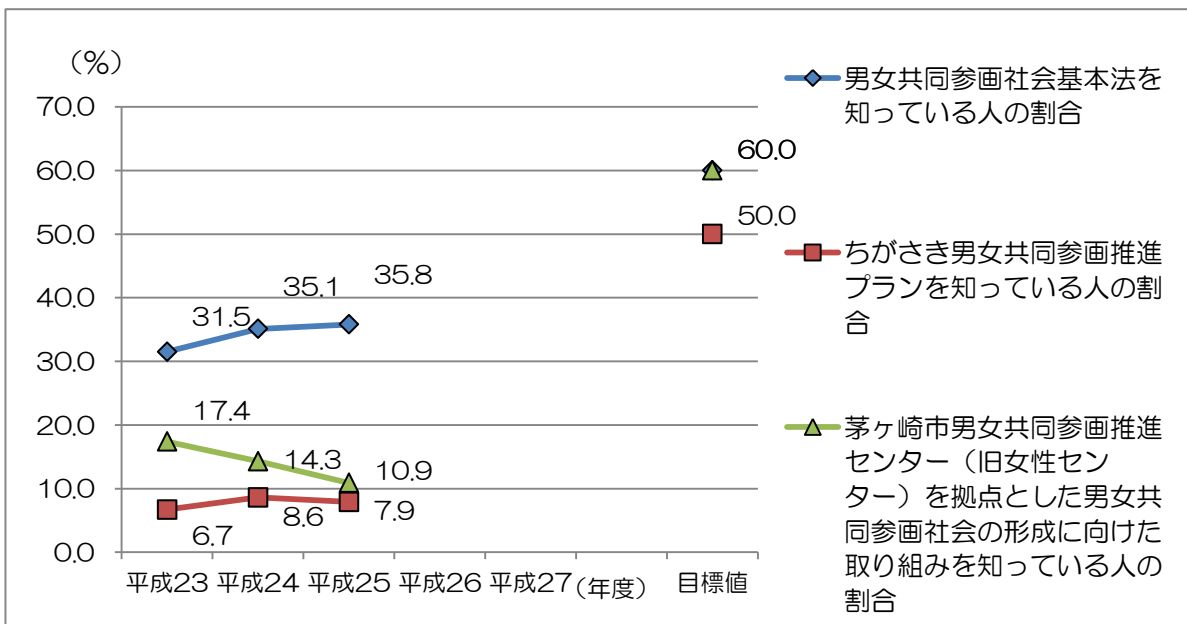
男女共同参画についての市民の意識の浸透度を測る目安として、男女共同参画社会基本法を知っている人の割合を指標として設定。

【ちがさき男女共同参画推進プランを知っている人の割合】

男女共同参画についての市民の意識の浸透度を測る目安として、ちがさき男女共同参画推進プランを知っている人の割合を指標として設定。

【茅ヶ崎市男女共同参画推進センター（旧女性センター）を拠点とした男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを知っている人の割合】

茅ヶ崎市男女共同参画推進センター（旧女性センター）を拠点とした講座等男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを知っている人の割合を指標として設定。



当初、計画策定時における目標値は、平成21年10月に実施した市民アンケート調査（発送数：3,000件、有効回答率：53.9%、調査方法：郵送配布調査（手紙によるアンケート調査））を主として設定しています。

進行管理における参考とする指標の結果は、平成23年度から平成25年度に実施した、はがきによるアンケート調査の結果です。

●本市の評価

【平成23年度】

茅ヶ崎市における男女共同参画の形成の促進に向けた取組の理念となる「ちがさき男女共同参画推進プラン」を、プランの期間である平成23年度から27年度の5年にかけて周知することで、男女共同参画の形成された社会の必要性の周知につなげます。同時に、男女共同参画社会基本法を周知していきます。茅ヶ崎市女性センターのこれまでの取組や役割を改めて見直し、より男女共同参画社会の形成を推進する施設となるように、本市の取組を周知していきます。

【平成24年度】

平成24年度は、平成25年4月1日に施設名称を「茅ヶ崎市女性センター」から、プラン名と符合する「茅ヶ崎市男女共同参画推進センター」に名称変更する手続きを行いました。それに伴い、より親しみやすい施設となるように愛称を募集しました。平成25年1月1日号広報に掲載すると共に、施設利用者に周知広報し、名称変更に伴う愛称募集の機会を捉え、改めて男女共同参画について考えていただくきっかけとしました。

今後は、「茅ヶ崎市男女共同参画推進センター」を拠点に事業を実施し、男女共同参画について周知啓発をしていくと共に、愛称である「いこりあ」（平等な場所を意味する造語）を広く知っていただけるようプランと共に広報に努めます。

【平成25年度】

男女共同参画社会基本法を知っている人の割合は35.8%、ちがさき男女共同参画推進プランを知っている人の割合は7.9%と微増傾向にありますが、前者は目標値の5割台、後者は目標値の1割台となっています。また、茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを拠点とした男女共同参画社会の形成に向けた取組を知っている人の割合は10.9%で平成25年度まで目標値の1割台となっていて、周知が進んでいない現状です。

平成25年度は、前期事業計画を見直し、改めて男女共同参画社会の形成に向けた事務事業を取りまとめた後期事業計画の初年度です。残り2か年度となったちがさき男女共同参画推進プランの間で、特に本市の取り組みの周知について、一層の広報活動に努めます。

【平成26年度】



【平成27年度】



【平成23年度から平成27年度までの総括】



基本目標1 男女平等の意識づくり

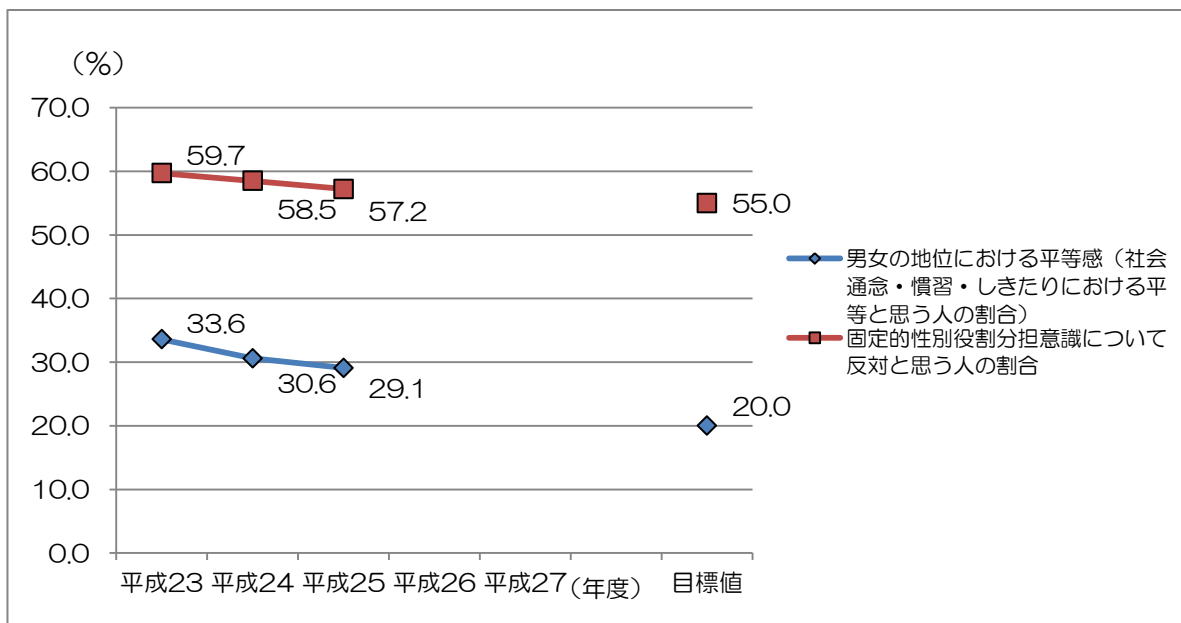
●指標の説明

【男女の地位における平等感（社会通念・習慣・しきたりにおける平等と思う人の割合）】

男女共同参画の実現に向け、男女平等の意識の浸透の目安として、社会通念・習慣・しきたりにおいて男女の地位が平等であると思う人の割合を指標として設定。

【固定的性別役割分担意識について反対と思う人の割合】

多様な生き方を認め合う男女共同参画社会の意識の浸透の目安として、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について反対と思う人の割合を指標として設定。



●本市の評価 【平成23年度】

これまでのアンケートは、学校や家庭等、あらゆる場面と比較しながら回答することが可能な冊子形式でした。平成23年度より開始したはがき形式は、紙面の制限から他の場面との比較による設問ではなかったことから、社会通念・習慣・しきたりにおける平等とと思う人の割合が高い傾向となったと考えられます。

男女共同参画の視点は、人権に配慮されたものであることが基本です。家庭でも地域でも、子どもの頃から、男女共同参画への意識づくりにつながる取組を実施していくことの必要性について関係する担当課と共有し、その取組を今後も実施していきます。

【平成24年度】

平成24年10月、国は、平成21年度と同等の男女共同参画に関する世論調査を実施し、本市もはがきによるアンケート調査を逸しました。「社会通念・慣習：しきたりなどにおける男女の地位の平等感について」は、平等と答えた人の割合は（国21.4%、市30.6%）といずれも低い結果となっています。男性の方が優遇されている（国70.4%、市58.7%）と比較しても、ポイント数に差がありますが、男性優遇と考えていることが同え、傾向が似ていることがわかります。今後は、国のアンケート結果と比較しながら推移をみていく必要があります。また、固定的性別役割分担意識である、「男は外で働き、女は家庭を守るべきかについて」は、賛成51.6%、反対45.1%という結果となっており、指標設定時の参考とした21年度調査と比べると、10ポイント低い結果となっていますので、今後も傾向をみていくことが必要です。

【平成25年度】

男女の平等感や固定的性別役割分担意識について反対と思う人の割合は、いずれも目標値を越えています。微減傾向にあります。

男女共同参画社会基本法第4条には、「社会における制度又は慣行が男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない」旨が規定されています。

このことに基づき、固定的性別役割分担意識をなくすことを目的とした講座等を開催すると共に、施策を立案及び実施する関係課に対し、あらゆる施策や計画の策定段階において男女共同参画の視点を持つことの重要性を啓発していくことに努めます。

【平成26年度】

【平成27年度】

【平成23年度から平成27年度までの総括】

基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり

●指標の説明

【女性が職業を持つことについて「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える人の割合】

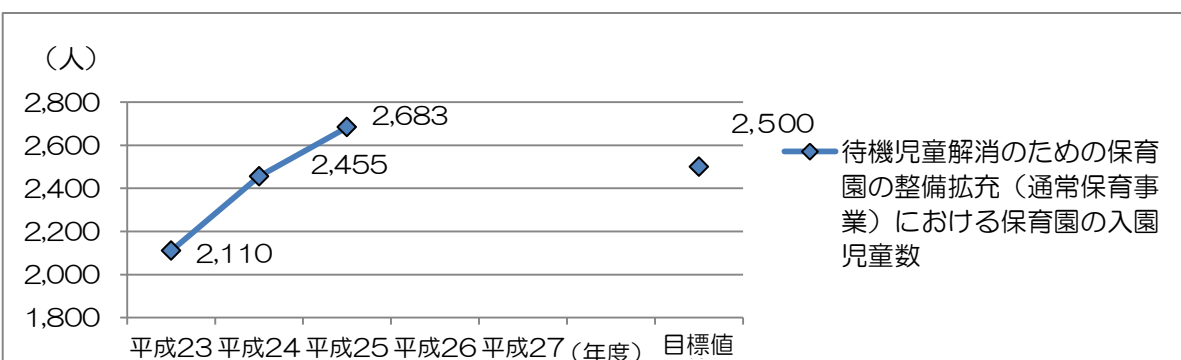
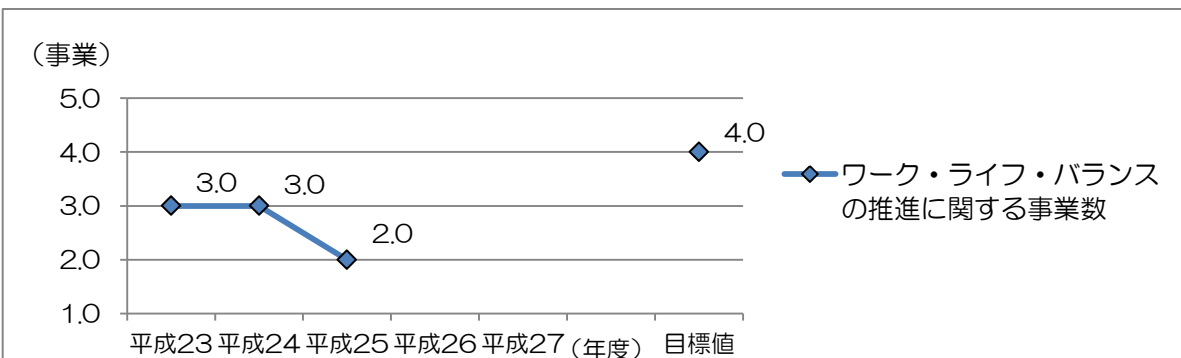
多様な生き方を認め合う男女共同参画社会の意識の浸透の目安として、子どもができて、ずっと職業を続ける方がよいと考える人の割合を指標として設定。

【ワーク・ライフ・バランスの推進】

人生の各段階に応じて、多様な生き方、働き方が選択できる、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた啓発講座等実施事業数を指標として設定。

【待機児童解消のための保育園の整備拡充（通常保育事業）】

待機児童解消のため、また保護者の多様な保育ニーズに対応するため、保育園の入園児童数を指標として設定。



●本市の評価

【平成23年度】

基本目標については、関係する担当課の協力を得て多くの事業を実施できました。社会の変化に伴い、指標である「女性が職業を持つこと」については肯定的な意見が増えて、これまでのアンケート結果からも少しずつ変化を見ることが出来ます。女性が働きたい・働き続けたいと思った時、その時々を選択を可能とする環境整備を継続的に行うと共に、「男は仕事、女は家庭」といった社会的な性別役割分担意識の解消のために、目標1と関連する意識啓発に取り組んでいくことが必要であると考えます。待機児童の解消はもとより、家庭的保育事業等その他の取組も活用し、ライフスタイルごとに選択肢がある社会の構築も、関係する担当課と共に取組を推進していくことが必要です。

【平成24年度】

「女性が職業を持つこと」については、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える人の割合は、平成23年度と平成24年度を比べると、7.9ポイント高い結果となっています。平成24年度の国の調査では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える人の割合は、47.5%でした。

また「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」という回答は、（国30.8%、市48.3%）となっており、市では、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」という回答が多い結果となっています。

今後も、基本目標2の指標のひとつである待機児童の解消に向けた取組など、仕事と生活が両立できる環境づくりについて継続的に取り組んでいくことが必要です。

【平成25年度】

女性が職業をもつことについて「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える人の割合は増加傾向にあります。引き続き、多様な生き方を認め合う男女共同参画社会の意識の浸透に努めます。

その一つの方法としてのワーク・ライフ・バランスの推進に関する事業についても実施していきます。

待機児童解消のための保育園の整備拡充における保育園の入園児童数については、その児童数を拡充してきました。今後も、本市の将来の人口の推移を注視しつつ、環境づくりに努めます。

【平成26年度】



【平成27年度】



【平成23年度から平成27年度までの総括】



基本目標3 人権が尊重される社会づくり

●指標の説明

【家庭児童相談事業】

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉向上のため、児童相談所、保健福祉事務所、学校、警察署及び関係機関との連携を緊密にしながら実施している家庭児童相談室における相談解決率を指標として設定。

【女性のための相談室を知っている人の割合】

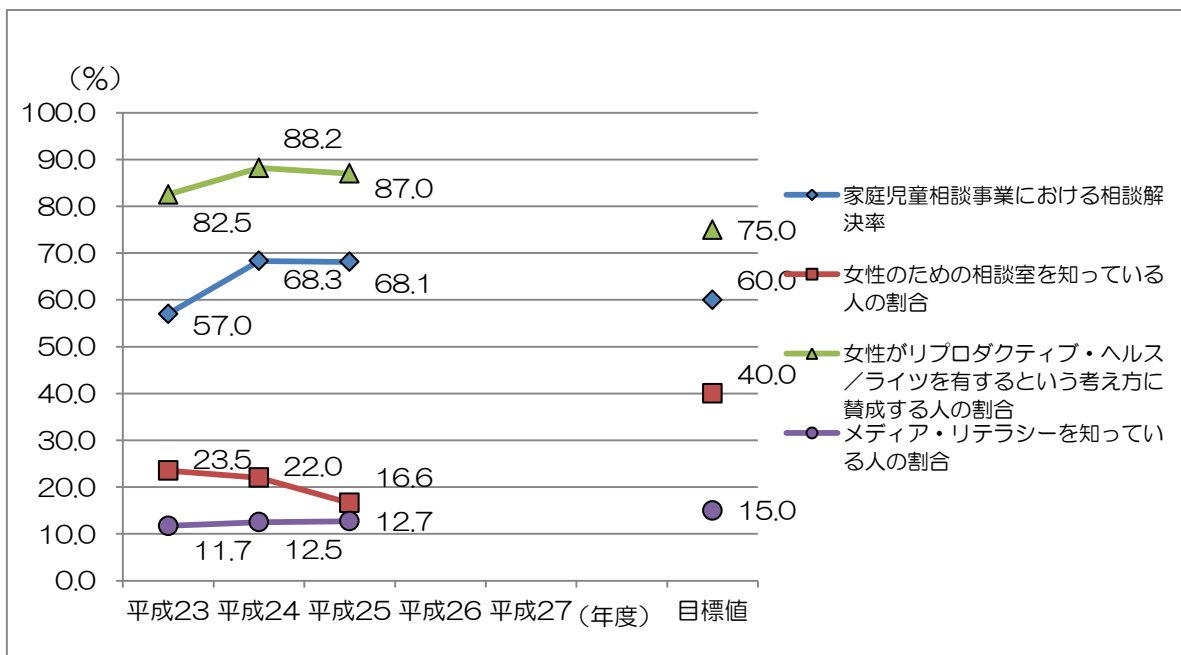
問題解決の一助として、困ったときに安心して相談できる女性のための相談室の存在を知っている人の割合を指標として設定。

【女性がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを有するという考え方に賛成する人の割合】

女性が、妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利である性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）を有するという意識の浸透を図る目安として、その考え方に賛成する人の割合を指標として設定。

【メディア・リテラシーを知っている人の割合】

「女性や子どもの人権を侵害するような表現に問題意識を持って情報を取捨選択し、読み解き、活用することが大切である」という考え方の浸透を図るため、メディア・リテラシーを知っている人の割合を指標として設定。



●本市の評価

【平成23年度】

現在、基本目標3の中で暴力防止に関する取組を強化していくため、指標のひとつとして虐待に対する取組を示しています。「人権の尊重」は、あらゆる目標において大切なテーマであり、特にリプロダクティブ・ヘルス/ライツについては、人権尊重の視点を忘れてはならないものです。健康に焦点を当てただけではなく、「女性がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを有する」という考え方に理解がある社会となるように、啓発事業の機会を持つことに努めていきます。

メディア・リテラシーについても、関係する担当課が取り組む情報紙作成等にこの考えが配慮がされるように啓発していきます。

【平成24年度】

基本目標3については、国籍、年齢、障害などに関わらず、誰もが自立して生き生きと暮らすことを支援すると共に、あらゆる暴力を容認しないことで、人権が尊重された社会づくりを推進するものです。特に人権尊重の視点から、暴力防止に関する取り組みについては、日頃から様々な世代に向けて啓発を必要とするものです。

基本目標3に係る各指標については、ほぼ昨年度並みの結果となっておりますが、「女性のための相談室」を知っている人の割合については、他の指標と比べて目標値の約半分に留まる結果となっております。これまで以上に、周知に努めていきます。

また、平成24年度は、「女性がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを有する」に関しては、目標値を上回っていますが、啓発等事業は積極的に実施するように努めていきます。

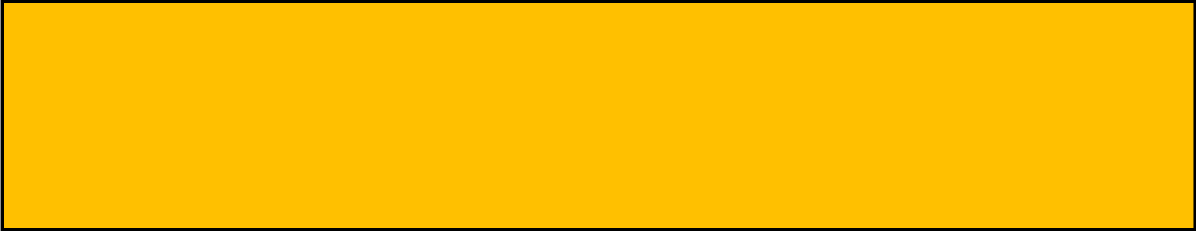
【平成25年度】

家庭児童相談事業における相談解決率及び女性がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを有するという考え方に賛成する人の割合はいずれも高く、目標値を越えています。今後も、高い割合を維持できるように家庭児童相談室を運営し、意識啓発に努めます。

一方、女性のための相談室を知っている人の割合は16.6%で目標値の4割台となっております。より多くの女性にとって問題解決の一助となるよう、次年度以降は、これまで以上に女性のための相談室の周知に努めます。

なお、メディア・リテラシーを知っている人の割合はほぼ横ばいとなっております。引き続き、市民・職員に関わらず、情報を取捨選択し、読み解き活用することの大切さを啓発していきます。

【平成26年度】



【平成27年度】



【平成23年度から平成27年度までの総括】



基本目標4 男女が共に参画するまちづくり

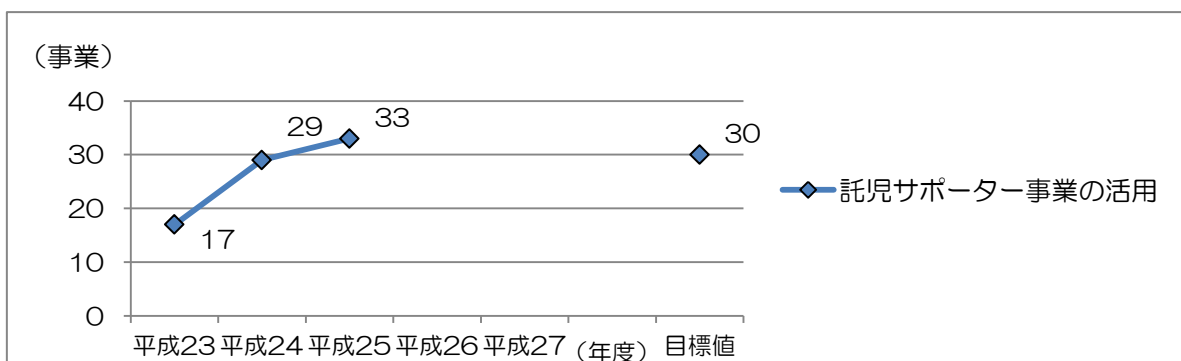
●指標の説明

【市の審議会等における女性委員の割合】

性別に偏らない政策、意思決定の場の実現のため、市の審議会等における女性委員の割合を指標として設定。

【託児サポーター事業の活用】

子育て中の方が、啓発講座や審議会等への参加が可能な体制を整えることを目的とし託児サポーターを活用した事業数を指標として設定。



●本市の評価

【平成23年度】

政策、意思決定の場への女性の参画は、これまでも取り組んできた課題ですが、審議会の委員改選に伴い、平成22年度（27.6%）と比較して平成23年度の女性委員の割合が下がったことは残念です。
女性の参画の少ない分野への女性の参画も含め、性別に偏らない政策、意思決定の実現はもとより、誰もが参画する機会が持てるように事業の開催日や開催時間に配慮することに努め、その必要性を共有できるようにしていくことが必要です。
そのためにも、あらゆる市の事業に託児事業が定着するようにサポートしていくことと共に、市の事業への参加が、今後の社会参加や地域への参画につながるものとなるように、啓発していきます。

【平成24年度】

審議会等における女性委員の割合は、平成23年度と比べると微増となっています。今後は、委員の改選時には男女比に配慮していただけるよう、関係課かいに働きかけると共に、会議の開催日や開催時間への配慮をすることが誰もが参加しやすい事業に繋がるものであることを引き続き周知していきます。
託児サポーター事業につきましては、年々託児がある事業が増えており、順調に事業を展開しています。子育て世代の各種事業への参加者の増加と共に、審議会等への参加率も増えるように啓発し、事業を展開していきます。
また、今後は防災分野における男女共同参画の視点への配慮の必要性について周知し、平常時より男女の別なく参画できるしくみづくりに努めることの必要性を事例と共に関係課かいに情報提供していきます。

【平成25年度】

市の審議会等における女性委員の割合は微増傾向にあります。この割合を増加させるためにも、事業の日程に配慮したり、後述する託児サポーター事業等を活用して女性が参画しやすしたりすることの必要性を周知していきます。
託児サポーター事業の活用は関連事業が増加傾向にあり、目標値を越えています。また、平成23年度と平成25年度を比較するとほぼ2倍となっています。
次年度以降も、当該事業の利用者及び託児スタッフ双方にとって、社会参画につながるよう努めます。

【平成26年度】



【平成27年度】



【平成23年度から平成27年度までの総括】



Ⅲ 活動指標に基づく評価

1 プラン、基本目標及び目標の活動率

プラン、プランの基本目標及びプランの目標の活動率は次のとおり算出します。
いずれも単位は%とし、小数点第2位以下を四捨五入します。

※平成23年度活動率を算出例としています。

(1) プランの目標の活動率

(当該目標の活動率の合計÷当該目標の活動率の最高値)×100

例：目標1の活動率

$$(650.0\% \div 700.0\%) \times 100 \\ = 92.85\% \rightarrow 92.9\%$$

(2) プランの基本目標の活動率

当該基本目標に属する目標の活動率合計÷当該基本目標に属する目標数

例：基本目標1の活動率

$$(目標1の活動率92.9\% + 目標2の活動率50.0\% + 目標3の活動率95.1\%) \div 3 \\ = 79.33\% \rightarrow 79.3\%$$

(3) プランの活動率

基本目標の活動率の合計 ÷ 4

平成23年度のプランの活動率

$$(基本目標1の活動率79.3\% + 基本目標2の活動率94.9\% + 基本目標3の活動率95.2\% + 基本目標4の活動率92.2\%) \div 4 \\ = 90.42\% \rightarrow 90.4\%$$

なお、各事務事業の活動率については次ページ以降に記載しています。

内 容	活動率		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ちがさき男女共同参画推進プラン	90.4%	90.0%	90.6%
基本目標1 男女平等の意識づくり	79.3%	92.1%	97.3%
目標1 男女平等について学ぶ機会を増やす	92.9%	100.0%	100.0%
目標2 「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識をなくす	50.0%	100.0%	100.0%
目標3 平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進する	95.1%	76.4%	92.0%
基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	94.9%	87.7%	89.0%
目標4 働きやすい環境をつくる	89.1%	96.0%	95.6%
目標5 子育て、介護がしやすい環境をつくる	95.5%	97.0%	89.5%
目標6 男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめる	100.0%	70.0%	79.5%
基本目標3 人権が尊重される社会づくり	95.2%	87.0%	81.6%
目標7 あらゆる暴力をなくす	91.7%	100.0%	95.6%
目標8 茅ヶ崎市女性センターを拠点とした相談事業に取り組む	100.0%	66.7%	66.7%
目標9 女性が自分のからだのことを自分で決める権利を女性の人権として確立する	92.8%	81.7%	82.0%
目標10 生涯にわたる健康を支援する	99.7%	89.2%	95.8%
目標11 人権尊重のために、メディアからの情報を主体的に読み解く力（メディア・リテラシー）を育成する	100.0%	90.0%	60.0%
目標12 様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備する	87.2%	94.3%	89.5%
基本目標4 男女が共に参画するまちづくり	92.2%	93.1%	94.6%
目標13 政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やす	97.5%	97.7%	97.0%
目標14 市民が主体的に男女共同参画を推進する	86.9%	88.5%	92.2%

2 目標別評価

基本目標1 男女平等の意識づくり

目標1 男女平等について学ぶ機会を増やす

平成23年度活動率 92.9%

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度						
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)		
													平成23年度	
1	拡大	階層別研修	男女平等の職場づくりやハラスメントに関する意識向上を目的とする研修の受講の機会をつくる。		新採用職員研修管理監督者※後期事業計画より「新採用職員」から変更	新採用職員研修、危機管理研修、メンタルヘルス研修※後期事業計画より「新採用職員研修」から変更	実施回数	1回	1回	100.0%	-			
2	継続	生涯学習の機会の提供	地域に根ざした学習活動の促進のため、市民主導で事業を展開する。庁内外との連携により、市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、まなびの場を提供する。	ちがさき情報化プラン、茅ヶ崎市文化生涯学習プラン	市民	ちがさき市民大学の開催	ちがさき市民大学の開催回数	前期：日本建築について(全3回)参加者延べ215人。後期：災害について(全4回)参加者延べ320人	6講座(年2回)	7講座(年2回)	100.0%	319		
3	継続	生涯学習の機会の提供	地域に根ざした学習活動の促進のため、庁内外との連携により、市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、まなびの場を提供する。	ちがさき情報化プラン、茅ヶ崎市文化生涯学習プラン	市民	大学公開講座の開催	講座開催回数	人間の五感に関する講座を文教大学と連携し情報、国際、健康等多様な視点から考える講座を6回実施した。	6講座(年1回)	6講座(年1回)	100.0%	385		
4	継続	男女共同参画啓発等推進事業	行政・企業・関連団体等との連携・共催のもと、地域・家庭・学校など社会のあらゆる分野において、学習の機会の充実を図り、講座等事業を実施し男女平等について学ぶ機会を増やす。		市民	男女平等について学ぶ機会を増やす事業の実施	実施事業総数	6月の男女共同参画週間に、女性センターの登録団体を紹介するパネル展を実施した。	1事業	1事業	100.0%	-		
5	継続	ふれあい教育推進事業	地域の指導協力者を派遣し、学校内外の活動において、児童・生徒の学びの質を高めるとともに豊かな心の育成を図る。		児童生徒・地域住民	特色ある学校づくりに向けた地域の指導協力者による学校支援	申請参加対象校数	小・中学校32校に指導協力者を計448回派遣した。	32校	32校	100.0%	2,413		
6	継続	学校訪問(計画・要請・機会訪問)	指導主事による学校訪問を通して、確かな学力と豊かな人間性の育成に向けて指導助言し、学習指導、児童生徒指導をはじめとする学校教育活動全般の充実を図る。		小中学校	教育に関する実践上の諸問題並びに研究課題の研究協議	学校を訪問し、授業等に関して研究協議を行う対象校数	小・中学校32校に学校訪問(計画・要請・機会訪問)を行った。合計854回。	32校	32校	100.0%	-		
7	継続	人権教育講座	人権教育の一層の推進と充実をめざし、学校教育における人権教育指導者としての資質と指導力の向上を図る。		小中学校教員	人権教育指導者の育成支援	実施回数	人権担当指導主事を講師に迎えて人権教育講座を開催した。	2回	1回	50.0%	-		

※予算額及び決算額がない場合は「-」で示しました。次ページ以降も同様です。

平成24年度活動率		100.0%		平成25年度活動率		100.0%							
活動													担当課名
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
-	1回	1回	1回	100.0%	-	-	14回	3回	14回	100.0%	199	158	職員課
297	前期：「笑いのチカラ」笑いとは・・・回 たろう！（全3回）参加 者延べ213人。後 期：21世紀の地球（全 3回）参加者延べ125 人	6講座（年2 回）	6講座（年2 回）	100.0%	308	285	前期：「近代国家への 脱皮～明治時代～」 （全3回）参加者延べ 250人。後期：「これ からの社会を支える若 者を知ろう」（全3 回）参加者延べ77人	6講座（年2 回）	6講座（年2 回）	100.0%	307	341	文化生涯学習課
385	「美」をめぐる生き方 をテーマとし、美に目 を向ける生き方の意味 を知る講座を6回実施 した。	6講座（年1 回）	6講座（年1 回）	100.0%	385	385	「日本」をテーマと し、日本のことをもう 一度見つめなおして、 役立つ内容を多角的に 考える講座を6回実施 した。	6講座（年1 回）	6講座（年1 回）	100.0%	385	385	文化生涯学習課
-	6月の男女共同参画週 間に、男女共同参画及 び登録団体を紹介する パネル展を開催。また、 登録団体と共催で 年間2事業を実施し事 業参加者116人。	1事業	3事業	100.0%	40	80	6月の男女共同参画週 間に、男女共同参画及 び登録団体を紹介する パネル展を開催。また、 登録団体と共催で 年間1事業を実施し た。延べ74人（うち 女性58人）	1事業	2事業	100.0%	80	32	男女共同参画課
2,413	小・中学校32校に指導 協力者を計448回派遣 した。	32校	32校	100.0%	2,471	2,449	小・中学校32校に指導 協力者を計448回派遣 した。	32校	32校	100.0%	2,240	2,240	学校教育指導課
-	小・中学校32校に学校 訪問（計画・要請・機 会訪問）を行った。合 計1,034回。	32校	32校	100.0%	-	-	小・中学校32校に学校 訪問（計画・要請・機 会訪問）を行った。合 計1,005回。	32校	32校	100.0%	-	-	学校教育指導課
-	人権担当指導主事を講 師に迎えて人権教育講 座を開催した。	2回	2回	100.0%	-	-	人権担当指導主事を講 師に迎えて人権教育講 座を開催した。	2回	2回	100.0%	-	-	学校教育指導課

基本目標 1 男女平等の意識づくり

目標 2 「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識を

平成23年度活動率 50.0%

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
8	継続	男女共同参画啓発等推進事業	子どもの頃から男女共同参画の啓発に向け、啓発冊子の作成・配布など意識啓発事業を実施し、意識啓発に努める。		市民	固定的性別役割分担意識をなくす事業の実施	実施事業総数	事業を実施できなかった。	1事業	0事業	0.0%	-
9	継続	男女共同参画啓発等推進事業	市民意識調査を毎年実施するとともに、継続的にその情報提供に努める。		市民	固定的性別役割分担意識をなくす事業の実施	実施事業総数	6/1～30住復はがきにて実施。発送数900、回収率33.1%。	1事業	1事業	100.0%	105

基本目標 1 男女平等の意識づくり

目標 3 平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進する

平成23年度活動率 95.1%

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
10	継続	平和啓発事業	戦争の悲惨さ、平和の尊さを一人でも多くの市民に伝える。		市民	平和啓発事業の実施	平和に関する展示会等のイベントの開催数	駅前や市内小中高校で原爆関連資料を展示したり、語り部さんによる講話会を開催したりした。	4回	11回	100.0%	1,559
11	継続	「平和について」ポスター・作文コンテスト事業	平和の大切さについて学んでもらうため、次代を担う児童、生徒を対象に平和についてのポスター・作文を募集し、その作品を通して、市民に広く平和の尊さを啓発する。		市内在住・在学の小学6年生・中学2年生	「平和について」ポスター・作文コンテストの実施	作品応募学校数	平和についてのポスター・作文を募集した結果、小学校15校、中学校9校から応募があった。	34校	24校	70.6%	28
12	継続	ピーストレイン平和大使広島派遣事業	次世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さなどを肌で感じ、学びってもらうため、広島の平和式典に小・中学生を派遣する。		「平和について」コンテスト入賞者	ピーストレイン平和大使の広島への派遣	平和大使派遣者数	8/5～7派遣。記念式典に参列し、ひろしま子ども平和議会に参加し、学習の成果を発表した。	16人	16人	100.0%	1,176
13	継続	国際交流関係事業	茅ヶ崎市国際交流協会と連携しながら、市内在住の外国人や海外の人々との交流活動を行い、国際理解及び国際協力の輪を広げる。また、神奈川県との共催事業を行う中で、次代を担う子どもたちの夢と想像力を育む。		市民	茅ヶ崎市国際交流協会及び神奈川県との共催事業の実施	共催事業数	ホームステイしている大学生がお茶の作法等を体験したり、外国人による日本語スピーチ大会を開催したりした。	6事業	6事業	100.0%	115
本年度対象外	-	茅ヶ崎市外国語版便利帳改訂版作成事業 ※後期事業計画から追加	外国人市民が、言葉の壁や生活習慣の違いに関係なく地域での円滑な生活が送れるよう、生活ガイドの内容を持った「茅ヶ崎市外国語版便利帳」の改訂版を作成し、各種の情報提供を行います。		外国籍市民等	茅ヶ崎市外国語版便利帳改訂版作成	言語対応数					
14	継続	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「一般学習事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	国際交流	開催回数	音楽で気軽に国際交流～豊かな大地ロシアの音楽に～を企画した。3/23参加者数40人。	1回	1回	100.0%	30

なくす

平成24年度活動率		100.0%					平成25年度活動率					100.0%		
活動													担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額														
平成24年度						平成25年度								
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	男女共同参画課	
-	2市1町広域連携事業として、若年者向けのDV防止啓発冊子を作成した。	1事業	1事業	100.0%	-	-	2市1町広域連携事業として、若年者向けのデートDV防止啓発冊子を作成した。	1事業	1事業	100.0%	-	-		男女共同参画課
105	5/1~31往復はがきにて実施。発送数1300、回収率34.0%。	1事業	1事業	100.0%	108	108	5/1~31往復はがきにて実施。発送数1300、回収率33.3%。	1事業	1事業	100.0%	99	99		男女共同参画課

平成24年度活動率		76.4%					平成25年度活動率					92.0%		
活動													担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額														
平成24年度						平成25年度								
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	男女共同参画課	
1,518	駅前や市内小中高校で原爆関連資料を展示したり、語り部さんによる講話会を開催したりした。	4回	12回	100.0%	1,551	1,535	駅前や市内小中高校で原爆関連資料を展示したり、語り部さんによる講話会を開催したりした。	4回	12回	100.0%	1,531	1,511		男女共同参画課
25	平和についてのポスター・作文を募集した結果、小学校13校、中学校9校から応募があった。	34校	22校	64.7%	28	26	平和についてのポスター・作文を募集した結果、小学校15校、中学校9校から応募があった。	34校	24校	70.6%	28	23		男女共同参画課
1,161	8/5~7派遣。記念式典に参列し、ひろしま子ども平和議会に参加し、学習の成果を発表した。	16人	15人	93.8%	1,184	1,112	8/5~7派遣。記念式典に参列し、ひろしま子ども平和議会に参加し、学習の成果を発表した。	16人	13人	81.3%	1,202	1,020	男女共同参画課	
100	ホームステイしている大学生がお茶の作法等を体験したり、外国人による日本語スピーチ大会を開催したりした。	6事業	6事業	100.0%	141	109	ホームステイしている大学生がお茶の作法等を体験したり、外国人による日本語スピーチ大会を開催したりした。	6事業	6事業	100.0%	141	131	男女共同参画課	
							本年度対象外						男女共同参画課	
30	実施せず			0%			中米の国ホンジュラス出身の方を講師に迎え、文化を知り、料理を味わい、理解を深めた。8/24・3/12・2回開催 参加者46人	1回	2回	100%	30	30	小和田公民館	

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
15	継続	社会的要請課題をテーマとした事業※後期事業計画より「国際・異文化理解事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	国際理解講座	開催回数	「ナマステ（こんにちは）ナバール」の講座を開催した。参加者数：13人	1回	1回	100.0%	30

基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり

目標4 働きやすい環境をつくる

平成23年度活動率	89.1%
-----------	-------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
16	継続	時間外勤務削減に向けてのノー残業デーの実施	ノー残業デーを実施・周知することで、時間外勤務の削減を行い、職場・家庭・地域において充実した生活を送ることができるような環境作りをする。		職員	ノー残業デーの実施	実施回数	毎週水曜日・給与支給日	毎週水曜日・給与支給日	毎週水曜日・給与支給日	100.0%	-
17	継続	総合評価落札方式	価格競争だけでなく、入札者が社会的な活動に取り組んでいるか等も競争の内容に含む入札形式で、男女共同参画に取り組んでいる入札者に対して点数を加算する。		事業者	土木・建築に関する工事における総合評価落札方式の試行	実施件数	前年度から引き続き総合評価方式を7件執行した。	9件	7件	77.8%	-
18	継続	ちがさしこ相談デー	将来のキャリア形成や仕事の悩み等に対するキャリアカウンセリングを実施し、就職活動を支援する。女性が利用しやすいよう女性キャリアコンサルタント対応日も設定する。※第2次実施計画事業名「勤労市民会館の管理運営」		市民	相談の実施	実施日数		24日	24日	100.0%	-
19	継続	ちがさき就職サポートコーナー	就職・転職活動に対するアドバイスや情報提供を実施し、就職活動を支援する。女性が利用しやすいよう女性キャリアコンサルタント対応日も設定する。※第2次実施計画事業名「勤労市民会館の管理運営」		市民	相談の実施	実施日数		232日	232日	100.0%	-
20	継続	男女共同参画啓発等推進事業	女性が社会的、経済的に力をつけること（エンパワーメント）を目的とした講座等の事業を実施し、就労等を支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市民（女性）	女性が社会的、経済的に力をつけることを支援する事業の実施	実施事業総数	11月に4日間のパワコン講座（エクセル初級）を開催した。参加者延べ76人。	2事業	1事業	50.0%	73
21	継続	男女共同参画啓発等推進事業	人生の各段階に応じて、多様な生き方や働き方が選択できる、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向け、啓発講座等の事業を実施し、ワーク・ライフ・バランスを推進する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市民	ワーク・ライフ・バランス推進事業の実施	実施事業総数	①10月講演会「忙しいパパとママのための子育てハッピーアドバイス」②3月講演会「ワーク・ライフ・バランスの実現をめざして」③アンケート（企業対象）	3事業	3事業	100.0%	1,412
22	拡大	待機児童解消のための保育園整備拡充	保育園の施設整備を推進し、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備、充実を図ることで待機児童の解消を目指す。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	子育て家庭	保育園の運営	認可保育園の定員数	民間保育園を3ヶ所開園、24年度及び25年度の開園を別途として公設民営保育園を1ヶ所建設した。	2,110人	2,110人	100.0%	735,131
23	拡大	放課後児童健全育成事業	児童クラブのよりよい運営と保育環境により、小学校低学年児童の放課後支援の充実を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	子育て家庭	児童クラブの運営	入所児童数	汐見台児童クラブの運営をスタートした。東日本大震災をうけ、メール配信サービスもはじめた。	980人	900人	91.8%	205,723
24	拡大	家庭的保育事業	待機児童解消及び多様な保育ニーズに対応する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	子育て家庭	家庭的保育事業の実施	受け入れ人数	家庭的保育者6名が述べ130人の児童の保育を実施した。	10人	16人	100.0%	18,815

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
20	講座「シルクロードのオアシス国家、ウズベキスタン」を開催。参加者数：13人	1回	1回	100.0%	30	15	講座「ベルー人から見た日本の生活」を開催。参加者数15人	1講座 ※後期事業計画より「1回」から変更	1講座	100.0%	20	20	

平成24年度活動率	96.0%	平成25年度活動率	95.6%
-----------	-------	-----------	-------

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
-	毎週水曜日・給与支給日	毎週水曜日・給与支給日	毎週水曜日・給与支給日	100.0%	-	-	64日	64日	64日	100.0%	-	-	
-	前年度から引き続き総合評価方式を4件執行した。	10件	4件	40.0%	-	-	前年度から引き続き総合評価方式を5件執行した。	7件 ※後期事業計画より「11件」から変更	5件	71.4%	-	-	契約検査課
-	相談の総枠72枠に対し、65件の相談があった。(利用率90.3%)65件の内訳は男性40件、女性25件。	24日	24日	100.0%	指定管理料を含むため算出不能	指定管理料を含むため算出不能	相談の総枠72枠に対し、53件の相談があった。(利用率73.6%)53件の内訳は男性35件、女性18件。	24日	23日	95.8%	指定管理料を含むため算出不能	指定管理料を含むため算出不能	雇用労働課
-	232日実施し、1,566人の相談があった。(1日平均6.8人)内訳は男性910人、女性656人。	232日	232日	100.0%	指定管理料を含むため算出不能	指定管理料を含むため算出不能	232日実施し、1,634人の相談があった。(1日平均7.0人)内訳は男性885人、女性749人。	232日	232日	100.0%	指定管理料を含むため算出不能	指定管理料を含むため算出不能	雇用労働課
77	①10/15から全4回パソコン講座(エッセル初級)を開催した。②11/12から全3回、キャリアコンサルタントを講師とする就労支援講座を開催した。のべ132人。	2事業	2事業	100.0%	209	124	①8/3【ドラマセラピー講座】20人 ②10/21~11/18(全4回)パソコン講座(エッセル初級)延べ60人。計80人(うち女性延べ80人)	2事業	2事業	100.0%	81	71	男女共同参画課
1,182	①6月2市1町広域連携事業 講演123人②11月2市1町広域連携事業「男の力を活かそう 地域の出会い知り合い助け合い」96人③3月市町村連携事業 講演会ワーク・ライブ・パランス働き方生き方を考える」39人。	3事業	3事業	100.0%	-	5	①6/29 2市1町広域連携事業「妻として女優として」小山明子氏延べ143人②10/30、12/7働く女性向けセミナー延べ40人。計183人(うち女性延べ127人)	3事業	2事業	66.7%	-	-	男女共同参画課
600,398	公設民営保育園1園新設(120人増)、民間保育園1園新設・1園増築(82人増)を実施。25・26年度開園に向けて3園の整備を実施。	2,230人	2,455人	100.0%	325,751	295,110	民間保育園2園新設、1園増築を実施。26年度開園に向けて4園の整備を実施。	2,620人 ※後期事業計画より「2,302人」から変更	2,683人	100.0%	60,487	60,487	保育課
199,651	平成25年度からの4年間、全ての児童クラブを一括指定して指定管理する指定管理者を選定した。	980人	1,124人	100.0%	207,178	211,415	今後の児童クラブの運営を検討するため、平成26年度より広域児童クラブやサマースクールの開設など、モデル事業を実施する準備を進めた。	1,100人 ※後期事業計画より「980人」から変更	1,164人	100.0%	228,175	227,156	保育課
12,155	家庭的保育者7名が述べ199人の児童の保育を実施した。	15人	21人	100.0%	18,138	18,061	25年度新規家庭的保育室開設1室、計8室の保育室で家庭的保育を実施。	23人 ※後期事業計画より「20人」から変更	26人	100.0%	24,658	24,657	保育課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
25	継続	休日等保育事業	子育て支援施策として、休日に保育を必要とする保護者のニーズに応える。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	子育て家庭	休日保育の実施	実施保育園数	公立鶴が台保育園及び浜見平保育園において開設し、鶴が台保育園で述べ85人を受け入れた。	2園	2園	100.0%	444
26	拡大	延長保育事業	保護者の多様な就労形態に対応する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	延長保育の実施	実施保育園数	公立・民間保育園在籍園児1,200人に延長保育を実施した。	23園	23園	100.0%	119,081
27	継続	特定保育事業	保育者の就労形態の多様化に伴う保育需要に対応する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	子育て家庭	特定保育の実施	実施保育園数	私立松林保育園・なぎさ第二保育園で特定保育を実施した。	3園	2園	66.7%	5,670
28	拡大	一時預かり事業	冠婚葬祭、保護者の傷病等により緊急・一時的な保育が必要な児童に対して実施する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	一時預かりの実施	実施保育施設数 ※後期事業計画より「実施保育園数」から変更	私立なぎさ保育園・松林保育園・萩園愛児園・なぎさ第二保育園・茅ヶ崎こども園で一時預かりを実施した。	7園	5園	71.4%	10,308
29	継続	病後児保育事業	就労中の保護者の子どもが病気の回復時であり、集団生活が困難な期間において保育が必要な場合、専用スペースで保育を実施する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	病後児保育の実施委託	委託保育園数					
30	拡大	産休明け保育事業	就労中の保護者の子どもが生後57日目から保育が必要な場合、保育を実施する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	産休明け保育実施補助	補助保育園数					

基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり

目標5 子育て、介護がしやすい環境をつくる

平成23年度活動率	95.5%
-----------	-------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
31	拡大	地域包括支援センター運営事務	保健、介護、福祉という3分野の専門職が連携し、市町村や地域の医療機関、介護(介護予防)サービス事業者、ボランティアなどと協力しながら地域の高齢者のさまざまな相談に対応する。	第5期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画	65歳以上の高齢者及びその家族等	地域包括支援センターの運営	設置箇所	7ヶ所の地域包括支援センターにおいて、介護保険事業と共に保健・医療・福祉サービスの提供に関する総合的なアマネジメントを行った。	7箇所	7箇所	100.0%	170,942
32	新規	地域福祉総合相談室運営事業 ※後期事業計画から追加	12地区に整備予定の地域包括支援センター内に地域福祉総合相談室を設置し、分野にとらわれない、より身近な地域の相談支援機能を充実させ、地域住民の利便性の向上並びに地域福祉の増進を図る。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	市民	整備地区数						
33	継続	子育て支援の推進事業	子育てに関する情報を幅広くまとめ、子育てに係る家庭の利便性を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	子育てガイドブック改訂版作成	子育てガイドブック作成	民間事業者との協働で20,000部を作成した。	平成24年3月	平成24年3月	100.0%	-
34	継続	子育てポータルサイト事業 ※後期事業計画から追加	乳幼児を持つ保護者が子育てに関するポータルサイトを利用することにより、地域で孤立することなく安心して子育てができる環境を創出するとともに、地域ぐるみでの子育て支援の充実を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	子育てに関するポータルサイトの構築・運営	サイトの実訪回数					

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)		決算額 (千円)
346	公立鶴が台保育園及び浜見平保育園において開設し、鶴が台保育園で延べ101人を受け入れた。	2園	2園	100.0%	363	259	公立鶴が台保育園及び浜見平保育園において開設し、鶴が台保育園で延べ113人を受け入れた。	2園	2園	100.0%	360	339	保育園
114,007	公立・民間保育園在籍児計1,340人に延長保育を実施した。	24園	26園	100.0%	124,107	120,028	公立・民間保育園在籍児計1,440人に延長保育を実施した。	26園 ※後期事業計画より「25園」から変更	27園	100.0%	136,351	133,713	保育園
4,428	公立中海岸保育園、私立松林保育園・十間坂保育園、なぎさ第二保育園で特定保育を実施した。	4園	4園	100.0%	5,670	5,562	公立中海岸保育園、私立松林保育園・十間坂保育園、なぎさ第二保育園で特定保育を実施した。	4園	4園	100.0%	5,670	5,022	保育園
10,308	公立中海岸保育園、私立なぎさ保育園・松林保育園・十間坂保育園・萩園愛児園・なぎさ第二保育園・茅ヶ崎こども園・うーたん保育園で特定保育を実施した。	8園	8園	100.0%	6,507	5,292	公立中海岸保育園、私立なぎさ保育園・松林保育園・十間坂保育園・萩園愛児園・なぎさ第二保育園・茅ヶ崎こども園・うーたん保育園及び認定保育施設7園で一時預かりを実施した。	15施設 ※後期事業計画より「8園」から変更	15施設	100.0%	19,530	19,080	保育園
	公立中海岸保育園で病後児保育を実施した。	1園	1園	100.0%	176,968	173,507	公立中海岸保育園で病後児保育を実施した。	1園	1園	100.0%	176,968 (指定管理料)	176,719 (指定管理料)	保育園
	公立中海岸保育園で病後児保育を実施した。	1園	1園	100.0%	176,968 (再掲)	173,507 (再掲)	公立中海岸保育園及び民間アスク茅ヶ崎保育園で産休明け保育を実施した。	1園	2園	100.0%	270,390	220,409	保育園

平成24年度活動率		97.0%	平成25年度活動率		91.9%								
活動													
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度			平成25年度										
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
170,791	7ヶ所の地域包括支援センターにおいて、介護保険事業と共に保健・医療・福祉サービスの提供に関する総合的なケアマネジメントを行った。	7箇所	7箇所	100.0%	165,954	165,954	9ヶ所の地域包括支援センターにおいて、介護保険事業と共に保健・医療・福祉サービスの提供に関する総合的なケアマネジメントを行った。	9箇所 ※後期事業計画より「10箇所」から変更	9箇所	100.0%	197,095	196,545	高齢福祉介護課
							平成25年10月、地域包括支援センター増設に合わせて、小出地区及び松浪地区に増設し、9地区となった。	9地区	9地区	100.0%	42,934	42,934	保健福祉課
	(子育てガイドブックは隔年で作成。次回は平成25年度。)						民間事業者との協働で20,000部を作成した。	平成26年3月	平成26年3月	100.0%	-	-	子育て支援課
							子育てに関するポータルサイトの運営を行った。	200人/日	244人/日	100.0%	2,000	2,000	子育て支援課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
													平成23年度				
													活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
35	継続	子育て短期支援事業	事情により家庭における児童の養育が困難なとき、児童養護施設で一時的に養育を行い、保護者の負担を軽減する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	ショートステイ・トワイライトステイ事業の実施	利用可能日数	白十字林間学校において一時的に家庭での養育が困難な児童を対象にショートステイ事業等を行った。	ショートステイ366日 トワイライトステイ244日	ショートステイ366日 トワイライトステイ244日	100.0%	4,107					
36	拡大	子育て支援センター事業	子育て支援センターにおける育児相談・子育て家庭交流の場の提供等を行う。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	子育てアドバイザー育児相談・子育て家庭交流の場の提供・子育て情報の提供	利用者数	茅ヶ崎駅北口、南口及び浜竹の子育て支援センターで子育てに悩む母親等を対象に相談・支援を行った。	41,000人 (3ヶ所合計)	40,803人 (3ヶ所合計)	99.5%	42,576					
37	拡大	ファミリーサポートセンター事業	子どもを預け、預かる相互援助活動により、余裕を持った子育てができるよう育児支援を行う。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	子どもを預けたい人と預かることができる人が会員となり、アドバイザーの調整により子どもを預かり合う相互援助活動	活動件数	アドバイザーの調整により会員同士の相互援助活動を行った。広報紙等で募集した新規会員を対象に研修を行った。	7,000件	8,891件	100.0%	16,162					
38	拡大	母子保健指導事業	妊娠、出産、育児への不安を少しでも取り除き、母子の健全な成長を支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	勤労初妊婦	働くママの母親教室	実施回数	勤労初妊婦の参加は39人であった。	3回	3回	100.0%	312					
39	継続	子育て教室事業	育児への不安、悩みの軽減を図り、幼児期の健全な成長を支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	2歳児とその保護者等	にこにこ子育て教室	実施回数	土曜日6回、平日6回実施し、204組の親子が参加した。	12回	12回	100.0%	800					
40	継続	育児支援家庭訪問事業	養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、適切な養育の実施の確保を図り子育てがしやすい環境をつくる。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	養育支援が特に必要と判断した家庭	育児支援家庭訪問事業での保健師及び相談員の訪問の実施	訪問回数	養育支援が特に必要な家庭14世帯に、保健師及び相談員が66回訪問した。	160回	66回	41.3%	1,380					
41	継続	療育相談事業	発達に遅れ等の疑いがあると思われる子の相談に応じ、子育て支援を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	こどもセンター利用者	こどもセンターでの療育相談	相談件数	各種相談方法により、発達等の相談に対応した。発達障害の啓発のため講演会を年3回開催した。	2,900件	2,905件	100.0%	16,598					
42	継続	道路安全施設設置事業	歩行者や車両の安全を確保するため、道路照明灯・道路反射鏡・路面標示等の整備を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市民	道路安全施設設置事業	安全施設設置数	照明灯の点検100箇所のほか、街路灯14灯を設置し、カーブミラーの鏡面を85面設置した。	200箇所	100箇所	50.0%	38,546					
43	継続	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「親子ふれあい事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	未就園児とその家族	ちびっこ広場	開催回数	未就園児とその保護者を対象に、手遊び、歌、ハネルシアター、リトミック等を実施した。参加者数984人。	11回	11回	100.0%	99					
44	継続	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「子育て支援事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	子育て中の親・保育相談者	家庭教育の支援に関する事業 ※後期事業計画より「楽しい幼児の集団遊び」から変更	開催回数	子育て支援講座を①乳幼児②小学生③中学生を対象に開催。①5/13・18人②6/17・42人③7/15・24人	3回	3回	100.0%	30					
45	継続	講座保育ボランティア	講座一時保育を実施し、子育て中の親の学習機会を提供するため、ボランティアを募集する。		市民	講座保育ボランティア	実施回数 利用人数	11/11と11/18「つるみね幼児子育て講座」と「異文化交流」で実施。	実施回数：1回 利用人数：15人	実施回数：2回 利用人数：10人	100.0%	0					
46	継続	子ども事業 ※後期事業計画より「子育ての広場」から変更	子どもや親子を対象にさまざまな体験学習を通して、子どもたちの自己実現を図れる事業を公民館利用団体やボランティアなどの協力を得ながら実施する。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	未就園児とその家族	子育て広場カルガモ ※後期事業計画より「子育ての広場」から変更	開催回数 ※後期事業計画より「実施回数・参加人数」から変更	毎月第4木曜に子ども室を開放、童歌や絵本の読み聞かせを行い8月と12月にはリズム遊びやミニコンサートを実施。	実施回数：12回 参加者数：600人	実施回数：12回 参加者数：355人	100.0%	96					
47	継続	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「つるみね幼児子育て講座」から変更	子どもの対象年齢別に家庭教育を支援する講座を実施するとともに、親子、参加者相互のふれあい場を提供する。	茅ヶ崎市教育基本計画	幼児とその親など	つるみね子育て講座 ※後期事業計画より「つるみね幼児子育て講座」から変更	開催回数 ※後期事業計画より「実施回数・参加人数」から変更	「親子で学ぼう・歯と口腔の健康」「親子で行く秋の防災体験バスツアー」「子育てママのリフレッシュ体操」「親子でつくるアルバム」実施。	実施回数：3回 参加者数：延べ150人	実施回数：4回 参加者数：延べ168人	100.0%	65					

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)		決算額 (千円)
4,105	白十字会林間学校において一時的に家庭での養育が困難な児童を対象にショートステイ事業等を行った。	ショートステイ365日 トワイライトステイ245日	ショートステイ365日 トワイライトステイ245日	100.0%	4,260	4,255	白十字会林間学校において一時的に家庭での養育が困難な児童を対象にショートステイ事業等を行った。延べ利用日数はショート：母子家庭247日、父子家庭6日、その他9日、トワイライト：母子家庭53日、その他9日	ショートステイ365日 トワイライトステイ245日	ショートステイ365日 トワイライトステイ245日	100.0%	4,257	4,510	子育て支援課
40,903	茅ヶ崎駅北口、南口及び浜竹の子育て支援センターで子育てに悩む母親等を対象に相談・支援を行った。	41,000人 (3ヶ所合計)	41,838人 (3ヶ所合計)	100.0%	42,591	41,395	茅ヶ崎駅北口、南口及び浜竹の子育て支援センターで子育てに悩む母親等を対象に相談・支援を行った。	42,000人 (3ヶ所合計) ※後期事業計画より「41,000人(3ヶ所合計)」から変更	42,164人 (3ヶ所合計)	100.0%	42,174	41,355	子育て支援課
16,008	アドバイザーの調整により会員同士の相互援助活動を行った。広報紙等で募集した新規会員を対象に研修を行った。	7,250件	8,377件	100.0%	15,666	15,421	アドバイザーの調整により会員同士の相互援助活動を行った。広報紙等で募集した新規会員を対象に研修を行った。	9,000件 ※後期事業計画より「7,500件」から変更	8,598件	95.5%	15,743	15,498	子育て支援課
274	平成24年度から実施回数を4回に拡大し、参加者は54人であった。	3回	4回	100.0%	268	267	参加者は67人であった。(全員女性)	4回 ※後期事業計画より「3回」から変更	4回	100.0%	303	298	こども育成相談課
643	土曜日6回、平日6回実施し、219組の親子が参加した。	12回	12回	100.0%	750	731	土曜日6回、平日6回実施し、214組の親子が参加した。(父親70人、母親210人)	12回	12回	100.0%	750	735	こども育成相談課
732	養育支援が特に必要な家庭11世帯に、保健師及び相談員が61回訪問した。	180回	61回	33.9%	1,077	787	養育支援が特に必要な家庭11世帯に、保健師及び相談員が83回訪問した。	160回 ※後期事業計画より「220回」から変更	83回	51.9%	801	785	こども育成相談課
16,275	各種相談方法により、発達等の相談に対応した。発達障害の啓発のため講演会を年3回開催した。	2,950件	2,996件	100.0%	19,317	19,155	各種相談方法により、発達等の相談に対応した。発達障害の啓発のため講演会を年3回開催し、280人(女性247人)が参加した。	2,700件 ※後期事業計画より「3,000件」から変更	2,673件	99.0%	19,160	18,812	こども育成相談課
38,546	照明灯の点検100箇所のほか、街路灯14灯を設置し、カーブミラーの鏡面を85面設置した。	200箇所	199箇所	99.5%	33,698	33,693	照明灯の点検100箇所のほか、街路灯12灯を設置し、カーブミラーの鏡面を53面設置した。	100箇所 ※後期事業計画より「200箇所」から変更	100箇所	100.0%	38,570	37,748	道路管理課
99	未就園児とその保護者を対象に、手遊び、歌、パネルシアター、リトミック等を実施した。参加者数977人。	11回	11回	100.0%	140	104	未就園児とその保護者を対象に、手遊び、歌、パネルシアター、リトミック等を実施した。参加者数1,061人。	11回	11回	100.0%	124	124	小和田公民館
30	子どもらしさの発見と小学校での育ちについての講演会を開催。参加者27人	1回	1回	100.0%	20	32	『選ぶ力』が支配する生き方を考える～「見える教育・見えない教育」の支援～と題して講演 参加者71人(女性64人・男性7人)	3回 ※後期事業計画より「1回」から変更	1回	33.3%	19	19	小和田公民館
10	6/29のつるみね健康レストラン、11/1のつるみね子育て講座、11/14の異文化交流事業で実施	実施回数：1回 利用人数：15人	実施回数：3回 利用人数：28人	100.0%	46	23	1/18「つるみね幼児子育て講座」実施	実施回数：1回 利用人数：15人	実施回数：1回 利用人数：4人	100.0%	41	7	鶴嶺公民館
96	毎月第4木曜に子ども室を開放、童歌や絵本の読み聞かせを行い8月と12月にはリズム遊びやミニコンサートを実施。	実施回数：12回 参加者数：600人	実施回数：12回 参加者数：324人	100.0%	96	96	毎月第4木曜に子ども室を開放、童歌や絵本の読み聞かせを行い8月と12月にはリズム遊びやミニコンサートを実施。	12回 ※後期事業計画より「実施回数：12回・参加者数：600人」から変更	実施回数：12回 参加者数：316人	100.0%	96	96	鶴嶺公民館
65	「親子で護身ピクス」「空き缶コンロDeeスープ」「いじめのサインの見抜き方」「子どもの心と身体を育てるおもちゃあそび」実施	実施回数：3回 参加者数：延べ150人	実施回数：4回 参加者数：延べ151人	100.0%	65	65	「親子でぼうさい教室」「おやこでくらっはのコンサート」「子育て世代の財政指南」実施	3回 ※後期事業計画より「実施回数：3回・参加者数：延べ150人」から変更	実施回数：3回 参加者数：110人	100.0%	60	65	鶴嶺公民館

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
48	終了	疲れにくい介護 ※前期事業計画で終了	高齢者等の身体介助に際して、“筋力”を頼りにやるのではなく、合理的・効率的な身体の使用方を工夫することにより、無理のない介助を行う手法を学び、“在宅介護”者の負担軽減に結びつける。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	疲れにくい介護	実施回数 参加人数	10/7実施。	実施回数：1回 参加者数：50人	実施回数：1回 参加者数：22人	100.0%	50					
49	継続	家庭教育支援 関連事業 ※後期事業計画より「子育て支援事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民 ※後期事業計画より「未就園児とその家族」から変更	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「子育てホッと広場」から変更	事業数 後期事業計画より「開催回数」から変更	12回実施、参加者517人。	12回	12回	100.0%	20					
-	-	子育て支援事業 ※後期事業計画より「子育て支援事業」から変更、No.49と統合	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	未就園児とその家族	子育て講座	開催回数	読み聞かせの体験講座で、3日間で32人の参加。	1回	1回	100.0%	30					
-	終了	子育て支援事業 ※前期事業計画で終了	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。		未就園児とその家族	幼児生活リズム講座	開催回数	CSP入門講座を取り入れ、3日間で参加者のべ45人。	1回	1回	100.0%	20					
-	終了	子育て支援事業 ※前期事業計画で終了	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。		市民	保育ボランティア講座	開催回数	保育実習も取り入れ、3日間で参加者のべ44人。	1回	1回	100.0%	-					
50	継続	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「一般学習事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る	茅ヶ崎市教育基本計画	市民 ※後期事業計画より「小学生以上」から変更	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「手話教室」から変更	事業数 ※後期事業計画より「開催回数」から変更	4週連続実施で、参加者のべ38人。	1回	1回	100.0%	20					
51	継続	楽しい子育て講座事業	わらべうたや絵本をおして、親と子どものコミュニケーションを取り子どもの健やかな成長を育む講座を開催する。	茅ヶ崎市教育基本計画	幼児と保護者	わらべうたと絵本で遊ぼう	講座実施回数	参加35組延べ294人（保護者140人、子154人）、台風のため1回中止。	12回	11回	91.7%	80					
52	継続	絵本とお話の時間事業	親子、反だちと時間を共有し、子どもの心や言葉が健全に育つ講座を開催する。	茅ヶ崎市教育基本計画	幼児と保護者	絵本とお話の時間	講座実施回数	絵本の読み聞かせを行った。参加延べ167人。	11回	11回	100.0%	33					
53	継続	ひだまり事業	子どもと保護者がゆったりとした時間を過ごす空間をつくり、子育て支援を目的とする講座を開催する。	茅ヶ崎市教育基本計画	幼児と保護者	ひだまり	講座実施回数	フリースペース・一升餅・親子ふれあい・クリスマス会を行った。参加延べ360人（保護者168人、乳幼児192人）。	22回	22回	100.0%	96					
54	継続	家庭教育支援 関連事業 ※後期事業計画より「家庭教育支援事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	未就園児とその家族	聴いと交流の場を提供 ※後期事業計画より「かめさんのおうち」から変更	開催回数	実施回数：12回 参加者数：416人	12回	12回	100.0%	111					
55	継続	家庭教育支援 関連事業 ※後期事業計画より「家庭教育支援事業」から変更	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	子育て中の親・保育相談者	保育ボランティアのための研修会の開催 ※後期事業計画より「保育相談者研修会」から変更	開催回数	「フリースペースでなに話そう？」の講座を開催した。参加者数：22人	1回	1回	100.0%	-					
56	継続	子ども読書活動推進事業	子どもたちが自主的に読書活動に取り組むことができるような環境の整備を進めるとともに、社会的な機運を醸成するための普及啓発に取り組み、子どもの健やかな成長に資することを目標とする。	茅ヶ崎市教育基本計画	0～18歳の市民	ブックスタート事業	ブックスタートバック配布数	対象者2,055名のうち1,624名にブックスタートバックを配布。	1,800バック	1,624バック	90.2%	2,202					
57	継続	図書館自主事業	生涯学習のきっかけを作り、その推進を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	おはなし会	開催回数	本館59回、分館12回を開催	72回	72回	100.0%	-					

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)		決算額 (千円)
50	10/5実施	実施回数：1回 参加者数：50人	実施回数：1回 参加者数：28人	100.0%	50	50	主催事業全体の見直しを行った結果、実施せず	実施回数：1回 参加者数：50人	実施回数：0回 参加者数：0人	0.0%	-	-	鶴岡公民館
20	12回実施、参加者463人。	12回	12回	100.0%	20	20	子育てホッと広場（12回実施、参加者数延べ475名）、子育て講座～ママを楽しむ出会いの子育て（1回（全2日）実施、参加者数延べ20名）、子育て講座～そだれん（1回実施、参加者数14名）、お父さんとあそぼう（1回実施、参加者数10名）	4回 ※後期事業計画より「12回」から変更	4回	100.0%	75 （ホッと広場：20、ママを楽しむ：30+18、そだれん：7）	77 （ホッと広場：20、ママを楽しむ：26+19、そだれん：12）	松林公民館
30	子どもが育つ環境について話し合う、グループワーク。2日間で19人の参加。	1回	1回	100.0%	30	48	※後期事業計画よりNo.49と統合						松林公民館
20	CSP入門講座を取り入れ、3日間で参加者のべ43人。	1回	1回	100.0%	34	64	※前期事業計画で終了						松林公民館
-	「中学生からの保育ボランティア講座」として実施。3日間の講座でのべ6人の参加。	1回	1回	100.0%	7	0	※前期事業計画で終了						松林公民館
20	4週連続実施で、参加者のべ37人。	1回	1回	100.0%	20	20	「男性料理教室」（1回実施、参加者数12名）、「手話教室」（1回（全3日）実施、参加者数延べ30名）を実施。	2回 ※後期事業計画より「1回」から変更	2回	100.0%	30 （男性料理教室：10、手話教室：20）	30 （男性料理教室：10、手話教室：20）	松林公民館
74	「わらべうたと絵本で遊ぼう」を行った。参加32組延べ275人（保護者133人、子142人）	12回	12回	100.0%	80	80	「わらべうたと絵本で遊ぼう」を行った。参加39組延べ263人（保護者127人、子136人）	12回	12回	100.0%	80	74	南湖公民館
33	「絵本の読み聞かせ」を行った。参加延べ226人	11回	11回	100.0%	33	33	「絵本の読み聞かせ」を行った。参加延べ234人	11回	11回	100.0%	33	30	南湖公民館
99	「クリスマス・ニューイヤー餅・親子ふれあい・クリスマス会」を行った。参加延べ449人（保護者180人、乳幼児269人）	22回	22回	100.0%	96	96	「クリスマス・ニューイヤー餅・親子ふれあい・クリスマス会」を行った。参加延べ398人（保護者185人、乳幼児213人）	22回	22回	100.0%	96	96	南湖公民館
112	実施回数：12回 参加者数：450人	12回	12回	100.0%	111	106	実施回数：12回 参加者数：355人	12回	12回	100.0%	138	109	香川公民館
-	講演会「保育園園長からみた昔の親子・今の親子」を開催。参加者数：20人	1回	1回	100.0%	-	-	講座「CSP講座って何？どんなことをしている？」を開催。参加者数10人	1回	1回	100.0%	20	0	香川公民館
2,201	対象者 名のうち1,554名にブックスタートバックを配布。	1,800バック	1,554バック	86.3%	2,202	2,202	対象者 2,030名のうち1,606名にブックスタートバックを配布。	1,800バック	1,606バック	89.2%	2,267	2,267	図書館
-	本館59回、出向9回、分館13回開催	72回	81回	100.0%	-	-	本館77回、出向11回、分館18回	72回	106回	100.0%	-	-	図書館

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度					
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)	
58	新規	幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業 ※後期事業計画から追加	幼児期の教育に関する基礎研究を推進し、家庭教育や幼児期教育の充実を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民、保護者、保護者、幼小中関係職員、市関係職員等	基礎研究の公開(セミナー、シンポジウム等)	基礎研究の公開件数(セミナー、シンポジウム等)						
59	新規	「子どもの教育」講座・講演会 ※後期事業計画から追加	子どもの成長発達に関する基礎研究を踏まえ、教育への意識醸成を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民、保護者、保護者、幼小中関係職員、市関係職員等	講座講演の開催	講座講演参加者数						

基本目標2 仕事と生活の両立ができる環境づくり

目標6 男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめる

平成23年度活動率	100.0%
-----------	--------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
60	継続	次世代育成支援対策の推進	職員が子育てしやすい職場環境の整備を図る。	職員の子育て支援行動計画	男性職員	男性職員による育児休業等の取得	取得率	男性職員による育児休業等の取得は2名。	5.0%	5.0%	100.0%	-
61	継続	男女共同参画啓発等推進事業	地域における男女共同参画の推進に向け、男性の参画が少ない分野への男女共同参画の推進の啓発に努め、男性の地域参加をすすめる。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市民	男性の家庭生活や地域生活への参画を進める事業の実施	実施事業総数	①5月「ヘビーマッサージ(共催)」②10月「カラーセラピー体験講座」③1月「父子でクッキング」④子育て講座	3事業	4事業	100.0%	57
62	継続	母子保健指導事業	妊娠、出産、育児への不安を少しでも取り除き、母子の健全な成長を支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	初めて父親になる人とその妻	父親教室	実施回数	先輩ファミリー50組の協力のもと315組の夫婦が参加した。	18回	18回	100.0%	312
63	継続	社会教育講座の開催	現代的課題等に関する情報の共有、知識の普及を図り、課題解決のための学習機会を提供する。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	社会教育講座の開催	社会教育講座の男性受講者の割合 ※後期事業計画より「開催回数」から変更	「よりよいメディアとの付き合い方」をテーマに講演会を開催した。延べ参加者26人。	3回	3回	100.0%	155
-	-	社会的養成課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「男性の家庭生活への参画」から変更、No.50と統合	学習機会を提供し、市民の学習活動の活性化を図る。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	男性料理教室	開催回数	2回実施、参加者28人。	2回	2回	100.0%	25

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
							9月28日及び11月10日にセミナーを、7月29日にシンポジウムを開催した。	2件	3件	100.0%	1,959	1,938	教育センター
							「子どもの教育」に関する講座・講演会を年間14回開催した。	540人	526人	97.4%	629	663	教育センター

平成24年度活動率		70.0%		平成25年度活動率		79.5%							
活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
-	男性職員による育児休業等の取得は0名。	5.0%	0%	0.0%	-	-	男性職員による育児休業等の取得は2名。	5.0%	0.9%	18.0%	-	-	職員課
88	①7月「お父さん版そだれん(共催)」②1月「父子でクッキング」③2月「お父さん版そだれん(共催)」参加者72人(うち男性43人)。	3事業	3事業	100.0%	76	65	①7/20「お父さん版そだれん(共催)」28人②1/25「父子でクッキング」19人③3/15「お父さん版そだれん(共催)」8人計55人(うち女性延べ17人)	3事業	3事業	100.0%	46	37	男女共同参画課
274	先輩ファミリー47組の協力のもと、土曜日コース12回、平日コース6回を実施し、322組の夫婦が参加。	18回	18回	100.0%	268	267	先輩ファミリー43組の協力のもと、土曜日コース12回、平日コース6回を実施し、327組の夫婦が参加。	18回	18回	100.0%	303	298	こども育成相談課
72	「私は私でいいの?～『自分らしく生きる』を考える～」と「暮らしにもっと笑いを～ユーモアの効用～」を開催し、延べ38人が参加。	3回	4回	100.0%	154	96	「おやこDEひなんじょ体験in柳島キャンプ場」と「会社のひとから社会のひとへ」を開催し、延べ68人(うち女性27人)の参加があった。	10.0%	60.3%	100.0%	120	80	社会教育課
25	2回実施、参加者11人。	2回	1回	50.0%	10	10	※後期事業計画よりNo.50と統合						松林公民館

基本目標3 人権が尊重される社会づくり

目標7 あらゆる暴力をなくす

平成23年度活動率 91.7%

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
64	継続	セクシャルハラスメント防止対策	セクシャルハラスメントに対して職員の苦情相談窓口を設置し随時相談を受け付けるとともに、迅速公正かつ円満な解決に向け苦情処理委員会を設け、男女が対等平等な関係で快適に働くことができる職場環境を実現する。		職員	相談窓口の開設	利用可能日数	244日	244日	244日	100.0%	-
65	継続	性別欄廃止の推進	申請書等、性別欄を必要としない手続きについて簡素化を図るとともに、男女共同参画社会の形成に寄与する。		市民	廃止に向けた各課の対応状況の調査	調査の実施回数	1回	0回	0回	0.0%	-
66	継続	人権擁護活動事業	人権問題に関して市民の相談に応じ、人権侵害事件への切り替え、関係機関への連絡、助言等の必要な措置をとる基本的な人権を擁護し、併せて自由人権思想の普及高揚を図る。		市民	人権相談	相談室の開設日数	33日	33日	33日	100.0%	-
67	継続	女性問題の研究調査及び啓発	配偶者等からの暴力「ドメスティック・バイオレンス(DV)」根絶に向けた意識啓発を行うとともに、DVが児童に心理的影響を及ぼす児童虐待であると認識をしてDV防止を推進する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市民(女性)	DV等の暴力根絶の意識啓発	相談室の開設日数	243日	243日	243日	100.0%	-
68	継続	男女共同参画啓発等推進事業	配偶者等からの暴力「ドメスティック・バイオレンス(DV)」根絶に向けた意識啓発を行うとともに、DVが児童に心理的影響を及ぼす児童虐待であると認識をしてDV防止を推進する。		市民	あらゆる暴力をなくす事業の実施	実施事業総数	2事業	2事業	2事業	100.0%	45
69	継続	保健福祉総合相談事業	市民からの保健・福祉に関する様々な相談に対応するため、福祉の有資格者による総合相談を行う。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	市民	保健福祉総合相談	相談件数 ※後期事業計画より「相談室の開設日数」から変更	244日	244日	244日	100.0%	4,320
70	継続	家庭児童相談事業	家庭における適正な児童養育、家庭児童福祉の向上を図るため、家庭児童相談員による児童相談指導を行い子育てがしやすい環境をつくる。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	家庭児童相談室での相談、支援	相談室の開設日数	244日	244日	244日	100.0%	10,231
71	新規	家庭児童相談事業 ※後期事業計画から追加	子育てに対する不安や悩みを持つ親の支援及び児童虐待予防のため「そだれん(怒鳴らない子育て練習講座)」の普及を図り、子育てがしやすい環境をつくる。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	子育て家庭	「そだれん(子育て練習講座)」の実施	実施回数					
72	継続	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため青少年育成団体等と啓発活動を行う。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民・青少年	街頭キャンペーン	実施回数	2回	2回	2回	100.0%	44
73	継続	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため青少年育成団体等と啓発活動を行う。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民・青少年	市広報紙・ホームページ・防災無線による見守り広報活動	実施回数	4回(長期休み明け)	4回(長期休み明け)	4回(長期休み明け)	100.0%	-
74	継続	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため青少年育成団体等と啓発活動を行う。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民・青少年	市職員の腕章着用による子どもの見守り	実施回数	5回	5回	5回	100.0%	70
75	継続	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため青少年育成団体等と啓発活動を行う。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民・青少年	「子ども110番の家」ステッカー・見守り腕章・見守りジャンパー等の啓発物品の配布	実施期間	244日	244日	244日	100.0%	1,606

平成24年度活動率		100.0%		平成25年度活動率		95.6%							
活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
-	相談窓口は、245日開設した。	245日	245日	100.0%	-	-	相談窓口は、244日開設した。	244日	244日	100.0%	-	-	職員課
-	前回調査の結果に基づき廃止の推進に努めるとともに、各課の対応状況について3月に調査を行った。	1回	1回	100.0%	-	-	前回調査の結果に基づき廃止の推進に努めるとともに、各課の対応状況について2月に調査を行った。	1回	1回	100.0%	-	-	企画経営課
-	人権相談窓口を開設して、12件の相談があった。	35日	36日	100.0%	-	-	人権相談窓口を開設して、19件の相談があった。	36日 ※後期事業計画より「35日」から変更	35日	97.2%	-	-	市民相談課
-	電話や面談により、女性からの相談に対応した。	244日	244日	100.0%	-	-	電話や面談により、女性からの相談に対応した。	244日	244日	100.0%	-	-	男女共同参画課
35	①7月「女性のための護身術講座」10人参加。②広報用ティッシュ300個を配布。	2事業	2事業	100.0%	42	35	7/25「女性のための護身術講座」16人②広報用ティッシュ300個を配布③10/12「デートDV防止講座」22人④1/21「市町村連携事業DVをのりこえて」32人計70人(うち女性延べ54人)	2事業	4事業	100.0%	62	57	男女共同参画課
4,320	平成24年度の相談受付件数は626件、うち高齢福祉に関する相談が約40%を占めた。	245日	245日	100.0%	4,320	4,320	平成25年度の相談受付件数は480件、うち高齢福祉に関する相談が約38%、生活困窮に関する相談が約31%を占めた。	550件 ※後期事業計画より「244日」から変更	480件	87.3%	4,320	4,320	保健福祉課
10,292	家庭児童相談室を開設し、533人の相談に対応した。	245日	245日	100.0%	13,729	13,222	家庭児童相談室を開設し、552人の相談に対応した。	244日	244日	100.0%	15,595	15,401	こども育成相談課
							「そだれん(怒鳴らない子育て練習講座)」を17クール(119回)実施し、100人(女性98人)が受講した。	19クール	17クール	89.5%	532	419	こども育成相談課
44	青少年育成団体、茅ヶ崎警察、市職員で茅ヶ崎駅で啓発物品の配布を行った。①6/22、②11/13	2回	2回	100.0%	40	40	青少年育成団体、茅ヶ崎警察、市職員で茅ヶ崎駅で啓発物品の配布を行った。①5/30、②11/18	2回	2回	100.0%	28	40	青少年課
-	防災無線で周知、合わせてホームページ・広報紙にも掲載した。①4/5②8/31③10/11④1/7	4回(長期休み明け)	4回(長期休み明け)	100.0%	-	-	防災無線で周知、合わせてホームページ・広報紙にも掲載した。①4/5②9/2③10/17④1/7	4回(長期休み明け)	4回(長期休み明け)	100.0%	-	-	青少年課
44	市職員が通勤時(1週間)腕章を着用し、見守りを行った。①4月、②6月、③9月、④11月、⑤1月	5回	5回	100.0%	74	47	市職員が通勤時(1週間)腕章を着用し、見守りを行った。①4月、②5月、③9月、④11月、⑤1月	5回	5回	100.0%	60	41	青少年課
1,450	地域で実施している安全パトロール等の啓発活動の支援のため物品を配布した。	244日	244日	100.0%	1,558	1,199	地域で実施している安全パトロール等の啓発活動の支援のため物品を配布した。	244日	244日	100.0%	1,412	1,173	青少年課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
76	継続	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため青少年育成団体等と啓発活動を行う。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民・青少年	インターネットにおける悪質な青少年有害情報の監視事業	検索件数 ※後期事業計画から追加より「実施回数」から変更	小中学校を対象にインターネット上の監視を行い、悪質な書き込み情報等の削除依頼を行った。	180日	180日	100.0%	2,575

基本目標3 人権が尊重される社会づくり

目標8 茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあを拠点とした

平成23年度活動率	100.0%
-----------	--------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
77	継続	DV被害者支援ネットワーク事業	DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者支援のため、庁内の横断的なネットワークを構築する。		職員	DV被害者支援に向けた研修会の開催	開催回数	3月に、市役所の関係課職員を対象として、民間の支援団体職員を講師に招き、研修会を開催した。	1回	1回	100.0%	-
78	継続	女性問題の研究調査及び啓発	悩みを抱える女性の諸問題の解決方法を見出すため、「女性のための相談室」を運営する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市民(女性)	「女性のための相談室」の充実	相談室の開設日数	電話や面談により、女性からの相談を受け付けた。	243日	243日	100.0%	-
79	継続	男女共同参画啓発等推進事業	女性のための相談室に寄せられた、生活上の悩みなど相談内容の解決に向けた情報の発信や各課と連携した支援など、事業の充実に向けた取組を展開する。		市民	茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあを拠点とした相談事業の実施	実施事業総数	2/14開催。「こんな時どうするの?女性のための法律講座」参加者9人。	1事業	1事業	100.0%	30

基本目標3 人権が尊重される社会づくり

目標9 女性が自分のからだのことを自分で決める権利を女性の人

平成23年度活動率	92.8%
-----------	-------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
80	継続	人権同和対策に関すること	人権啓発事業を推進するため、「人権を考える市民の集い」を開催し、市民及び職員の人権問題に対する意識の向上を図る。また、県内の人権団体等が開催する研修会等に積極的に参加し、職員の人権意識の向上を図る。		市民及び職員	市主催事業(人権を考える市民の集い)の開催	市主催事業の参加人数	1/27開催。講演会「震災から見えるもの」を開催し、被災者支援から人権を考えました。	300人	214人	71.3%	57
81	継続	男女共同参画啓発等推進事業	リプロダクティブ・ヘルス・ライツ等、人権に配慮した意識を持てるよう、事業を実施する。		市民	女性が自分のからだのことを自分で決める権利を女性の人権として確立する事業の実施	実施事業総数	3/6「骨盤ストレッチ」(スポーツ健康課との共済事業)	1事業	1事業	100.0%	9
82	継続	がん検診事業	女性特有のがん検診については検診受診率が低いため、受診率を上げて、疾病の早期発見、早期治療を目指す。	茅ヶ崎市健康増進計画	30歳以上の女性	乳房がん検診	乳房がん検診受診率	国の補助事業である「女性特有のがん推進事業」も加え積極的受診勧奨を図ると共に各種方法による啓発普及活動も実施した。	24.0%	21.7%	90.4%	33,307

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
2,475	小中学校を対象にインターネット上の監視を行い、悪質な書き込み情報等の削除依頼を行った。	180日	180日	100.0%	2,575	2,453	小中学校を対象にインターネット上の監視を行い、悪質な書き込み情報等の削除依頼を行った。	5,000件/月 ※後期事業計画より「180日」から変更	3,450件/月	69.0%	2,442	2,251	

相談事業に取り組む

平成24年度活動率	66.7%	平成25年度活動率	66.7%										
活動													
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度		平成25年度											
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
-	庁内においてDV被害者支援に関する情報共有は、適宜行ったが、DVに特化した研修会は実施しなかった。	1回	0回	0.0%	-	-	2/14「DV・ストーリー被害者対応研修会」25人（うち女性12人）	1回	1回	100.0%	-	-	男女共同参画課
-	電話や面談により、女性からの相談を受け付けた。	244日	244日	100.0%	-	-	電話や面談により、女性からの相談を受け付けた。	244日	244日	100.0%	-	-	男女共同参画課
30	3/11「女性のための自立支援セミナー及び個別相談」を実施。参加者6人。	1事業	1事業	100.0%	22	12	市の事業としては実施しなかったが、県の事業としてワーキングマザー両立応援カウンセリング、ひとりの親家庭のための あなたの自立のための養育費・就業相談を実施した。	1事業	0事業	0.0%	-	-	男女共同参画課

権として確立する

平成24年度活動率	81.7%	平成25年度活動率	82.0%										
活動													
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度		平成25年度											
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
21	1/28開催。講演会及び映画上映会「めぐみ」を開催し、拉致問題に対する取り組みから人権を考えた。	300人	209人	69.7%	59	20	3/20開催。全国中学生人権作文コンテスト茅ヶ崎市審査入賞作品発表・講演会を通して、中学生が考える人権を多くの人に伝えた。	300人	213人	71.0%	59	39	男女共同参画課
9	女性が自分のからだのことを自分で決める権利について扱った講座等事業は、実施できませんでした。	1事業	0事業	0.0%	-	-	女性が自分のからだのことを自分で決める権利について扱った講座等事業は実施できなかった。	1事業	0事業	0.0%	-	-	男女共同参画課
27,069	国の補助事業である「女性特有のがん推進事業」も加え積極的受診勧奨を図ると共に各種方法による啓発普及活動も実施した。	24.5%	22.6% 6,857人	92.2%	37,707	21,278	国の補助事業である「がん推進事業」も加え積極的受診勧奨を図ると共に各種方法による啓発普及活動も実施した。	20.0% ※後期事業計画より「25.0%」から変更	23.4% 7,216人	100.0%	28,257	34,267	保健福祉課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
83	継続	がん検診事業	女性特有のがん検診については検診受診率が低いと見られ、受診率を上げて、疾病の早期発見、早期治療を目指す。	茅ヶ崎市健康増進計画	20歳以上の女性	子宮がん検診	子宮がん検診受診率	19.0%	16.8%	88.4%	59,339						
84	継続	母子健康手帳交付事業	妊娠の届出をした妊婦に母子健康手帳を交付し、一貫した健康管理を行う。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	妊婦	母子健康手帳交付	交付件数	2,250冊	2,075冊	92.2%	2,439						
85	拡大	妊婦健康診査事業	妊婦健康診査の助成を通して、より妊婦の健康管理の充実を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	妊婦	妊婦健康診査費用補助券の交付 妊婦健康診査費用の補助	補助券利用率 ※後期事業計画より「妊婦健診の受診件数」から変更	23,000件	23,691件	100.0%	103,286						
86	継続	妊婦健康診査事業	妊婦の健康管理について異常の有無を早期に確認し、適切な指導を行う。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	妊婦	保健指導	要指導件数	60件	90件	100.0%	-						
87	拡大	母子栄養健康づくり事業	母親の健康の保持及び乳児の健全な発育を支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、茅ヶ崎市食育推進計画	妊婦(初妊婦優先)	マタニティクッキング	実施回数	12回(うち、3回は夫も参加しやすいうち、3回は土曜日等開催)	12回(うち、3回は夫も参加しやすいうち、3回は土曜日等開催)	100.0%	342						

基本目標3 人権が尊重される社会づくり

目標10 生涯にわたる健康を支援する

平成23年度活動率	99.7%
-----------	-------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
88	拡大	集団健康教育事業	壮年期からの生活習慣病予防及び健康保持増進を図る。	茅ヶ崎市健康増進計画	64歳以下の市民	健康教室の開催	開催回数	27回	28回	100.0%	1,697						
89	拡大	栄養改善事業	健康づくりと生活習慣病予防のための知識を普及する。	茅ヶ崎市健康増進計画、茅ヶ崎市食育推進計画	64歳以下の市民	栄養改善教室の開催	開催回数	23回	23回	100.0%	294						
90	継続	健康相談事業	日常生活において、本人及び家族の健康管理がスムーズに実行できるよう支援する。	茅ヶ崎市健康増進計画	市民	健康相談	相談事業実施日数(予約制健康相談及び随時の相談)	244日	244日	100.0%	128						
91	継続	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	高齢者の生きがいと健康づくり活動の推進とその普及に資することを目的に、各種の講座・教室を開催する。	第5期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画	60歳以上の高齢者	生きがい教室の開催	開催回数	8回	8回	100.0%	1,152						
92	継続	介護予防・健康づくり事業	民間のスポーツクラブを利用して、筋力トレーニング、健康運動、水中ウォーキングを実施し、運動習慣を定着させる。	第5期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画	60歳から80歳までの在宅の高齢者	介護予防・健康づくり事業	教室数	5箇所	5箇所	100.0%	5,401						

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
54,022	国の補助事業である「女性特有のがん推進事業」も加え積極的受診勧奨を図ると共に各種方法による啓発普及活動も実施した。	19.5%	18.6% 6,414人	95.4%	72,403	44,939	国の補助事業である「がん推進事業」も加え積極的受診勧奨を図ると共に各種方法による啓発普及活動も実施した。	18.0% ※後期事業計画より「20.0%」から変更	17.9% 6,230人	99.4%	53,342	50,829	保健福祉課
2,394	妊娠届出のあった妊婦や紛失の届出等があった人日本語版又は外国版のいずれか1つの母子健康手帳を交付した。	2,250冊	2,170冊	96.4%	3,171	3,027	妊娠届出のあった妊婦や紛失の届出等があった人日本語版又は外国版のいずれか1つの母子健康手帳を交付した。	2,100冊 ※後期事業計画より「2,250冊」から変更	2,041冊	97.2%	2,834	2,831	こども育成相談課
88,725	妊婦に対して妊婦健康診査費用補助券を交付し妊婦健康診査を受けやすくした。	23,000件	23,943件	100.0%	94,639	89,416	妊婦に対して妊婦健康診査費用補助券を交付し妊婦健康診査を受けやすくした。	90.0% ※後期事業計画より「23,000件」から変更	82.9%	92.1%	98,648	89,941	こども育成相談課
-	妊娠届出や妊婦健診等からハイリスク妊婦を把握し支援を行う。	12件	102件	100.0%	-	-	妊娠届出や妊婦健診等からハイリスク妊婦を把握し支援を行う。	60件 ※後期事業計画より「12件」から変更	112件	100.0%	98,648	89,941	こども育成相談課
309	初妊婦または夫婦に対して食生活等についての講義と調理実習、試食を行う。	12回(うち3回は夫も参加しやすいよう土曜日等開催)	15回(うち6回は夫婦で参加する夫婦版を実施)	100.0%	408	390	初妊婦(70人)または夫婦(61組)に対して食生活等についての講義と調理実習、試食を行う。	15回(うち3回は夫も参加しやすいよう土曜日等開催)	15回(うち6回は夫婦で参加する夫婦版を実施)	100.0%	423	403	こども育成相談課

平成24年度活動率		89.2%	平成25年度活動率		95.8%								
活動						担当課名							
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度			平成25年度										
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
1,540	生活習慣病予防に関する講演会・運動教室、女性の健康づくりの講座等を開催した。	27回	27回	100.0%	1,653	1,609	生活習慣病予防に関する講演会・運動教室、女性の健康づくりの講座等を平日や土曜日に開催した。(参加延べ人数:男性173人女性1078人)	28回 ※後期事業計画より「27回」から変更	28回	100.0%	1,633	1,604	スポーツ健康課
288	生活習慣病予防や夕食が遅いときの献立の工夫、学生や社会人のお弁当についての栄養改善教室を開催した。	23回	23回	100.0%	294	280	生活習慣病予防や朝食の工夫、学生や社会人のお弁当、夫婦で食生活改善等の栄養改善教室を平日や土曜日に開催した。(参加人数:男性10人女性320人)	23回	23回	100.0%	294	285	スポーツ健康課
99	年間12回の予約制健康相談と市役所開庁日での電話・面接等の相談を実施した。	245日	245日	100.0%	128	111	市役所開庁日に保健師による随時の健康相談と非常勤栄養士等を雇用しての予約制健康相談を実施した。	244日(予約制健康相談実施は12日)	244日	100.0%	128	49	保健福祉課
1,151	老人クラブと連携しスポーツや趣味の活動など高齢者のニーズに応じた教室を開催した。	8回	8回	100.0%	1,152	1,144	老人クラブと連携しスポーツや趣味の活動など高齢者のニーズに応じた教室を開催した。	8回	8回	100.0%	1,152	1,144	高齢福祉介護課
4,735	民間のスポーツクラブを利用して、60～80歳までの高齢者を対象に「60歳からのフィットネス教室」を実施した。	5箇所	5箇所	100.0%	5,401	4,246	民間のスポーツクラブを利用して、60以上の高齢者を対象に「60歳からのフィットネス教室」を実施した。	5箇所	5箇所	100.0%	5,401	4,268	高齢福祉介護課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
93	継続	脳の健康教室事業	簡単な読み、書き、計算で脳のトレーニングを実施。週1回教室への参加と毎日15分程度の自宅学習をする。	第5期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画	65歳以上の高齢者	脳の健康教室事業	開催回数	65歳以上の健康な高齢者を対象に、認知症を予防するため、「脳の健康教室」を実施した。	2回	2回	100.0%	1,105
94	継続	思春期保健事業	思春期前期と言われる小学3年生、4年生を対象に講座を実施する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	小学3年生・4年生	思春期わくわく体験講座	実施回数	思春期わくわく体験講座に児童356人、保護者46人が参加した。	4回	4回	100.0%	116
95	継続	思春期保健事業	学校からの依頼や市民まなび講座を活用し、思春期保健について知識の普及を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	小学3年生・4年生	思春期依頼教育	実施回数	依頼による教育に全小学校(13校)から児童1699人、保護者347人が参加した。	全小学校	全小学校	100.0%	-
96	継続	乳幼児健康診査事業	健康診査を「乳幼児の健康状態を確認し、疾病・異常等の早期発見とともに各時期の育児上のポイントを親と確認できる機会」として捉え、安心して子育てができるよう支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	4か月児、10～11か月児	4か月児健康診査 10～11か月児健康診査	平均検診受診率 ※後期事業計画より「健診受診件数」から変更	4か月児及び10～11か月児を対象に個別による健康診査を実施する。	4,200人(各2,100人)	計4,041人	96.2%	32,716
97	継続	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の健康な歯は、成長に必要な栄養摂取や言葉の発達にも大きな役割を果たしていることを踏まえ、健康診査、教育や相談等の事業で歯科指導を充実する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	1歳6か月児、3歳6か月児	1歳6か月児健康診査(一般・歯科) 3歳6か月児健康診査(一般・歯科)	健診実施回数	1歳6か月児及び3歳6か月児を対象に集団による健康診査を実施する。	各36回	各36回	100.0%	12,310
98	継続	乳幼児健康・育児相談事業	発育・発達・育児・栄養などに関する相談を実施することで、乳幼児の健康の保持増進を図り、保護者の育児を支援する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	乳幼児7か月児 2歳～2歳2か月児	①乳幼児健康相談②7か月児育児相談③2歳児歯科相談④予約制の健康相談 ※後期事業計画から④を追加	実施回数	子どもの発達の節目に健康相談を実施する。	①144回 ②36回 ③36回	①144回 ②36回 ③36回	100.0%	2,395
99	継続	健康講座事業	現代日本人の抱える、心と体の健康に関する諸問題を1年間を通して学習する。		市民	健康講座	講座数	「不安解消医療被ばくの話」参加8人、「美筋エクササイズ」参加6人。「はじめてのヨーガ」全2回参加延べ55人。	2講座	3講座	100.0%	40

基本目標3 人権が尊重される社会づくり

目標11 人権尊重のために、メディアからの情報を主体的に読み

平成23年度活動率	100.0%
-----------	--------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
100	継続	広報主任会議でのメディア・リテラシーの周知・啓発	情報メディアを主体的に読み解いて必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用することの必要性や人権への配慮を周知・啓発し、広報活動に役立てる。		職員	広報主任会議の開催	開催回数	6月に神奈川新聞の記者を講師に招き情報発信をテーマに開催。8月にホームページ「よくある質問」の運用を説明。	2回	2回	100.0%	-
101	継続	人権擁護活動事業	人権問題に関して市民の相談に応じ、人権侵犯事件への切り替え、関係機関への連絡、助言等の必要な措置をとり基本的人権を擁護し、併せて自由人権思想の普及高揚を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市内在住・在学の小学4～6年生	小学生人権ボスターコンテスト	開催回数	市内14校より821点応募があった。	1回	1回	100.0%	280
102	継続	人権擁護活動事業	人権問題に関して市民の相談に応じ、人権侵犯事件への切り替え、関係機関への連絡、助言等の必要な措置をとり基本的人権を擁護し、併せて自由人権思想の普及高揚を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市内在住・在学の中学生	中学生人権作文コンテスト	開催回数	全国中学生人権作文コンテストに参加。市内13校より673編の応募があった。	1回	1回	100.0%	10

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
987	65歳以上の健康な高齢者を対象に、認知症を予防するため、「脳の健康教室」を実施した。	2回	2回	100.0%	1,106	961	65歳以上の健康な高齢者を対象に、認知症を予防するため、「脳の健康教室」を実施した。	2回	2回	100.0%	1,039	1,019	高齢福祉介護課
116	平成24年度、25年度は未実施の小学校は1校であったため、1校に実施。児童51人、保護者11人参加した。	4回	1校	25.0%	39	39	25年度は1回実施の小学校は1校であったため、1校に実施。児童53人、保護者9人参加した。(男女比不明)	2回 ※後期事業計画より「4回」から変更	1回	50.0%	39	32	こども育成相談課
-	依頼により17校迹ハ18回実施。児童1,956人、保護者367人参加した。	全小学校	17校	89.5%	39	39	依頼による教育に全小学校(15校)から児童1963人、保護者429人が参加した。(男女比不明)	全小学校	全小学校	100.0%	39	32	こども育成相談課
31,476	4か月児及び10~11か月児を対象に個別による健康診査を実施した。	4,200人 (各2,100人)	4か月児健診:1,887人、10~11か月児健診:1,918人	90.6%	31,360	29,536	4か月児及び10~11か月児を対象に個別による健康診査を実施した。	96.0%	97.2%	100.0%	31,793	30,981	こども育成相談課
11,511	1歳6か月児及び3歳6か月児を対象に集団による健康診査を実施した。	各36回	各36回	100.0%	12,193	11,435	1歳6か月児及び3歳6か月児を対象に集団による健康診査を実施した。	各36回	各36回	100.0%	12,318	11,629	こども育成相談課
1,904	平成24年度から地域で実施する健康相談を2か月に1回に変更した。また、新たに予約制の健康相談を実施した(12回)。	①148回 ②36回 ③36回	①96回 ②36回 ③36回	64.9%	2,252	1,603	子どもの発達に節目に健康相談を実施する。その他、保健センターや公民館等で乳幼児健康相談を実施	①84回②36回 ③36回④12回 ※後期事業計画より①を2回、④を追加	①84回 ②36回 ③36回 ④12回	100.0%	2,300	1,686	こども育成相談課
38	「続けたくなる健康10分」参加15人。「元気ですか?健康診断で元気を確認しましょう」参加16人を行った。	2講座	2講座	100.0%	40	40	「美筋スロートレーニング」参加30人。「膝と腰の痛みを予防改善する体操」参加36人。	2講座	2講座	100.0%	40	18	南湖公民館

解く力(メディア・リテラシー)を育成する

平成24年度活動率		90.0%	平成25年度活動率		60.0%								
活動													
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度			平成25年度										
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
-	2月に神奈川新聞の記者と男女共同参画課職員を講師をに招き、積極的な情報発信と情報リテラシーをテーマに開催しました。	2回	1回	50.0%	5	5	2月に東京新聞の記者と男女共同参画課職員を講師をに招き、積極的な情報発信と情報リテラシーをテーマに開催しました。	1回 ※後期事業計画より「2回」から変更	1回	100.0%	-	-	秘書広報課
267	市内13校より1,216名の応募があった。	1回	1回	100.0%	280	240	市内13校より1,436名の応募があった。	1回	1回	100.0%	276	239	市民相談課
10	市内12校より462名の応募があった。	1回	1回	100.0%	10	10	市内13校より588名の応募があった。	1回	1回	100.0%	10	10	市民相談課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
103	継続	人権擁護活動事業	人権問題に関して市民の相談に応じ、人権侵害事件への切り替え、関係機関への連絡、助言等の必要な措置をとる基本的な人権を擁護し、併せて自由人権思想の普及高揚を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	市内在住・在学の中学生	中学生との人権座談会	開催回数	12/16市役所会議室において実施。参加者数17名(市長、作文入賞者の中学生9名、人権擁護委員7名参加。)	1回	1回	100.0%	2
104	継続	男女共同参画啓発等推進事業	子どもの頃から男女共同参画の啓発とともに、メディアにおける影響を鑑み、対策の必要性も含め、情報の取捨選択の必要性について、事業等を行い意識啓発に努める。		市民	人権尊重のために、メディア・リテラシーを育成する事業の実施	実施事業総数	乳幼児期の子育ち・子育て講座①9/7、②10/11※②教育センターとの共催事業	1事業	2事業	100.0%	49

基本目標3 人権が尊重される社会づくり

目標12 様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備

平成23年度活動率	87.2%
-----------	-------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
—	終了	外国人相談事業 ※前期事業計画で終了	言葉の壁や生活習慣の違いに関係なく地域での円滑な生活が送れるよう、生活相談や各種の情報提供を行う。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	外国籍市民	外国籍市民相談	相談受付件数	茅ヶ崎市国際交流協会を介する程度の相談の受付がなかった。※平成23年度で休止事業	10回	0回	0.0%	24
105	拡大	重度障害者医療費助成事業	重度障害者に医療費を助成することにより経済的援助を図る。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	重度障害者	重度障害者の医療費の助成	助成件数	重度障害者の保険内診療分の医療費の助成を行った。	108,510件	96,638件	89.1%	623,292
106	拡大	障害者就労支援事業	障害者の就労訓練をすることにより就労の支援を図る。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	障害者の就労(訓練)の場の確保	就労(訓練)者数	障害者に対して、ジョブコーチの支援、地域就労援助センターの支援等により就労訓練を行った。	10人	12人	100.0%	9,776
—	終了	障害者地域作業所指導事業 ※前期事業計画で終了	地域作業所に運営費の助成をすることにより、障害者の活動場所の提供と社会参加の支援を図る。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	地域作業所の運営費の助成	補助金交付回数	市内5か所の地域作業所に対して運営の補助を行い障害者に支援を行った。	2回	2回	100.0%	61,055
107	継続	自立支援給付費に関する事務	障害者の自立した生活を行うため各種サービスの提供を行う。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	障害福祉サービスの提供	請求内容の審査	介護給付費等について実績報告書と請求の審査を行い適正な支払いを行った。	12回	12回	100.0%	1,587,577
108	継続	コミュニケーション支援事業	手話通訳者、要約筆記者の派遣等により聴覚障害者等の意思伝達を容易にし、社会参加を図る。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	手話通訳者等の派遣	派遣件数	聴覚障害者等に対して社会参加の支援を目的として、手話通訳者、要約筆記者の派遣を行った。	400件	303件	75.8%	4,559
109	拡大	成年後見制度利用支援事業	知的障害者および精神障害者に対し、成年後見制度の利用を支援することにより、障害者の権利擁護を図る。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	成年後見制度の利用の支援	利用者数	障害者の権利擁護のため成年後見制度を通じて支援した。	8件	4件	50.0%	3,167
110	拡大	地域活動支援センター及び相談・生活支援事業	障害者のために、地域活動センターにおいて、創作活動などの機会を提供し、相談支援事業所において、相談支援を行う。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	地域活動支援センター及び相談支援事業所の運営	委託事業所数	障害者に対して、地域活動支援センター等において創作活動等の提供、相談の支援を行った。	14事業所	15事業所	100.0%	163,365

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
0	人権作文入賞者、人権擁護委員、市長が出席して開催した。	1回	1回	100.0%	2	0	新たな試みとして、人権座談会の代わりに「人権を考える市民の集い」において人権作文朗読を実施。	1回	0回	0.0%	-	-	市民相談課
60	庁内研修に男女共同参画職員が参加し、メディアリテラシーについての研修を行うと共に、情報提供に努めた。	1事業	1事業	100.0%	-	-	メディア・リテラシーを育成する事業の実施できなかった。	1事業	0事業	0.0%	-	-	男女共同参画課

する

平成24年度活動率		94.3%	平成25年度活動率		89.5%								
活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
0	平成23年度で事業終了						※前期事業計画で終了						男女共同参画課
639,839	重度障害者の保険内診療分の医療費の助成を行った。	113,930件	110,726件	97.2%	649,722	639,760	重度障害者の保険内診療分の医療費の助成を行った。	119,630件	113,983件	95.3%	670,574	667,664	障害福祉課
8,710	障害者に対して、ジョブコーチの支援、地域就労援助センターの支援等により就労訓練を行った。	12人	21人	100.0%	9,626	7,604	障害者に対して、ジョブコーチの支援、地域就労援助センターの支援等により就労訓練を行った。	16人 ※後期事業計画より「14人」から変更	29人	100.0%	8,411	7,835	障害福祉課
52,356	平成23年度で事業終了						※前期事業計画で終了						障害福祉課
1,676,117	介護給付費等について実績報告書と請求の審査を行い適正な支払いを行った。	12回	12回	100.0%	2,104,211	2,129,046	介護給付費等について実績報告書と請求の審査を行い適正な支払いを行った。	12回	12回	100.0%	2,255,204	2,283,318	障害福祉課
4,448	聴覚障害者等に対して社会参加の支援を目的として、手話通訳者、要約筆記者の派遣を行った。	400件	411件	100.0%	4,500	4,769	聴覚障害者等に対して社会参加の支援を目的として、手話通訳者、要約筆記者の派遣を行った。	350回 ※後期事業計画より「400件」から変更	347回	99.1%	6,020	5,428	障害福祉課
2,606	障害者の権利擁護のため成年後見制度を通じて支援した。	12件	5件	41.7%	3,158	2,646	障害者の権利擁護のため成年後見制度を通じて支援した。	10人 ※後期事業計画より「10件」から変更	5人	50.0%	3,158	2,349	障害福祉課
162,194	障害者に対して、地域活動支援センター等において創作活動等の提供、相談の支援を行った。	17事業所	18事業所	100.0%	235,527	206,515	障害者に対して、地域活動支援センター等において創作活動等の提供、相談の支援を行った。	18事業所 ※後期事業計画より「17事業所」から変更	18事業所	100.0%	220,004	212,616	障害福祉課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績				
								活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
111	拡大	訪問入浴サービスに関する事務	訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体の清潔保持、心身機能等を図る。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	訪問入浴サービスの提供	利用者数	在宅の重度障害者に対して身体の清潔保持のために訪問入浴サービスを提供した。	15人	19人	100.0%	8,437
112	拡大	移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための支援を行う。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	移動支援の提供	利用件数	戸外での移動が困難な障害者に対して移動支援サービスを提供した。	3,000件	3,038件	100.0%	78,900
113	拡大	日中一時支援事業	日中、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設等において、障害者に活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための日常訓練等を行う。また、介護者の就労支援や一時的な休息支援を行う。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者とその家族	日中一時支援の提供	利用件数	日中における生活訓練を必要とする障害者に対し、サービスを提供し支援した。	2,150件	2,769件	100.0%	41,040
114	継続	店舗活用型就労支援事業	障害者の地域社会での自立と社会参加や市民および事業主等の就労に関する理解と協力を推進するため、空き店舗を活用し、障害者の就労支援を行う。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	障害者の就労(訓練)の場の確保	就労(訓練)者数	店舗活用型就労支援事業(サザンボ等)において就労の情報提供、就労訓練、就労相談等を行った。	6人	10人	100.0%	19,440
115	継続	SOSネットワーク事業	行方不明になる恐れがある障害児者をあらかじめ登録することにより、行方不明となった場合の早期発見、保護し、家族の不安を和らげる。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者	防災行政用無線による捜索	利用日数 ※後期事業計画より「稼働日数」から変更	SOSネットワーク事業に事前登録することにより、行方不明となった障害者の早期発見を行った。	366日	366日	100.0%	349
116	新規	障害者虐待防止事業 ※後期事業計画から追加	障害者虐待防止法に基づき、市が通報、届出の窓口となる。当該障害者の安全の確認と必要な措置を講ずる。	茅ヶ崎市障害者保健福祉計画	障害者及び養護者等	虐待防止センターの設置	設置か所数					
117	拡大	任意事業	高齢者が地域において自立した生活を営むよう法の趣旨に反しない限り地域の実情に応じた事業(介護給付費適正化事業、認知症サポートセンター養成研修事業、徘徊高齢者家族支援サービス事業、成年後見制度利用支援事業等11事業)を実施する。	第4期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画	65歳以上の高齢者及び要介護高齢者を介護する家族	任意事業	実施事業数	介護保険事業の運営の安定化と被保険者の地域における自立した日常生活の支援のため、実情に応じた事業を実施した。	9事業	10事業	100.0%	18,097
118	継続	母子父子家庭 ふれあい事業	母子・父子家庭の家族内の親睦を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	母子・父子家庭等	ふれあい大会の開催	開催回数	58世帯136名の参加により八景島シーパラダイスへ日帰り旅行を10月16日に開催した。	1回	1回	100.0%	1,133
119	拡大	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭等で日常生活に支障が生じるとき、日常生活の世話を行う家庭生活支援員を派遣する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	母子・父子家庭等	家庭生活支援員の派遣	派遣時間	生活援助や子育て支援として延べ26人の支援員を派遣した。	150時間	258時間	100.0%	341
120	拡大	母子家庭高等技能訓練促進費事業	母子家庭の生活の安定に資するため、資格取得を促進する。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	母子・寡婦家庭等	資格取得相談の実施	受講者数	正看護師や保育士の資格取得のための養成機関に通う母親に支給した。	9人	15人	100.0%	34,986
121	拡大	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	母子家庭の母または父子家庭の父が自主的に職業能力の開発を推進するため、指定した講座修了後に給付を行う。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	母子・寡婦家庭等	教育訓練講座受講相談の実施	受講者数	ホームヘルパー2級や介護福祉士等の講座に通う母に講座費用の20%を給付した。	4人	3人	75.0%	190
122	拡大	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画	母子・父子家庭等	国保連合会への扶助費の支払い	支払件数	ひとり親家庭等に医療証を支付し、医療費の給付を行った。	37,200件	42,589件	100.0%	111,214
123	継続	道路舗装修繕事業 ※後期事業計画より「歩道段差改良工事」から変更	交差点部や横断歩道部における、歩道と車道の段差を解消し、視覚障害者用誘導ブロックの設置等により、歩行者・自転車及び身体障害者等の通行の安全を図る。	茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画後期計画、第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	市民	歩道段差改良工事	改良箇所数	平成23年度予算として21箇所を施行したほか、平成22年度繰越分として8箇所を施行した。	14箇所	21箇所	100.0%	4,050

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)		決算額 (千円)
9,797	在宅の重度障害者に対して身体の清潔保持のために訪問入浴サービスを提供した。	20人	17人	85.0%	10,000	9,949	在宅の重度障害者に対して身体の清潔保持のために訪問入浴サービスを提供した。	19人 ※後期事業計画より「15人」から変更	18人	94.7%	11,875	10,355	障害福祉課
85,871	戸外での移動が困難な障害者に対して移動支援サービスを提供した。	3,120件	2,933件	94.0%	84,270	79,573	戸外での移動が困難な障害者に対して移動支援サービスを提供した。	3,100件 ※後期事業計画より「3,120件」から変更	2,973件	95.9%	85,695	83,030	障害福祉課
36,066	日中における生活訓練を必要とする障害者に対し、サービスを提供し支援した。	2,220件	3,190件	100.0%	41,056	40,559	日中における生活訓練を必要とする障害者に対し、サービスを提供し支援した。	2,870件 ※後期事業計画より「2,220件」から変更	3,521件	100.0%	40,080	44,044	障害福祉課
15,816	店舗活用型就労支援事業（サザンボ等）において就労の情報提供、就労訓練、就労相談等を行った。	8人	14人	100.0%	17,420	16,608	店舗活用型就労支援事業（サザンボ等）において就労の情報提供、就労訓練、就労相談等を行った。	10人	22人	100.0%	19,410	18,480	障害福祉課
120	SOSネットワーク事業に事前登録することで、行方不明となった障害者の早期発見を行った。	365日	365日	100.0%	335	120	SOSネットワーク事業に事前登録することで、行方不明となった障害者の早期発見を行った。	3日 ※後期事業計画より「356日」から変更	3日	100.0%	353	120	障害福祉課
							随時相談に応じるなど適切な整備体制整備をした。	1か所 ※後期事業計画から追加	1か所	100.0%	113	67	障害福祉課
15,213	介護保険事業の運営の安定化と被保険者の地域における自立した日常生活の支援のため、実情に応じた事業を実施した。	9事業	11事業	100.0%	26,290	23,105	介護保険事業の運営の安定化と被保険者の地域における自立した日常生活の支援のため、実情に応じた事業を実施した。	11事業 ※後期事業計画より「9事業」から変更	11事業	100.0%	26,626	23,275	高齢福祉介護課
850	66世帯166名の参加により東京ディズニーランドへ日帰り旅行を7月8日に開催した。	1回	1回	100.0%	1,457	1,457	78世帯195名の参加により東京ディズニーランドへ日帰り旅行を7月7日に開催した。	1回	1回	100.0%	1,457	1,457	子育て支援課
305	生活援助や子育て支援として延べ59人の支援員を派遣した。	150時間	353時間	100.0%	792	421	生活援助や子育て支援として延べ41人の支援員を派遣した。	606時間 ※後期事業計画より「150時間」から変更	201時間	33.2%	590	267	子育て支援課
20,832	正看護師や保育士の資格取得のための養成機関に通う母親に支給した。	9人	17人	100.0%	27,247	22,132	正看護師や保育士の資格取得のための養成機関に通う母親に支給した。	18人 ※後期事業計画より「9人」から変更	16人	88.9%	21,914	20,433	子育て支援課
49	ホームヘルパー2級や社会福祉士の講座に通う母に講座費用の20%を給付した。	4人	5人	100.0%	190	144	ホームヘルパー2級や社会福祉士の講座に通う母に講座費用の20%を給付した。	8人 ※後期事業計画より「4人」から変更	7人	87.5%	121	121	子育て支援課
109,072	ひとり親家庭等に医療証を交付し、医療費の給付を行った。	36,000件	44,267件	100.0%	114,421	111,855	ひとり親家庭等に医療証を交付し、医療費の給付を行った。	48,800件 ※後期事業計画より「37,000件」から変更	47,359件	97.0%	121,222	120,436	子育て支援課
4,022	平成24年度予算として2.3箇所を施行した。	14箇所	2.3箇所	100.0%	3,645	3,576	平成25年度予算として4.5箇所を施行した。	10箇所 ※後期事業計画より「14箇所」から変更	4.5箇所	100.0%	3,645	6,806	道路管理課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
124	継続	市道0107号線(桜道)整備事業	交通バリアフリー法の施行を受けて全ての人が安全で安心して利用できる道路空間のユニバーサルデザイン化を目指す。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	市民	市道0107号線(桜道)整備事業	整備延長	目標に対して40%の歩道整備を行ったため、残りは翌年度に繰越した。	207m	82.8m	40.0%	42,000					
125	継続	小学校特別支援学級教育支援事業	児童一人一人の人間性を尊重し、将来の自立と社会参加を実現させるため、小学校特別支援学級の教育の充実を図る。		教員	特別支援学級関係教職員の研修会の実施	特別支援学級関係教職員の研修会の回数	小中合同の特別支援学級担当者会を実施した。①4/14、②7/29、③2/15、各41名参加。	3回	3回	100.0%	-					
126	継続	中学校特別支援学級教育支援事業	生徒一人一人の人間性を尊重し、将来の自立と社会参加を実現させるため、中学校特別支援学級の教育の充実を図る。		教員	特別支援学級関係教職員の研修会の実施	特別支援学級関係教職員の研修会の回数	小中合同の特別支援学級担当者会を実施した。①4/14、②7/29、③2/15、各42名参加。	3回	3回	100.0%	-					
127	継続	社会的要請課題をテーマとした事業	子育て・少子高齢化・環境・国際理解・情報技術・健康などの現代的課題をテーマに、身近な話題から様々な問題を考える学習機会を提供する。	茅ヶ崎市教育基本計画	市民	しなやかに生きるための女性講座	開催回数										
128	継続	家庭教育支援事業	次世代育成を主眼として親の役割や子育てに必要なことを学ぶ講座を開催する。		子と保護者	家庭教育支援講座	講座数	「今から始めよう 親子で生活習慣病予防」参加5人。	2講座	1講座	50.0%	40					
129	継続	現代的・地域的課題講座事業	様々な切り口で現代・地域課題について考える講座を開催する。		子育て中の保護者	現代的・地域的課題講座	講座数	「アロマセラピー教室」全2回参加延べ35人。「ハッピー&ママYOGA教室」全2回参加延べ64人。	2講座	2講座	100.0%	60					

基本目標4 男女が共に参画するまちづくり

目標13 政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やす

								平成23年度活動率		97.5%							
No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
130	継続	女性職員の管理職への登用	女性職員の管理職への登用に努める。		女性職員	女性職員の管理職への登用 ※後期事業計画より「女性職員の管理職への検討」から変更	管理職に占める女性の割合 ※後期事業計画より「女性職員の管理職への検討」から変更	2回	2回	2回	100.0%	-					
131	継続	市民参加推進・啓発事業	市の施策や計画の企画・立案のプロセスにおける市民参加の機会の拡充と参加しやすい環境整備を図る。		市民	審議会等における女性委員の参加	女性委員の割合	一部の審議会等で任期満了に伴う委員の改選があり、女性の委員が減少した。	30.0%	26.2%	87.3%	-					
132	新規	農業経営基盤強化促進事業 ※後期事業計画から追加	国の施策である「人・農地プラン」作成及び更新時に開催する市町村による検討会において、構成員3割を女性とし、人と農地の問題解決に女性の参画を実現する。		市民	茅ヶ崎市「人・農地プラン」検討会	女性委員の割合										
133	継続	男女共同参画啓発等推進事業	性別に偏らない政策、意思決定の場の実現の必要性について、啓発等の事業を通じ、広く周知するとともに、その実現に向け、継続的に働きかける。		市民	政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やす事業の実施	実施事業総数	10月に開催された新採用職員研修において、男女共同参画について講義した。	1事業	1事業	100.0%	-					

活動													担当課名
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
14,100	昨年度に繰越した60%の整備区間分と24年度の歩道整備を行った。	207m (H23繰越) 124.2m	H23繰越 101.2m、 H24実績 145.0m、 合計246.2m	100.0%	40,400 (H23繰越) 27,900	40,195 (H23繰越) 23,768	市道0107号線(桜道)の歩道整備200mを行った。	206m	200m	97.0%	58,765	58,764	道路管理課
-	小中合同の特別支援学級担当者会を実施した。①4/11、②7/26、③2/13、各46名参加。	3回	3回	100.0%	-	-	小中合同の特別支援学級担当者会を実施した。①4/15、②9/6、③2/4、各47名参加。	3回	3回	100.0%	-	-	学校教育指導課
-	小中合同の特別支援学級担当者会を実施した。①4/11、②7/26、③2/13、各46名参加。	3回	3回	100.0%	-	-	小中合同の特別支援学級担当者会を実施した。①4/15、②9/6、③2/4、各47名参加。	3回	3回	100.0%	-	-	学校教育指導課
							主催事業全体の見直しを行った結果、実施せず	1回	0回	0.0%			鶴嶺公民館
0	「口を出さずに見守る親の力」全3回行った。参加延べ45人。	2講座	1講座	50.0%	40	25	「子育て練習講座・・・そだれん」全7回。参加延べ28人。「ママズミニオンクラブ」全4回。参加延べ74人。	2講座	2講座	100.0%	40	10	南湖公民館
60	「アロマセラピー入門」参加20人。「はじめてのヨーガ」全2回参加延べ41人を行った。	2講座	2講座	100.0%	40	40	「はじめてのヨーガ」全3回。参加延べ53人。「リラックスヨーガ～ヨーガで培う ヨーガでゆるめる」全3回参加延べ54人。「アロマセラピーでナチュラル」全2回。参加延べ29人。	2講座	3講座	100.0%	40	80	南湖公民館

平成24年度活動率		97.7%	平成25年度活動率		97.0%								
活動													
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度			平成25年度										
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
-	検討回数	2回	2回	100.0%	-	-	管理職として18名の女性職員を登用した。	100% ※後期事業計画より「2回」から変更	10.2%	100.0%	-	-	職員課
-	一部の審議会等で任期満了に伴う委員の改選があり、女性の委員が増加した。	30.0%	26.5%	88.3%	-	-	一部の審議会等で任期満了に伴う委員の改選があり、女性の委員が増加した。(264人)	30.0%	27.9%	93.0%	-	-	市民自治推進課
							「人・農地プラン」検討会において、女性委員が5名中2名であった。	1/3以上	1/3以上	100.0%	-	-	農業水産課
-	10月に開催された新採用職員研修において、男女共同参画についてをテーマに男女共同参画課職員が講義した。	1事業	1事業	100.0%	-	-	10月に開催された新採用職員研修において、「男女共同参画について」をテーマに男女共同参画課職員が講義した。	1事業	1事業	100.0%	-	-	男女共同参画課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
134	継続	選挙管理委員会会議	選挙管理委員会定例及び臨時委員会を開催する。		選挙管理委員及び補充員	選挙管理委員への女性の積極的登用	女性の委員及び補充員の人数	委員数：4人（うち女性2人） 補充員数：4人（うち女性1人）	2人	2人	100.0%	2,240
135	継続	女性教職員の管理職への登用	市内小・中学校の管理職に女性を登用することにより学校の政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やす。		学校管理職	女性教職員の管理職への検討	女性管理職の割合 ※後期事業計画より「検討回数」から変更	女性教職員の管理職への登用を検討した。	1回	1回	100.0%	-

基本目標4 男女が共に参画するまちづくり

目標14 市民が主体的に男女共同参画を推進する

平成23年度活動率	86.9%
-----------	-------

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)
136	継続	市民活動サポートセンター管理運営事業	市民活動の総合拠点として、福祉、子育て、まちづくりなどを市民活動全般に関する情報の受発信などを行い、市民活動の推進を図る。		市民、市民活動団体	「市民活動団体ガイドブック」の発行	発行部数	283団体の活動情報等を掲載し、市民活動に興味のある人等への情報発信に活用した。	1,600部	1,300部	81.3%	-
137	拡大	地域集会所施設の管理運営事業	市民の地域活動を通じた交流の場となっているコミュニティセンターの運営内容の充実と有効な施設利用を図る。		施設利用者	地域住民の交流と参加を推進する自主事業、講座等の開催	開催館数	地域のニーズに応じた自主事業や講座等が行われ、地域住民の自主的活動の推進を図ることができた。	9館	9館	100.0%	88,327
138	拡大	市民活動推進補助事業	市民活動団体が行う公益的な事業を財政的に支援することにより市民活動の活性化を図る。		市民活動団体	市民が受益者となる公益的活動への補助金の交付	申請事業数	福祉、子育て等の分野で活動する市民活動団体に対し、補助金の交付を行った。	15事業	7事業	46.7%	1,854
139	継続	市民活動等災害補償制度事業	自治会活動、福祉・奉仕活動等、市民や団体が自発的に活動中で発生した損害賠償事故及び傷害事故について補償する。		ボランティア・市民活動団体	市民活動等保険の申請受付及び保険会社との連絡調整	受付件数	市民まなび講座等で、適宜制度についての説明を行い、市民に適切に活用していただいた。	70件	57件	81.4%	3,807
140	継続	防災訓練事業（総合防災訓練の開催）	市民の防災意識の高揚を図るため、毎年8月に関係機関等と連携し、市民の参加を得ながら、避難訓練、救出訓練等を実施する。	茅ヶ崎市地域防災計画	市民	総合防災訓練の開催	総合防災訓練の開催回数	8/21、松浪小学校において自主防災組織、関係機関等と連携し開催。参加人員は1,011名。	1回	1回	100.0%	2,923
141	継続	自主防災組織育成事業（地区自治会連合会防災訓練の指導）	地域防災力の向上のため、各地区自治会連合会主催の防災訓練についての指導を実施する。	茅ヶ崎市地域防災計画	市民	地区自治会連合会主催の防災訓練の指導	地区自治会連合会主催の防災訓練の指導回数	市内12地区において地区自治会連合会主催の防災訓練についての指導を実施。	12回	12回	100.0%	2,220
142	継続	自主防災組織育成事業（防災研修会の開催）	地域防災力の向上のため、自主防災組織役員及び防災リーダー等を対象として防災研修会を開催する。	茅ヶ崎市地域防災計画	市民	防災研修会の開催	防災研修会の実施回数	1/18、市民文化会館小ホールにおいて防災研修会を開催。395名が参加。	1回	1回	100.0%	72
143	拡大	自主防災組織育成事業（防災リーダーの育成）	地域防災力の向上のため、防災リーダーを養成・育成する。	茅ヶ崎市地域防災計画	市民	防災リーダー養成研修会の実施 ※後期事業計画より「防災リーダーの育成」から変更	女性参加者数 ※後期事業計画より「防災リーダー養成研修会の参加人数」から変更	6/18・19①研修会：参加者147名。 1/28・29②研修会：参加者61名。2/11フォローアップ研修会：参加者451名。	180人	208人	100.0%	3,228

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度						平成25年度							
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
2,220	委員数：4人（うち女性2人） 補充員数：4人（うち女性1人）	2人	2人	100.0%	2,240	2,220	委員数：4人（うち女性2人） 補充員数：4人（うち女性1人）	2人	2人	100.0%	2,240	2,220	
-	女性教職員の管理職への登用を検討した。	1回	1回	100.0%	-	-	管理職として17名の女性教職員を登用した。	30.0% ※後期事業計画より「1回」から変更	26.6%	88.7%	-	-	学務課

平成24年度活動率		88.5%	平成25年度活動率		92.2%								
活動													
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度			平成25年度										
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	担当課名
-	287団体の活動情報等を掲載し、市民活動に興味のある人等への情報発信に活用した。	1,700部	1,500部	88.2%	-	-	303団体の活動情報等を掲載し、市民活動に興味のある人等への情報発信に活用した。	1,600部 ※後期事業計画より「1,800部」から変更	1,400部	87.5%	-	-	市民自治推進課
88,327	地域のニーズに応じた自主事業や講座等が行われ、地域住民の自主的活動の推進を図ることができた。	10館	10館	100.0%	103,783	103,249	地域のニーズに応じた自主事業や講座等が行われ、地域住民の自主的活動の推進を図ることができた。	10館	10館	100.0%	123,712	121,153	市民自治推進課
1,836	地域安全、文化等の分野で活動する市民活動団体に対し、補助金の交付を行った。	15事業	12事業	80.0%	2,227	2,059	福祉、文化等の分野で活動する市民活動団体に対し、補助金の交付を行った。	15事業 ※後期事業計画より「20事業」から変更	11事業	73.3%	2,650	2,379	市民自治推進課
2,997	市民まなび講座等で、適宜制度についての説明を行い、市民に適切に活用していただいた。	70件	47件	67.1%	3,525	3,392	市民まなび講座等で、適宜制度についての説明を行い、市民に適切に活用していただいた。	70件	44件	62.9%	6,524	4,925	市民自治推進課
2,481	8/26、文教大学において自主防災組織、関係機関等と連携し開催。参加人員は833名。	1回	1回	100.0%	2,624	2,502	8月25日、小和田小学校において、自主防災組織、関係機関と連携し実施。参加者463人	1回	1回	100.0%	2,593	2,004	防災対策課
2,220	市内12地区において地区自治会連合会主催の防災訓練についての指導を実施。	12回	12回	100.0%	2,220	2,129	総合防災訓練実施地区を除く市内11地区において、地区自治会連合会主催の防災訓練について指導を実施	11回	11回	100.0%	2,310	2,100	防災対策課
89	1/17、市民文化会館大ホールにおいて防災研修会を開催。386名が参加。	1回	1回	100.0%	87	47	1/17、市民文化会館大ホールにおいて防災研修会を開催。386名が参加。	1回	1回	100.0%	40	72	防災対策課
2,670	6/16・17①研修会：参加者134名。 2/2・3②研修会：参加者73名。9月2日、9月8日にフォローアップ研修会：参加者198名。	180人	207人	100.0%	3,362	2,943	7/6・7①研修会：参加者111名。2/1・2②研修会：参加者69名。9月7日、9月8日にフォローアップ研修会：参加者183名。	75人 ※後期事業計画より「180人」から変更	180人	100.0%	3,402	3,235	防災対策課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度									
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額(千円)					
144	継続	自主防災組織育成事業(女性消防隊の育成)	地域防災力の向上のため、女性消防隊を育成する。	茅ヶ崎市地域防災計画	市民	女性消防隊の育成	女性消防隊の訓練・育成回数	小出地区自治会連合会防災訓練に参加。女性消防隊の訓練は実施せず。	1回	0回	0.0%	20					
145	継続	自主防災組織育成事業(避難所関係者による打合せ会)	災害発生時に避難所の運営が円滑に行われるよう、市内32校の公立小中学校で関係者による打合せ会を開催する。自主防災組織関係者、学校職員、配備職員等が参加して連携を図る。	茅ヶ崎市地域防災計画	市民	避難所打合せ	避難所打合せの実施回数	32校の小中学校で自主防災組織関係者、学校職員、配備職員等が参加して実施、参加者787名。	32回	32回	100.0%	-					
146	新規	地域防災計画推進事業 ※後期事業計画から追加	災害対策法第42条の規定に基づき、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的とし、茅ヶ崎市防災会議が作成する。	茅ヶ崎市地域防災計画	市、防災関係機関、市民及び企業	災害に対する予防・応急・復旧対策の核計画に係る男女双方の視点での配慮	男女双方の視点を配慮した環境整備の検証										
147	継続	地域防犯活動推進事業	警察・地域関係団体で構成する茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議において地域防犯を推進する。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	関係団体及び市民	茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議の開催	開催回数	10/11会議開催、参加者26名。6/22キャンペーン開催、参加者約100名。	会議1回、キャンペーン1回	会議1回、キャンペーン1回	100.0%	262					
148	継続	地域防犯活動推進事業	地域における防犯活動の推進および支援を図る。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	防犯活動をする団体	防犯活動団体の支援	防犯ネットワーク会議開催回数※後期事業計画より「団体数」から変更	防犯活動団体の支援	5団体増	1団体増	20.0%	828					
149	継続	交通安全啓発事業	地域絡ぐるみの防犯活動を推進し、地域の活動を通じ犯罪の未然防止に努め、犯罪のない明るいまちづくりを推進する。	第2期茅ヶ崎市地域福祉計画	関係団体及び市民	交通安全・防犯市民絡ぐるみ運動推進大会の開催	開催回数	10/28開催、参加者130名。	大会1回	大会1回	100.0%	295					
150	継続	地産地消推進事業	農業の担い手である女性も主体的に農産物品評会や各種共進会に参加することにより、市民が主体的に男女共同参加する一助とする。		市民	農産物品評会・各種共進会の開催・参加	女性農業者からの出品	果樹特産品評会、秋の農業まつり、花の展覧会において、女性農業者からの出品を受け付けた。	13人	36人	100.0%	-					
151	拡大	まなび人材事業	専門的な知識や技術を持っている方や地域で活躍している団体をまなびの市民講師として紹介する。	茅ヶ崎市文化生涯学習プラン、茅ヶ崎市スポーツ振興基本計画、茅ヶ崎市食育推進計画	市民	まなびの市民講師自主企画講座の実施	講座開催件数	お茶や歴史、音楽、料理、環境学習など多様な講師人による講座を開催した。	10講座	44講座	100.0%	868					
152	継続	生涯学習情報の収集・提供と相談体制の充実	市民の学習活動が活発に行われるよう学習情報の収集・発信と学習相談を行う。	茅ヶ崎市文化生涯学習プラン、茅ヶ崎市スポーツ振興基本計画	市民	学習情報誌(紙)の発行	発行回数	生涯学習ガイドブック(年1回・2,500部発行)エコー・ちがさき(年4回・各号1,200部発行)	5回	5回	100.0%	67					
153	継続	地域における男女共同参画の推進	男女共同参画社会の実現をめざし、市民に学習の機会及び活動の場を提供し、女性の社会参加の促進及び地位の向上に寄与することを目的として設置された茅ヶ崎市女性センターを拠点として、男女共同参画の推進を支援する。		市民	茅ヶ崎市女性センターの開設	開設日数	施設の設置目的を実現するために、茅ヶ崎市女性センターを適切に管理運営した。	308日	308日	100.0%	8,017					
154	継続	男女共同参画推進センターいこりあ登録団体申請受付及び支援	男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画に取り組む団体を支援する。		市内の男女共同参画に取り組む団体	男女共同参画推進センターいこりあ登録団体申請受付及び支援	登録団体数	新たに人権と女性の地位を高めるための奉仕活動を目的とする国際ソロプチミスト茅ヶ崎が加わった。	5団体	6団体	100.0%	-					
155	継続	新たな分野に取り組む事業	女性の男女共同参画の少ない分野において活躍の促進を図るための取り組みを行う。		市民	新たな分野の取り組みに関する事業の実施	実施事業総数	情報紙「いまここから」で、福島県で開催された相談員研修「被災者のための相談室運営に必要な視点」を紹介した。	1事業	1事業	100.0%	-					
156	継続	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画推進センターいこりあを拠点とした男女共同参画の推進に向けた事業等を行い、自主的な活動を応援し、人材育成に努める。		市民	市民が主体的に男女共同参画を推進する事業の実施	実施事業総数	5/18「託児スタッフ研修会」41人参加。本市の子育て支援における取り組み・託児事業を説明した。	1事業	1事業	100.0%	-					

活動												担当課名	
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
決算額 (千円)	平成24年度						平成25年度						
	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)		決算額 (千円)
0	女性消防隊の訓練は実施せず。	1回	0回	0.0%	-	-	女性消防隊の訓練は実施せず。	1回	0回	0.0%	-	-	防災対策課
-	32校の小中学校で自主防災組織関係者、学校職員、配備職員等が参加して実施、参加者815名。	32回	32回	100.0%	-	-	32校の小中学校で自主防災組織関係者、学校職員、配備職員等が参加して実施、参加者815名。	32回	96回	100.0%	-	-	防災対策課
							8月20日に防災会議を開催し、参加者45名	1回	1回	100.0%	8	5	防災対策課
126	6/27キャンペーン開催、参加者約100名。10/14会議開催、参加者88名。	会議1回、キャンペーン1回	会議1回、キャンペーン1回	100.0%	262	165	7/3キャンペーン開催、参加者約110名。10/14会議開催、参加者72名。	会議1回、キャンペーン1回	会議1回、キャンペーン1回	100.0%	312	256	安全対策課
758	防犯活動団体の支援	5団体増	2団体	40.0%	795	715	8/7キャンペーン開催、参加者約63名。3/19会議開催、参加者約27名。	会議1回、公開講座1回	会議1回、公開講座1回	100.0%	795	725	安全対策課
164	10/26開催、参加者120名。	大会1回	大会1回	100.0%	295	99	10/25開催、参加者約100名。	大会1回	大会1回	100.0%	295	124	安全対策課
-	果樹特産品評会、秋の農業まつり、花の展覧会において、女性農業者からの出品を受け付けた。	16人	36人	100.0%	-	-	果樹特産品評会、春・秋の農業まつり、花の展覧会において、女性農業者からの出品を受け付けた。	13人 ※後期事業計画より「20人」から変更	30人	100.0%	-	-	農業水産課
868	お茶や歴史、音楽、料理、環境学習など多様な講師人による講座を開催した。	10講座	50講座	100.0%	884	900	お茶や歴史、音楽、料理、環境学習など多様な講師人による講座を開催した。	15講座 ※後期事業計画より「10講座」から変更	47講座	100.0%	909	800	文化生涯学習課
67	生涯学習ガイドブック（年1回・2,500部発行）エコ・ちがさき（年4回・各号1,200部発行）	5回	5回	100.0%	67	57	生涯学習ガイドブック（年1回・2,500部発行）エコ・ちがさき（年4回・各号1,200部発行）	5回	5回	100.0%	66	64	文化生涯学習課
7,523	施設名称を茅ヶ崎市男女共同参画推進センターに改め、施設の設置目的を実現するために施設を適切に管理運営した。	306日	306日	100.0%	9,256	8,649	施設の設置目的を実現するために、茅ヶ崎市男女共同参画推進センターを適切に管理運営した。	306日	307日	100.0%	8,526	8,352	男女共同参画課
-	新たな団体の追加登録はなかった。	5団体	6団体	100.0%	-	-	新たな団体の追加登録はなかった。また、6団体のうち1団体が活動を終了したため登録を取り消した。	5団体	5団体	100.0%	-	-	男女共同参画課
-	映画「3・11ここに生きる-In The eMoment」の上映会と監督による講演会を実施。参加者98人。	1事業	1事業	100.0%	37	32	8/26~9/9「子連れアクティブ防災講座」37人（うち女性37人）	1事業	1事業	100.0%	69	69	男女共同参画課
-	4/27「託児スタッフ研修会」37人参加。本市の子育て支援における取り組み・託児事業を説明した。市主催の29事業にスタッフが参加しました。	1事業	1事業	100.0%	-	-	4/17「託児スタッフ研修会」26人参加。市主催の33事業においてスタッフが託児に参加した。	1事業	1事業	100.0%	-	-	男女共同参画課

No.	前期事業計画との比較	事務事業			対象	活動の名称	活動指標の名称	平成23年度				
		事務事業名	事務事業の目的・成果	事務事業に関連する計画名				活動実績				
								目標値	実績値	活動率	予算額(千円)	
												活動実績
157	継続	市民の森再整備ワーキング	市民の森再整備事業に女性の積極的な参加を促進する。		市民	市民の森再整備のためのワーキングの実施	女性参加者数の割合	参加者数の64人のうち、女性参加者は24人であった。	35.0%	43.0%	100.0%	504
158	新規	救命講習普及啓発事業(旧救命講習会拡大事業) ※後期事業計画から追加	救命率の向上を目的に、より多くの市民が救命講習会を受講しやすくなるための環境を整え、受講者の増加を図る。		市民							
—	本年度対象外	県議会議員及び県知事選挙の執行管理	県議会議員及び県知事選挙を適正に執行する。		有権者	投票立会人への女性の積極的登用	対象人数に対する女性の割合	対象人数：157人中43人 実施：1回(県会議員・県知事選挙)	20.0%	27.4%	100.0%	1,344
—	本年度対象外	市議会議員及び市長選挙の執行管理	市議会議員及び市長選挙を適正に執行する。		有権者	投票立会人への女性の積極的登用	対象人数に対する女性の割合	対象人数：152人中48人 実施：1回(市議会議員・市長選挙)	20.0%	31.6%	100.0%	1,302
—	本年度対象外	衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の執行管理	衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査を適正に執行する。		有権者	投票立会人への女性の積極的登用	対象人数に対する女性の割合					
159	継続	参議院議員通常選挙の執行管理	参議院議員通常選挙を適正に執行する。		有権者	投票立会人への女性の積極的登用	対象人数に対する女性の割合					
160	継続	講座保育ボランティア事業	公民館の講座に子育て中の親が参加しやすいよう、講座保育制度を設け、その保育のボランティアを登録する。	茅ヶ崎市教育基本計画	幼児・児童・保護者	講座保育ボランティア	対象講座数	様々な講座に対して延べ38人の保育ボランティアで延べ59人の乳幼児を託児した。	20講座	11講座	55.0%	115

活動													担当課名
活動実績・目標値・実績値・活動率・予算額・決算額													
平成24年度							平成25年度						
決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動実績	目標値	実績値	活動率	予算額 (千円)	決算額 (千円)	
474	参加者数のべ55人のうち、女性参加者は20人であった。	35.0%	36.0%	100.0%	504	488	参加者数のべ43人のうち、女性参加者は14人であった。	35.0%	32.5%	92.9%	5,984	5,942	公園緑地課
							26回実施し、他1回は応募者少数(2名)のため中止。対象応募者は、別の講習会にスライドして受講。	27回	26回	96.3%	1,441	1,564	救命課
1,295							本年度対象外						委員選挙管理局
1,295							本年度対象外						委員選挙管理局
	対象人数：153人中37人 実施：1回(衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査)	20.0%	24.1%	100.0%	1,344	1,302	本年度対象外						委員選挙管理局
							対象人数：157人中48人 実施：1回(参議院議員通常選挙)	20.0%	30.5%	100.0%	1,344	1,288	委員選挙管理局
88	保育ボラ数：延べ37人 託児数：延べ57人	20講座	12講座	60.0%	92	86	保育ボラ数：延べ107人 託児数：延べ147人	11講座 ※後期事業計画より「20講座」から変更	10講座	90.9%	92	216	南湖公民館

3 担当課による事務事業に対する評価

担当課による事務事業の評価は次のとおりです。

※「目標及び取り組みの方向性」欄の丸数字は、目標の番号です。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
1	職員課	1 男女平等の意識づくり	①男女平等について学ぶ機会を増やすために、研修を実施しました。	新採用職員を対象として、男女平等の職場づくりに関する意識向上を目的とする研修を実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	新採用職員を対象として、男女平等の職場づくりに関する意識向上を目的とする研修を実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	新採用職員を対象として、男女平等の職場づくりに関する意識向上を目的とする研修を実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	職員課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	④働きやすい環境をつくるために、時間外勤務削減に向けてのノー残業デーを実施しました。 ⑥男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめるために、子育てをしやすい職場環境の整備に努めました。	男性職員による育児休業等の取得を推進するため、イントラで周知を図りました。 また、ノー残業デーを実施・周知することで、時間外勤務の削減を行いました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	男性職員による育児休業等の取得を推進するため、イントラで周知を図りました。 また、ノー残業デーを実施・周知することで、時間外勤務の削減を行いました。 活動は一部目標値を達成することはできませんでしたが、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	男性職員による育児休業等の取得を推進するため、イントラで周知を図りました。 また、ノー残業デーを実施・周知することで、時間外勤務の削減を行いました。 活動は一部目標値を達成することはできませんでしたが、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	職員課	3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、セクシャルハラスメント防止のための対策を講じました。	セクシャルハラスメントに対して職員の苦情相談窓口を設置し随時相談を受け付けるとともに、公正かつ円満な解決に向け苦情処理委員会を設けています。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	セクシャルハラスメントに対して職員の苦情相談窓口を設置し随時相談を受け付けるとともに、公正かつ円満な解決に向け苦情処理委員会を設けています。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	セクシャルハラスメントに対して職員の苦情相談窓口を設置し随時相談を受け付けるとともに、公正かつ円満な解決に向け苦情処理委員会を設けています。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	職員課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑬政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やすために、女性職員の管理職への登用に努めました。	女性職員の管理職への登用を行いました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	女性職員の管理職への登用を行いました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	女性職員の管理職への登用を行いました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
2	市民自治推進課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑬政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やすために、参加しやすい環境整備に努めました。 ⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、情報発信や支援の充実に努めました。	市民活動サポートセンターにおいて、子育て、福祉などの市民活動に関する情報を発信し、参画機会の拡充の一助としました。同センターと連携し、地域集会施設における情報発信にも取り組みました。 市民活動団体が実施する事業に対し、金銭的な援助を行うとともに、活動しやすい環境整備のため、災害補償制度の活用を促しました。 活動は概ね達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	市民活動サポートセンターにおいて、子育て、福祉などの市民活動に関する情報を発信し、参画機会の拡充の一助としました。同センターと連携し、地域集会施設における情報発信にも取り組みました。 市民活動団体が実施する事業に対し、金銭的な援助を行うとともに、活動しやすい環境整備のため、災害補償制度の活用を促しました。 活動は概ね達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	市民活動サポートセンターにおいて、子育て、福祉などの市民活動に関する情報を発信し、参画機会の拡充の一助としました。同センターと連携し、地域集会施設における情報発信にも取り組みました。 市民活動団体が実施する事業に対し、金銭的な援助を行うとともに、活動しやすい環境整備のため、災害補償制度の活用を促しました。 活動は概ね達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	企画経営課	3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、性別による差別や偏見等の一因となりうる申請書等の性別記載及び押印の廃止に努めました。	所管課の事務に係る申請書等の性別記載及び押印廃止の推進により、全庁的に申請書等の記載欄は減少傾向にあります。 来年度は、調査を実施し、廃止状況の確認を行うとともに、残ったものについても、可能な限り廃止していきます。	各課の対応状況について3月に調査を実施しました。全庁的に申請書等の記載欄は減少傾向にありますが、引き続き、廃止が可能なものについては、早期の廃止に努めるよう、所管課に積極的に働きかけを行い、更なる廃止を推進します。	各課の対応状況について2月に調査を実施しました。性別記載欄で1件、押印欄で5件の廃止がありました。 全庁的に申請書等の記載欄は減少傾向にありますが、調査において廃止が可能とされたものについては、早期の廃止に努めるよう、所管課に積極的に働きかけを行い、更なる廃止を推進します。
4	秘書広報課	3 人権が尊重される社会づくり	⑪人権尊重のために、職員を対象にメディアからの情報を読み解く力（メディア・リテラシー）を育成する広報主任会議を開催しました。	広報主任会議を開催しましたが、メディア・リテラシーを育成するためのものではありません。 職員のメディア・リテラシーを向上させるためにも、次年度以降、男女共同参画課との共同で、広報主任会議の開催を検討する必要があると思われます。	男女共同参画課職員を講師に招き、メディア・リテラシー育成のため講義を行いました。 各課への周知ということで効果はあったと思われますが、広報紙、HPなどの情報発信の中で、メディア・リテラシーを意識することは必要なことであるため、今後も、周知・啓発に努めていく必要があると思われます。	平成25年度は、2月6日に広報主任会議を開催し、男女共同参画課職員を講師に招き、各課への周知を目的に、メディア・リテラシーをテーマとした講義を行いました。 本講義を行ったことにより、一定の効果はあったと思われますが、広報紙やHP、その他の様々な媒体において、今後も周知・啓発に努めていく必要があると思われます。
	契約検査課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	④働きやすい環境をつくるために、総合評価落札方式に男女共同参画の項目を入れ、事業者にも男女共同参画に対する意識を高めてもらうよう努めました。	総合評価方式を7件執行しました。 次年度以降も継続して取り組んでいきます。	総合評価方式を4件執行しました。 次年度は、減少傾向にある数値を現状維持としていますが、1件でも増やせるよう努めつつ、継続して取り組んでいきます。	総合評価方式を5件執行しました。 落札者は全て男女共同参画の評価項目で得点した者でした。件数は目標を達成できませんでしたが、本件については引き続き取り組んでいきます。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
6	防災対策課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、防災リーダーの養成や研修会の開催、地区自治会連合会主催防災訓練等の指導を実施し、自主防災組織等の育成に取り組みました。	防災リーダーの養成研修会及び地区自治会連合会主催防災訓練においては、女性や若年層を含んだ市民の参加者が増加し、地域防災力の底上げを図ることができました。 活動は概ね達成しています。女性消防隊の訓練の実施と合わせて次年度以降も継続して取り組んでいきます。	防災リーダーの養成研修会及び地区自治会連合会主催防災訓練においては、女性や若年層を含んだ市民の参加者が積極的に参加していただき、地域防災力の底上げを図ることができました。 活動は概ね達成しています。女性消防隊の訓練の実施と合わせて次年度以降も継続して取り組んでいきます。	防災リーダーの養成研修会及び地区自治会連合会主催防災訓練においては、女性や若年層を含んだ市民の参加者が積極的に参加していただき、地域防災力の底上げを図ることができました。 活動は概ね達成しています。女性消防隊の訓練の実施と合わせて次年度以降も継続して取り組んでいきます。
7	安全対策課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、その実現に向けた地域の防犯力向上や、犯罪のない明るいまちづくりに努めました。	女性のみで防犯活動している団体を市のホームページに掲載して紹介するなど、防犯活動に積極的に女性も参加してもらえるよう啓発しました。 目標をクリアしていないものもありますが、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	自主防犯団体は女性の参加者数が増加傾向にあります。今後も女性が積極的に参加できるように団体育成を行っていきます。 目標をクリアしていないものもありますが、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	市民が主体的な防犯活動を実施する中で、自主防犯団体の情勢参加者が増加傾向にあると認識しています。 平成25年度の県内の振り込み詐欺の被害者の内、女性が約80%を占めたことから、自主防犯団体に対する女性の参画推進について、さらに働きかけていきます。
8	市民相談課	3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、人権侵害の防止に努めました。 ⑪人権尊重のために、メディアからの情報を主体的に読み解く力（メディア・リテラシー）の育成を目的として、人権擁護の視点をもって情報を活用することの理解の啓発に努めました。	小中学生を対象に人権作文コンテスト、人権ポスターコンテストを実施し人権擁護の啓発に努めました。 中学生作文コンテスト入賞者を対象に、人権座談会を実施し人権擁護の啓発に努めました。 人権相談を毎月3回実施し、人権侵害の問題解決に努めました。 活動は概ね目標値を達成できました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。	小中学生を対象に人権作文コンテスト、人権ポスターコンテストを実施し人権擁護の啓発に努めました。 中学生人権作文コンテスト入賞者を対象に人権座談会を実施し、人権擁護の啓発に努めました。 人権相談を毎月3回実施し、人権侵害の問題解決に努めました。 活動は概ね目標値を達成できました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。	小中学生を対象に人権作文コンテスト、人権ポスターコンテストを実施し人権擁護の啓発に努めました。 人権座談会は実施せず。（代わりに中学生人権作文コンテスト入賞作文朗読を人権を考える市民の集いにおいて実施） 人権相談を毎月3回実施し、人権侵害の問題解決に努めました。 人権座談会以外の活動は概ね目標値を達成できました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。
9	農業水産課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑬政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やすために、参加しやすい環境整備に努めました。 ⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、地域産業の分野において、性別に偏らない人材を生かした男女共同参画を推進しました。	果樹持寄り品評会、秋の農業まつり、花の展覧会開催において、農家宅へ直接出品依頼をし、果樹持寄り品評会では8人、秋の農業まつりでは25人、花の展覧会では3人の女性農業者に出品していただくことができました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	前年度同様、果樹持寄り品評会、秋の農業まつり、花の展覧会開催において、農家宅へ直接出品依頼を行い、果樹持寄り品評会では9人、秋の農業まつりでは25人、花の展覧会では2人の女性農業者に出展していただきました。活動は目標値を達成しています。次年度も継続して取り組みます。	「人・農地プラン」検討会において、5名中2名の女性に出席いただき、プラン変更の内容について検討を行いました。 果樹持寄り品評会、春・秋の農業まつり、花の展覧会において、農家宅へ直接出品依頼を行い、果樹持寄り品評会では7人、春の農業まつり5人、秋16人、花の展覧会2人の女性農業者に出展いただきました。結果、目標値を上回る実績となりました。
10	雇用労働課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	④働きやすい環境をつくるために、社会状況を鑑みた就労等支援への取り組みを行いました。	女性が利用しやすいよう女性キャリアコンサルタント対応日を設定し、相談事業を実施しました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	女性が利用しやすいよう女性キャリアコンサルタント対応日を設定し、相談事業を実施しました。 相談者における女性の比率が前年度に比べ増加しており、就労等支援窓口として認知されていると思われる。次年度以降も継続して取り組んでいきます。	女性が利用しやすいよう女性キャリアコンサルタント対応日を設定し、相談事業を実施しました。 相談者における女性の比率は引き続き増加しています。勤労市民会館に開設している「茅ヶ崎市ふるさとハローワーク」と、相談窓口、就職支援講座などを総合的に実施していることが認知されていると思われる。次年度以降も継続して取り組んでいきます。
11	文化生涯学習課	1 男女平等の意識づくり	①男女平等について学ぶ機会を増やすために、多様な分野の講座を開催し、だれもが講座に参加しやすい環境づくりを行いました。	多様なニーズにこたえるために、ちがさき市民大学では、日本建築について3講座、災害に関する講座を4講座開催しました。また、ちがさき市民大学の後期（全4回）では、庁内連携をし講座を実施しました。 大学との連携事業については、五感に関する講座を6講座開催しました。講座ごとにアンケートを実施し、市民のニーズの把握に努め、講座開講に今後も取り組んでいきます。 開催曜日、時間は多様な方が参加できるように講座ごとに曜日や時間帯に考慮しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	多様なニーズにこたえるために、ちがさき市民大学では、前期テーマ「笑いのチカラ」後期テーマ「21世紀の地球」として3回ずつ、合計6回開催しました。 大学との連携事業については「美をめぐる生き方」と題し、連続した6回の講座を実施しました。講座ごとにアンケートを実施し、市民のニーズの把握に努め、講座開講に今後も取り組んでいきます。 開催曜日、時間は多様な方が参加できるように講座ごとに曜日や時間帯に考慮しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	多様なニーズにこたえるために、ちがさき市民大学では、前期テーマ「近代国家への脱皮～明治時代」後期テーマ「これからの社会を支える若者を知ろう」として3回ずつ、合計6回開催しました。 大学との連携事業については「日本」と題し、連続した6回の講座を実施しました。講座ごとにアンケートを実施し、市民のニーズの把握に努め、講座開講に今後も取り組んでいきます。 開催曜日、時間は多様な方が参加できるように講座ごとに曜日や時間帯に考慮しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
11	文化生涯学習課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、女性の講師による講座を開催し、地域の学習活動の支援を行いました。また、子育て中の親を支える子育て世代を対象とした講座を開催しました。	まなびの市民講師の女性講師による、お茶やフラワーアレンジメント、料理、歴史や健康にかかわる講座を開催しました。 また、子育て中の方が参加しやすいよう申込制ではなく五月雨式での参加可能な講座を開催しました。また、メール配信による講座情報提供を実施しました。 市の講座・イベント情報や会員を募集している団体・サークル情報を、まなびの市民講師一覧等を紹介する「生涯学習ガイドブック」を年1回、タイムリーな生涯学習提供のため、「エコー・ちがさき」を年4回発行しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	まなびの市民講師の女性講師による、お茶やフラワーアレンジメント、料理、スポーツや文芸にかかわる講座を開催しました。 また、子育て中の方が参加しやすいよう事前申込制ではなく当日参加型の生涯学習交流サロンを9回実施しました。 市の講座・イベント情報や会員を募集している団体・サークル情報、まなびの市民講師一覧等を紹介する「生涯学習ガイドブック」を年1回、タイムリーな生涯学習提供のため、「エコー・ちがさき」を年5回発行しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	まなびの市民講師の女性講師による、お茶やフラワーアレンジメント、料理、スポーツや文芸にかかわる講座を開催しました。 また、子育て中の方が参加しやすいよう事前申込制ではなく当日参加型の生涯学習交流サロンを9回実施しました。 市の講座・イベント情報や会員を募集している団体・サークル情報、まなびの市民講師一覧等を紹介する「生涯学習ガイドブック」を年1回、タイムリーな生涯学習提供のため、「エコー・ちがさき」を年5回発行しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
12	スポーツ健康課	3 人権が尊重される社会づくり	⑩生涯にわたる健康を支援するために、64歳以下の市民を中心に生活習慣病予防や健康保持増進の推進を図りました。	テーマにあった専門講師による講演会や、生活習慣病予防のための健康教室、栄養改善教室を開催しました。 また、市民・団体・企業からの依頼で健康教育を実施しました。 活動は全て目標値を達成しました。事務事業は次年度以降も継続し取り組んでいきます。	医師や専門職による、生活習慣病の予防や治療の最新情報等についての講演会を開催し、「ウォーキングやエアロビクスなどの運動教室や栄養のバランスを講義や調理実習から学ぶ栄養改善教室も開催しました。 また、市民まなび講座による依頼教室を実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	医師や専門職による、生活習慣病の予防や治療の最新情報等についての講演会を開催し、「ウォーキングやストレッチ、筋トレなどの運動教室や栄養バランスを講義や調理実習から学ぶ栄養改善教室も開催しました。 また、市民まなび講座による依頼教室や企業への出前講座を実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
13	男女共同参画課	1 男女平等の意識づくり	①男女平等について学ぶ機会を増やすために、関連団体との連携のもと、啓発事業を推進しました。 ②「男は仕事、女は家庭」という固定的役割分担意識をなくすための施策展開のため、市民意識調査を実施し、それに基づく啓発事業を推進しました。 ③平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進するために、平和事業を推進し、国際理解・異文化理解を深める機会を充実しました。	女性センターで登録団体によるパネル展を実施した結果、ロビーを利用する市民500人以上の方に見ていただくことができました。 はがきによるアンケート調査を実施し、男女共同参画に関する意識の変化を調査するとともに、意識啓発が進んでいない分野に関する書籍や資料の収集し、また、情報紙を配布し、啓発に努めました。 「平和について」ポスター・作文コンテスト入賞者の作品を発表し、ピーストレイン事業を通して平和の尊さを市民に伝えました。 また、茅ヶ崎国際交流協会等との共催事業により、国際理解・国際協力の輪を広げました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	センター名称をプランの名称と符合する「茅ヶ崎市男女共同参画推進センター」に名称変更することも、より親しみやすい施設となるよう愛称を公募し、イコールな場所という意味を持つ造語である「いこりあ」と決めました。名称変更および愛称の募集にあたっては、改めて茅ヶ崎市の男女共同参画推進の取り組みを周知しました。 継続的にはがきによるアンケート調査を実施するとともに、センターを拠点とした講演会などを実施しました。 情報紙の発行は、1回でしたが、広報に講座等掲載の際には、講座と共に「男女共同参画」をキーワードとした紙面づくりに努めました。 「平和について」ポスター・作文コンテスト入賞者の作品を発表し、ピーストレイン事業を通して平和の尊さを市民に伝えました。また、茅ヶ崎国際交流協会等との共催事業により、国際理解・国際協力の輪を広げました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	男女共同参画推進センターで登録団体によるパネル展を実施した結果、センターを利用する市民797人以上の方に見ていただくことができました。 はがきによるアンケート調査を実施し、平成23・24年度同様、回収率が3割を超えた結果、約400人の市民に男女共同参画について啓発すると共に、今後の男女共同参画の施策に反映させるための基礎資料とすることができました。 「平和について」ポスター・作文コンテスト入賞者の作品を発表し、ピーストレイン事業を通じて平和の尊さを市民に伝えました。また、茅ヶ崎市国際交流協会等との共催事業により、国際理解・国際協力の輪をひろげました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して事務事業に取り組んでいきます。
	男女共同参画課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	④働きやすい環境をつくるため、生き方や働き方にあったエンバウメントを推進しました。また、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が可能な働き方ができる社会形成に向け環境整備に努めました。 ⑥男性の家庭生活や地域生活への参画を進めるため、「男性が家計の担い手」という意識にとらわれることなく生きることや仕事と生活の調和を実現することを考えるきっかけとなる事業を推進しました。	女性のための就労支援講座としてパソコン講座（エクセル初級）を実施しました。また、法律の制定・改定等、情報を提供しました。 父子向けのクッキング講座を開催し、ワーク・ライフ・バランスに取り組むきっかけとなりました。また、父親を対象とした子育て講座「そだれん」を、こども育成相談課と共催しました。参加者（父親）は、子どものほめ方、叱り方をロールプレイを交えながら実践・体験しました。 活動は全て目標値を達成しました。特に、父子クッキング及び子育て講座は好評で、次年度以降の事業の拡大を検討していきます。	女性ための就労支援講座としてパソコン講座（エクセル初級）は、昨年同様、平成24年度も実施しました。また、24年度は、パソコンスキルの向上だけでなく、実際に仕事ハローワークや募集記事を見て仕事を探す方法や、自分にあった仕事や履歴書の書き方など、実際の就労に役立つ知識を得るためのキャリアコンサルタントによる就労支援講座も開催いたしました。その後、年度末には、講座後の就労状況の個別調査を実施しました。 ワーク・ライフ・バランスについては、昨年同様こども育成相談課と共催で、お父さん版そだれん、初めてお父さんを持つパパママ向けのマタニティクッキングを実施しました。その他、ワーク・ライフ・バランスの研究者を講師に招いて雇用労働課と共催で講演会を開催しました。 活動は全て目標値を達成しました。特に、父子クッキング及び子育て講座は好評で、次年度以降の事業の拡大を検討していきます。	生き方や働き方にあったエンバウメントを推進するため、就労支援（パソコン講座）、自分を見つめ直すきっかけづくり（ドラマセラピー講座）に取り組む、また、仕事と生活の調和を目指した女優による講演会を開催する等、様々な事務事業を実施しました。 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を可能とする社会形成に向け、好評だった父子クッキング及び子育て講座を前年度に引き続き実施しました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して事務事業に取り組んでいきます。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
13	男女共同参画課	3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、若年層への啓発を実施した。また、人権尊重のため、法律・制度の理解を促進しました。 ⑧茅ヶ崎市女性センターを拠点とした相談事業に取り組むために、関係課と連携して相談事業を推進しました。また、「女性のための相談室」へ寄せられた相談から見えてきた課題解決に向け、情報発信・情報提供を行いました。 ⑨女性が自分のからだのことで自分で決める権利を女性の権利として確立するために、人権に配慮した意識啓発を推進しました。 ⑩人権尊重のためにメディアからの情報を主体的に読み解く力を育成するため、男女共同参画の視点を持って情報を活用することの理解の啓発に努めました。 ⑪様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、外国籍相談事業を充実させました。	DV防止及び虐待防止に関するティッシュを作成し、公共施設や市が主催する講座で配布し、暴力の防止に関する啓発を行いました。また、女性が自身の身と心を守るための護身術講座を開催しました。 「女性のための相談室」を開設し、夫婦・家族・男女の間関係や生活上の悩みをもつ女性に対して電話・面談・法律相談を実施し、解決の一助としました。 メディア・リテラシー講座を開催し、情報の取捨選択の必要性について啓発しました。 外国籍市民に対して生活相談ができるように窓口を設置しました。また、各種情報提供ができるように情報収集に努めました。 活動は概ね目標値を達成していますが、外国人相談事業については窓口での職員による対応で完結しており、国際交流協会につなげる事例はありませんでした。今後は、相談目標値の再設定が必要とされます。その他の事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	若年者への啓発として、デートDVの冊子を2市1町全域連携事業で作成に取り組み、文教大学の協力を得て配布しました。なお、藤沢市、寒川町では、紙等の配布が可能だったため、成人式に新成人に配布しました。11月のDV防止週間については、センターを拠点にティッシュを配布し暴力防止に関する啓発を行いました。 女性のための相談室では、電話・面談相談を行うと共に、関係各課と連携し情報共有のため情報発信に努めました。 メディア・リテラシー、情報の取捨選択の必要性については、秘書広報課の開催する広報主任者研修において、男女共同参画に配慮した広報への注意事項等について、男女共同参画課職員が講師として説明しました。 さまざまな困難を抱える人々が安心して暮らせる環境整備については、関係課と連携し、情報提供に努めました。特に、東日本大震災については、男女共同参画に配慮した防災事例等について情報発信しました。 次年度以降も人権が尊重される社会づくりについては、関係課と協力して継続的に取り組んでいきます。	あらゆる暴力をなくすために、護身術講座やデートDV講座を開催し、また、広報用ティッシュを配布し、啓発に努めました。 相談事業については、「女性のための相談室」において、電話相談・面談相談を実施すると共に、職員を対象とした研修会を開催し、関係課と連携して情報共有に努めました。 事務事業のなかには実施できなかったものがありましたが、次年度以降の実施に向けて内容及び手法を検討し、継続的に取り組んでいきます。
	男女共同参画課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑬政策・方針決定の場に女性の参画を増やすために、その実現に向けた情報発信に努めました。 ⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、女性センターを拠点とした男女共同参画の推進に向けた活動を支援しました。	男女共同参画情報紙「いまここから」を発行し、公共施設や市が主催する講座で配布しました。 市が企画する講座で託児が必要な場合、登録したスタッフを派遣しており、未就学児を持つ子育て中の人が参加しやすくなることを目的とした託児スタッフ事業を実施しました。 活動は概ね目標値を達成しています。事務事業名「新たな分野に取り組む事業」は、人権担当と連携し、防災関係の講演会を実施しました。事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	男女共同参画情報紙「いまここから」では、女性の参画に関する記事を取り上げ、情報発信しました。 託児については、事業課が積極的に託児を設定した講座の開催が増えました。一度は、結婚、出産を理由に職をやめた方が多く、スタッフとして登録しています。再就職までの過渡期に社会と関わり、繋がる事業としても役割を担っています。 概ね目標値は達成していますが、今後、新たな分野での男女共同参画について、情報を伝えていくよう努めていきます。	庁内の新採用職員を対象に、政策・方針決定の場における女性の参画の重要性について、本課職員が講師として啓発に努めました。 前年度に引き続き託児スタッフ事業を実施しました。当該事業の利用者にとっては子どもを預けて講座や会議に参加することで社会参画を実現し、また、託児スタッフにとっては市の事業を通して社会につながるきっかけづくりとすることができました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して事務事業に取り組んでいきます。
14	保健福祉課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境を造るために、地域の相談機能の充実に努めました。			小出地区及び松浪地区への地域包括支援センターの増設に合わせて、地域福祉総合相談室を2箇所開設し、身近な地域で分野にとられない初期相談に応じる総合相談窓口が9箇所となり、地域住民の利便性の向上並びに地域福祉の増進に努めました。 活動は目標値を達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	保健福祉課	3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、人権を尊重する観点から相談事業を実施していきます。 ⑨女性が自分のからだのことで自分で決める権利を女性の権利として確立するために、女性特有のがん検診を実施すると共に人権に配慮した意識啓発を推進していきます。 ⑩生涯にわたる健康を支援するために、検診可能世代への積極的な検診受診勧奨を推進していきます。	市民からの保健・福祉に関する様々な相談に対応するため、福祉の有資格者による総合相談を実施しました。 女性特有のがん検診（乳房及び子宮）無料クーポン券事業による受診率の伸びが期待できましたが、大腸がん検診導入に係る決定がおくれたことによる実施時期のずれ込みにより、子宮がん検診は22年度の77.3%で、乳がん検診は88.6%でした。 日常生活において本人及び家族の健康管理がスムーズに行うことができるよう相談事業により支援しました。 活動は概ね目標値を達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	保健・福祉に関する様々な相談に対応することを目的とした福祉の有資格者による総合相談を実施し、626件の相談を受け付けました。 がん検診は通常の乳がん、子宮がん検診に加え、がん推進事業として乳房がん、子宮がんの無料クーポン券事業も実施し、その受診状況は子宮がん検診で23年度の11.0.8%、22年度の10.2.5%となり、乳がん検診では23年度の10.3.7%、22年度の10.0.8%でした。 相談事業も継続し、日常生活における本人及び家族の健康管理支援を実施しました。活動は目標値を達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	市民からの保健・福祉に関する様々な相談に対応するため、福祉の有資格者による総合相談を実施し、480件の相談を受け付けました。 女性特有のがん検診については、自己負担のあるがん検診に加え、国の補助事業を活用して、一定年齢の女性に乳がん子宮がんの無料クーポン券を送付しています。乳がんの受診者数は、平成24年度に比べ、359人増加し、受診率も10.5.2%となりました。一方、子宮がんについては、185人減少し、9.7.1%でした。平成24年度は、神奈川県モデル事業として、無料クーポン対象者に対して再受診勧奨し受診率が向上すると考えられます。そのため、平成26年度は、20歳から39歳までの女性に個別受診券を送付し受診率向上に取り組む予定です。 相談事業は、保健師による随時の相談と栄養師等による予約相談を実施していますが、生活全般の電話相談終了する相談がほとんどとなっています。 活動は概ね目標値を達成しており、事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。
15	障害福祉課	3 人権が尊重される社会づくり	⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、障害者を対象とした就労支援や相談支援体制を充実させました。また、日中一時支援により障害者の家族や介護者を対象とした一時的な休息支援や就労支援を実施しました。	障害者を対象とした医療費助成等の経済的な支援、就労支援、訪問入浴や移動支援等のサービスを提供して在宅生活の支援を実施しました。また、障害者だけではなく、日中一時支援により一時的な休息支援や就労支援も実施しました。 活動は、概ね目標値を達成しています。より一層の就労訓練や成年後見制度の周知を図るとともに、活動は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	障害者を対象とした医療費助成等の経済的な支援、訪問入浴や移動支援等のサービスを提供して在宅生活の支援を実施しました。とくに特別支援学級の増加とともに障害児を対象とする日中一時支援のニーズは高い状況です。 就労支援については、25年4月に障害者優先調達推進法の施行により、8月に調達方針を策定するとともに受注の拡大を図るため「ちがさき丸ごと手作りカタログ」を26年3月に発行しました。 障害者虐待防止については、10月に研修会を開催、12月の障害者週間に啓発グッズ（シールとぬいえ）を活用し、周知に努めました。	

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
16	高齢福祉介護課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、関係機関等との連携のもと、介護の社会化を促進しました。	地域包括支援センターによる包括的支援事業の実施により、高齢者が家庭や地域において自立した日常生活を営めるよう支援しました。 家族介護教室等の実施により、高齢者を介護している家族に対し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識や技術の周知を図りました。 活動は、全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域包括支援センターにおいて総合相談事業等を実施しました。 7ヶ所の地域包括支援センターには、福祉総合相談室を併設し、高齢者のみならず、子ども、障害者を含む地域住民の相談に対応しており、平成25年10月には、2ヶ所増設すると共に、市役所に基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センターの機能の強化に取り組んでいきます。	高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域包括支援センターにおいて総合相談事業等を実施しました。 9ヶ所の地域包括支援センターには、福祉総合相談室を併設し、高齢者のみならず、子ども、障害者を含む地域住民の相談に対応しています。また、平成25年10月より市役所に基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センターの機能の強化に取り組んでいます。
	高齢福祉介護課	3 人権が尊重される社会づくり	⑩生涯にわたる健康を支援するために、介護予防事業を推進しました。 ⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、成年後見制度の普及啓発を図り、高齢者の権利擁護を推進しました。	高齢者の心身の機能低下を防止し、要支援・要介護状態とならないようにするために、介護予防事業（すこやか支援プログラム、はつらつ健康プログラム）を実施するほか、各種教室を開催しました。特に「転倒予防教室」は誰もが参加しやすい取り組みとして、高い評価を得ました。 平成20年度より市民提案型協働推進事業としてスタートした成年後見支援センターを委託事業として継続し、成年後見制度の利用促進を図るとともに、権利擁護に関わる関係機関等のネットワークづくりを推進しました。 活動は、全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	元気な高齢者に対して、老人クラブ・シルバー人材センター・フィットネスクラブ等の関係機関と連携して、高齢者の体力やニーズに応じた教室を開催し、介護予防・健康づくりに取り組みました。 また、平成24年度から、看護師やケアマネジャー等の資格を持つ専門の相談員が24時間365日、介護、健康、医療等に関する電話相談に対応する「高齢者安心して電話事業」を開始し、困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備しました。 活動は、全て目標値を達成しており、引き続き継続して取り組んでいきます。	平成24年度に引き続き、元気な高齢者に対して、老人クラブ・シルバー人材センター・フィットネスクラブ等の関係機関と連携して、高齢者の体力やニーズに応じた教室を開催し、介護予防・健康づくりに取り組みました。 また、看護師やケアマネジャー等の資格を持つ専門の相談員が24時間365日、介護、健康、医療等に関する電話相談に対応する「高齢者安心して電話事業」を実施し、困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整えています。 活動は、全て目標値を達成しており、男女平等・男女共同参画の視点を取り入れながら引き続き継続して取り組んでいきます。
17	子育て支援課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、乳幼児を育てる親が悩み孤立することのないよう、情報提供や相談業務を行うとともに、仕事などで一時的に子どもを預けたい時のためのサービスを提供しました。	子育てに関する情報を幅広くまとめた子育てガイドブック改訂版を予定どおり期限内に20,000部を作成し、子育て家庭の利便性を図ることができました。 子育て短期支援事業においては、一時的に家庭での児童の養育が困難な場合に、白十字林間学校で養育を行い、保護者の負担を軽減することができました。利用者は前年より増加しました。 子育て支援センターでは育児相談及び子育て交流の場の提供等を行った結果、ほぼ目標通りの利用者がありました。 ファミリーサポートセンター事業においては、相互援助活動により、余裕をもって子育てができるよう育児支援を行った結果、会員数が増加し活動件数も目標を大幅に上回ることができました。 子育てガイドブックについては隔年の事業となりますが、その他の事務事業については次年度以降も継続して取り組んでいきます。	子育て短期支援事業においては、一時的に家庭での児童の養育が困難な場合に、白十字林間学校で養育を行い、保護者の負担を軽減することができました。利用者は前年よりショートステイは増加、トワイライトステイは微減しました。 子育て支援センターでは育児相談及び子育て交流の場の提供等を行った結果、利用者は前年より増加しました。 ファミリーサポートセンター事業においては、相互援助活動により、余裕をもって子育てができるよう育児支援を行った結果、会員数が増加しました。 子育てガイドブックについては25年度の事業となりますが、その他の事務事業については次年度以降も継続して取り組んでいきます。	子育てに関する情報を幅広くまとめた子育てガイドブック改訂版を予定どおり期限内に20,000部を作成し、子育て家庭の利便性を図ることができました。 子育て短期支援事業においては、一時的に家庭での児童の養育が困難な場合に、白十字林間学校で養育を行い、保護者の負担を軽減することができました。利用者は前年よりショートステイは増加、トワイライトステイは微減しました。 子育て支援センターでは育児相談及び子育て交流の場の提供等を引き続き行い、ほぼ目標通りの利用者がありました。 ファミリーサポートセンター事業においては、相互援助活動により、余裕をもって子育てができるよう育児支援を行った結果、会員数が増加し活動件数も増加しましたが、目標値には達しませんでした。 子育てガイドブックについては隔年の事業となりますが、その他の事務事業については次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	子育て支援課	3 人権が尊重される社会づくり	⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、ひとり親家庭等への経済的支援を中心としたサービスを提供しました。	母子父子家庭等親子ふれあい事業においては、東日本大震災の影響で規模を縮小せざるを得ませんでしたが、資格取得を促進する母子家庭高等技能訓練促進費事業や職業能力の開発を推進する母子家庭自立支援教育訓練給付金事業、また、家庭生活支援員の派遣を行う母子家庭等日常生活支援事業については、利用者が目標値を上回ることができました。 ひとり親家庭等医療費助成事業については、医療証の交付件数が増加するとともに、目標値を大きく上回る利用があり、ひとり親家庭等の福祉の推進を図ることができました。 事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	母子父子家庭等親子ふれあい事業、資格取得を促進する母子家庭高等技能訓練促進費事業や職業能力の開発を推進する母子家庭自立支援教育訓練給付金事業、また、家庭生活支援員の派遣を行う母子家庭等日常生活支援事業については、利用者が目標値を上回ることができました。 ひとり親家庭等医療費助成事業については、医療証の交付件数は微増ですが、今年も目標値を大きく上回る利用があり、ひとり親家庭等の福祉の推進を図ることができました。 事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	母子父子家庭等親子ふれあい事業は目標どおり事業を行うことができました。資格取得を促進する母子家庭等高等技能訓練促進費事業や職業能力の開発を推進する母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業、また、家庭生活支援員の派遣を行う母子家庭等日常生活支援事業については、目標値は下回りましたが、昨年、一昨年と同程度の事業を行うことができました。 ひとり親家庭等医療費助成事業については、医療証の交付件数は微減ですが、支払件数は昨年より増加しており、ひとり親家庭等の福祉の推進を図ることができました。 事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
18	こども育成相談課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、関係機関と連携を強め、母子保健事業や育児支援家庭訪問事業等において子育てに関する教育、相談等の支援を行いました。 ⑥男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめるために、男性も積極的に育児、家事等に関わるような様々な事業を推進しました。	母親教室、働くママの子育て教室等において効率的効果的に子育てができるような工夫やサービスを紹介しました。また、ファミリーサポートセンターや保育課等との連携を強化し、子育て情報を各教室等で紹介しました。 育児支援家庭訪問事業については、活動は目標値を達成していないものの、養育支援が必要な家庭に対し適切な支援を実施しました。 父親教室や夫婦版マタニティクリニック、にこにこ子育て教室等において男性の役割等について講義し、また、男性も積極的に育児、家事等に関わるよう沐浴、おむつ交換、調理等の実習を行いました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	働くママの子育て教室及び夫婦版マタニティクリニックの実施回数を増やし、参加しやすいようにしました。母親教室、働くママの子育て教室等において効率的効果的に子育てができるような工夫やサービスを紹介しました。また、ファミリーサポートセンターや保育課等との連携を強化し、子育て情報を各教室等で紹介しました。 育児支援家庭訪問事業については、活動は目標値を達成していないものの、養育支援が必要な家庭に対し適切な支援を実施しました。 父親教室や夫婦版マタニティクリニック、にこにこ子育て教室等において男性の役割等について講義し、また、男性も積極的に育児、家事等に関わるよう沐浴、おむつ交換、調理等の実習を行いました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	土曜日に、働くママの子育て教室及び夫婦版マタニティクリニックを開催し、働いている妊婦さんも参加しやすい環境を整えています。母親教室、働くママの子育て教室等において効率的効果的に子育てができるような工夫やサービスを紹介しました。また、ファミリーサポートセンターや保育課等と連携し、保育園やファミリーサポート等、働く母親にとって気になる子育て情報を各教室等で紹介しました。 育児支援家庭訪問事業については、活動は目標値を達成していないものの、養育支援が必要な家庭に対し適切な支援を実施しました。 父親教室や夫婦版マタニティクリニック、にこにこ子育て教室等において男性の役割等について講義し、また、男性も積極的に育児、家事等に関わるよう沐浴、おむつ交換、調理等の実習を行いました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
		3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、関係機関と連携を図り、家庭児童福祉の向上のため、家庭児童相談員による児童相談指導を行いました。 ⑧女性が自分のからだの自分を自分で決める権利を女性の人権として確立するために、男女双方の体の仕組みをお互いが理解し尊重できるように思春期保健教育を行いました。 ⑩生涯にわたる健康を支援するために、各種健康診査や相談事業を展開しました。	家庭児童相談業務については、目標どおりの活動が達成され、適正な児童相談指導が実施されました。 思春期わくわく体験講座や依頼による思春期保健教育を小学校等で実施し、児童やその保護者に思春期の特徴や、いのちの大切さ等の教育を行いました。 乳幼児や、妊婦健康診査費用の助成を行い、また、乳幼児健康診査や節目の時期に各健康相談を実施し、母親の健康や子どもの健康について確認する機会を提供しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	家庭児童相談業務については、目標どおりの活動が達成され、適正な児童相談指導が実施されました。 思春期わくわく体験講座については、未実施の小学校1校で実施しました。各地域で実施している健康相談を1か月に1回から2か月に1回に変更し、よりきめ細やかな支援を必要とする対象者に対して予約制の健康相談を新たに1回開始しました。 思春期わくわく体験講座や依頼による思春期保健教育を小学校等で実施し、児童やその保護者に思春期の特徴や、いのちの大切さ等の教育を行いました。 乳幼児や、妊婦健康診査費用の助成を行い、また、乳幼児健康診査や節目の時期に各健康相談を実施し、母親の健康や子どもの健康について確認する機会を提供しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	家庭児童相談業務については、目標どおりの活動が達成され、適正な児童相談指導が実施されました。 思春期わくわく体験講座については、未実施の小学校1校で実施しました。各地域で実施している健康相談を1か月に1回から2か月に1回に変更し、よりきめ細やかな支援を必要とする対象者に対して予約制の健康相談を新たに1回開始しました。 思春期わくわく体験講座や依頼による思春期保健教育を小学校等で実施し、児童やその保護者に思春期の特徴や、いのちの大切さ等の教育を行いました。 乳幼児や、妊婦健康診査費用の助成を行い、また、乳幼児健康診査や節目の時期に各健康相談を実施し、母親の健康や子どもの健康について確認する機会を提供しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
19	保育課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	④働きやすい環境をつくるために、保育園の施設整備を推進しました。	民間保育園が2カ所開園、1カ所定員増を伴う増改築を行い、目標値として設定した23年度の定員数を達成しました。 活動は概ね目標値を達成しているが、特定保育及び一時預かりについては、次年度で達成できるよう、事務事業は継続して取り組んでいきます。	公設民営保育園1園新設(120人増)、民間保育園1園新設・1園増築(82人増)を実施し、目標値として設定した24年度の入園児童数を達成しました。 24年度は、すべて事業において、設定した目標値を達成することができました。次年度も引き続き目標を達成できるよう、継続して取り組んでいきます。 なお、放課後児童健全育成事業については、毎年、入所児童数が一年間で百名以上も変動します。今年度より4月1日現在の入所児童数を実績値としました。 また、待機児童解消のための保育園整備拡充については、目標値を茅ヶ崎市次世代育成支援対策行動計画の上方修正した目標値、及び茅ヶ崎市第2次実施計画の目標値に合わせることにし、実績値を当該年度の翌年度初日を基準日とするとともに、数値を定員数から入園児童数へ見直しを行いました。	民間保育園2園新設(162人増)、1園増改築(10人増)を実施し、目標値として設定した25年度の入園児童数を達成しました。 また、26年度の開園に向けて民間保育園4園新設(300人増)を進め、働きやすい環境づくりに継続して取り組んでいきます。
		2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、道路照明灯や道路反射鏡の整備を行いました。	道路照明灯は14灯、道路反射鏡は48面の整備を行い、歩行者や車両の安全を確保しました。 活動は、概ね目標値を達成していますが、道路照明灯の点検については、目標値の再設定が必要とされます。事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	道路照明灯は15灯、道路反射鏡は41面の整備を行い、歩行者や車両の安全を確保しました。 活動は、概ね目標値を達成していますが、道路照明灯の点検については、目標値の再設定が必要とされます。事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	道路照明灯は12灯、道路反射鏡は53面の整備を行い、歩行者や車両の安全を確保しました。 活動は、概ね目標値を達成していますが、道路照明灯の点検については、目標値の再設定が必要とされます。事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。
20	道路管理課	3 人権が尊重される社会づくり	⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、道路空間のユニバーサルデザイン化を目指しました。	歩道段差改良工事は、21箇所(その他、平成22年度繰越分として8箇所)の整備を行い、市道0107号線については、8.2、8mの整備を行いました。 活動は、概ね目標値を達成していますが、市道0107号線の整備については平成23年度未達成分を含め、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	歩道段差改良工事は、23箇所の整備を行い、市道0107号線については、平成23年度未達成分10.1、2mを含め、24.6、2mの整備を行いました。 活動は、概ね目標値を達成しています。市道0107号線の整備については、第二次実施計画平成25年度で完了に向けて取り組んでいきます。	歩道段差改良工事は、45箇所の整備を行い、市道0107号線については、20.0mの整備を行いました。 活動は、概ね目標値を達成しています。市道0107号線の整備については、平成25年度で完了しました。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
21	公園緑地課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、市民の森ワーキング事業への女性の積極的な参加を促進しました。	参加者数のべ64人のうち、女性参加者の割合は37.0%で去年の33.0%から4.0%増加しました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	参加者数のべ55人のうち、女性参加者の割合は36.0%であり、活動目標値を達成しております。 次年度以降も継続して取り組んでいきます。	参加者数のべ43人のうち、女性参加者は14人、32.5%と目標値に達していませんでした。秋のツリーフェスタが雨天により中止されたことが大きな要因となります。 ワーキングメンバー以外の青少年課の事業「冒険遊び場」のメンバー（女性）の出席があるなど、他との連携により今までと違う女性の活動を得ています。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して事務事業に取り組んでいきます。
22	救命課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑭地域における男女共同参画を推進するために、救命講習会を開催しました。			救急車が到着するまでの間に市民が救命処置や応急手当ができるようになることを目標に、救命講習会を開催しました。 受講者数は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
22	選挙管理委員会事務局	4 男女が共に参画するまちづくり	⑬政策・方針決定の場に女性の参画を増やすために、様々な分野におけるポジティブ・アクションを推進しました。 ⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、自治会、学区区等、身近な生活圏である地域において、協働による男女共同参画を推進しました。	選挙管理委員及び補充員、投票立会人においては、積極的に女性を登用し目標値を上回りました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	選挙管理委員及び補充員、投票立会人においては、積極的に女性を登用し目標値を上回りました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	選挙管理委員及び補充員、投票立会人においては、積極的に女性を登用し目標値を上回りました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
23	学務課	4 男女が共に参画するまちづくり	⑬政策・方針決定の場に女性の参画を増やすために、女性教職員の管理職への登用を検討しました。	性別に偏らない、政策、意思決定の場を実現するため、女性教職員の管理職への登用を検討しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	性別に偏らない、政策、意思決定の場を実現するため、女性教職員の管理職への登用を検討し、活動は目標値を達成しました。次年度からは、より実効性が見える指標へと改め、取り組んでいきます。	女性教職員17名を管理職へ登用しましたが、目標値である30%には至りませんでした。管理職の教職員については、県教育委員会による教頭候補者選考試験合格者から登用することとなり、今後も女性教職員による同試験の受験及び管理職への登用を進めていきます。
24	学校教育指導課	1 男女平等の意識づくり	①男女平等について学ぶ機会を増やすために、地域と連携し、地域の協力の指導協力者による学校支援を通して学習機会の充実を図りました。また、学校教育が適正かつ円滑に行えるよう支援するために、指導主事が各学校を訪問し指導助言を行い学校支援に努めました。人権教育を充実させるために、人権教育講座を開催し、人権教育指導者としての資質と指導力の向上を図りました。	小・中学校32校に指導協力者を計448回派遣し、地域の教育資源を生かし、各教科や総合的な学習の時間において、体験を重視した学習を行い、児童・生徒の学びの質の向上を図り、学習の機会を充実させることができました。 指導主事が合計850回以上の学校訪問を通して、各学校の教育的課題を把握し、各校のニーズに応じた指導・助言を行いました。 市立公立学校教員を対象に人権教育講座を開催し、ワークショップ「育てよう人権感覚」を行い、参加体験型学習・グループでの意見交換を通して、授業で生かせる人権教育について研修しました。 活動は概ね目標値を達成していますが、人権教育講座については、実施回数が増やせるよう取り組んでいきます。	母子父子家庭等親子ふれあい事業、資格取得を促進する母子家庭高等技能訓練促進費事業や職業能力の開発を推進する母子家庭自立支援教育訓練給付金事業、また、家庭生活支援員の派遣を行う母子家庭等日常生活支援事業については、利用者が目標値を上回ることができました。 ひとり親家庭等医療費助成事業については、医療証の交付件数は微増ですが、今年も目標値を大きく上回る利用があり、ひとり親家庭等の福祉の推進を図ることができました。 事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	小・中学校32校にのべ448回にわたり、地域の指導協力者を派遣し、体験を重視した多様な学習活動を行うことで、学びの質の向上を図りました。 また、指導主事のべ1,005回にわたり、学校訪問を行い、子どもへの適切な関わり方等について、指導・助言を行いました。 人権教育においては、前期にワークショップ等を通して、相互理解を深めるコミュニケーションの在り方についての研修を市内小・中学校の教職員を対象に行いました。後期は、豊かな人権感覚を育むための研修を行いました。活動は目標値を達成しましたが、各学校において、参加した教員が研修内容を啓蒙していくことが今後の課題です。
	学校教育指導課	3 人権が尊重される社会づくり	⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、特別支援教育の充実を図り、特別支援学級担当職員の研修会を実施し、教職員の資質向上に努めました。	特別支援学級担当者会を行い、専門福祉司の講演や特別支援についての学習会、情報交換等、充実した内容の研修会となりました。 活動は目標値を達成しました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。	特別支援学級担当者会の中で、茅ヶ崎養護学校の巡回教育相談担当者や講師に招いての学習会や児童発達支援センター施設長を招いての講演会を行うとともに、各校の情報交換を行う等、充実した内容の研修会を行うことにより子どもたち一人一人のニーズに応じた教育の推進に資することができました。 活動は目標値を達成しました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。	特別支援学級担当者会を開催し、各校の子どもたちや職員の実態等について情報交換し、課題の共有を図りました。 また、特別支援教育に係る有識者を講師に招いて講演会を開催しました。参加者が自身の課題解決の糸口を見つけることができ、充実した講演会となりました。 活動は目標値を達成しました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。
25	社会教育課	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑥男性の家庭生活や地域生活への参画を進めるために、情報が与える影響について理解を深めるとともに、参加相互の情報共有を図りました。	子育てに関する情報提供の一つとして、メディアとのつきあい方について学習しました。しかしながら、男性の参加がなかったため、目的や条件設定の見直しが必要でです。	自分らしく生きることの大切さを、家族や固定的性別役割分業、ジェンダーを3回の講座で学び、仕事と家庭の両立に向けた意識啓発ができました。また、地域へ踏み出す一歩として、人と人との関係性を作る手段としてのユーモアの効用についての講座では、男性の参加が多くありました。	①「おやこDEひなんじよ体験」では、子どもを含め22人が参加（女性11人、男性11人）、②「会社へのひとから社会のひとへ」では延べ46人（女性16人、男性30人）の参加がありました。ともに現代的課題で実施しましたが、②の講座では学生の参加も予定しましたが実際は応募がありませんでした。今後若者の参加についての課題もあり、周知方法の検討が必要です。「放射線ってなに？」の講座は参加者が集まらず実施できませんでした。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
26	小和田公民館	1 男女平等の意識づくり	③平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進するために、市内在住の外国人を講師に、その国の文化にふれ、交流をはかることを目的とする事業を1つ計画しました。	「音楽で気軽に国際交流～豊かな大地ロシアの音楽にふれて～」を開催し、異文化にふれ交流する機会を提供し、目標を達成することができました。	平成24年度においては、他の事業との兼ね合いもあり実施しなかったが、平成25年度においては実施予定です。	茅ヶ崎市在住の中米の国ホンジュラスの方を講師に招き、1回目は小学生とその保護者を対象に国や文化についてのお話と郷土料理の調理と試食、2回目は、一般を対象に国の特産物であるコーヒー豆にまつわる話を伺い、中米の国ホンジュラスに対する理解を深めることができました。
	小和田公民館	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、子育て支援講座を乳幼児、小学生、中学生に分け、それぞれの保護者を対象に3事業を計画しました。	子育て支援講座を乳幼児編、小学生編、中学生編に分け、それぞれの保護者を対象に開催し、各世代の子育てのニーズに対応することができました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	子どもらしさの発見と小学校での育ちについての講演会を開催し、多くの参加者があった。青少年育成推進協議会及びPTAとの共催で次年度以降も継続して取り組んでいきます。	ちびっこ広場では未就園児とその保護者にふれあいと仲間づくりの場を提供できました。また、家庭教育の支援に関する事業では生きていくうえで困難な局面を乗り越えるために自分で考え、選んでゆく力を養ってゆくにはどのようにすればよいのか、また、小学校期に抱える心の問題や中学校に進んだ時に感じる環境の変化について教育者としての経験から話を伺い、子育て支援の一環としました。 青少年育成推進協議会及びPTAとの共催で次年度以降も継続して取り組んでいきます。
27	鶴嶺公民館	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、子育て支援講座や介護に関する講座を実施しました。	「つるみね子育て講座」は参加人数及び実施回数は目標値を超えましたが、「カルガモ～子育ての広場～」と「疲れない介護」については参加者数が目標値を下回りました。講座保育ボランティアについては2回実施して目標値を上回り、未就学児を持つ子育て中の人が参加しやすくなりました。 事務事業名「新たな分野に取り組む事業」は実施することができませんでした。 つるみね子育て講座等で託児が必要な場合、保育を実施し、未就学児を持つ子育て中の人が参加しやすくなりました。 事務事業は次年度以降も継続して取り組んでいきます。	「疲れない介護」と子育ての広場「カルガモ」は参加人数が目標値を下回りましたが、カルガモは6月・7月の猛暑で外出を控えたのが原因として考えられます。 つるみね子育て講座は、実施回数と参加人数は目標値を上回りました。 講座保育ボランティアは実施回数と利用人数、昨年実績も上回りました。保育を実施し、未就学児を持つ子育て中の人がさらに講座へ参加しやすくなりました。	「子育ての広場カルガモ」、「つるみね子育て講座」で実施回数は目標とあり実施しましたが参加者数は目標値を下回りました。「疲れない介護」と「しなやかに生きるための女性講座」は実施しませんでした。 各講座の実施時に保育ボランティアを配置し、未就学児を持つ子育て中の人が参加しやすい環境を整えました。
	鶴嶺公民館	3 人権が尊重される社会づくり	⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備する一助として、学習会会の提供を予定していません。			事務事業全体を見直した結果、当該事業は実施しませんでした。 次年度以降は、事務事業全体のバランスを勘案して事業を検討してまいります。
28	松林公民館	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育てが、しやすい環境をつくるために、子育て中の親に学習会会の提供のため講座一時保育を実施しました。 ⑥男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめるために、日頃公民館を利用しない男性に、公民館事業を理解してもらい、地域参加へのきっかけをつくり、家庭参加の機会として実施しました。	男性料理教室を10月と3月の2回実施し、男性の家庭参加や地域とのふれあいの機会を提供することができ、目標を達成することができました。 子育て講座等に保育をつけて子育て中の親に学習機会を提供し、目標を達成することができました。 活動は全て目標を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	子育て講座等に保育をつけて子育て中の親に学習機会を提供し、目標達成することができました。 男性料理教室については、開催回数が、目標値を下回ってしまいましたが、次年度以降も事業内容等を精査し継続して取り組んでいきます。	家庭教育支援関連事業については、各事業とも講師、ボランティアの協力により、学習やコミュニケーションの場として機能したと考えます。次年度以降については、父親向け事業の内容検討をさらに深めていきます。 社会的要請課題をテーマとした事業についても、目標の2事業を実施することができ、次年度に向けても、事業内容を精査し、継続して取り組んでいきます。
29	南湖公民館	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、親子で気軽に参加できるフリースペースの開設や家庭教育についての講座、子育て中の親を支えるボランティア活動の場を提供しました。	わらべうたと絵本で遊ぼうでは、わらべうたや絵本をとおして、親と子どものコミュニケーションを取り子どもの健やかな成長を育む講座を開催しました。 絵本とお話の時間では、親子、友だちと時間を共有し、子どもの心や言葉が健全に育つ講座を開催しました。 ひだまりでは、子どもと保護者がゆったりとした時間を過ごす空間をつくり、子育て支援を目的とする講座を開催しました。 活動は全て目標を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	わらべうたと絵本で遊ぼうでは、わらべうたや絵本をとおして、親と子どものコミュニケーションを取り子どもの健やかな成長を育む講座を開催しました。 絵本とお話の時間では、親子、友だちと時間を共有し、子どもの心や言葉が健全に育つ講座を開催しました。 ひだまりでは、子どもと保護者がゆったりとした時間を過ごす空間をつくり、子育て支援を目的とする講座を開催しました。 活動は全て目標を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	わらべうたと絵本で遊ぼうでは、わらべうたや絵本をとおして、親と子どものコミュニケーションを取り子どもの健やかな成長を育む講座を開催しました。 絵本とお話の時間では、親子、友だちと時間を共有し、子どもの心や言葉が健全に育つ講座を開催しました。 ひだまりでは、子どもと保護者がゆったりとした時間を過ごす空間をつくり、子育て支援を目的とする講座を開催しました。 活動は全て目標を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。

No.	担当課名	基本目標	目標及び取り組みの方向性	平成23年度評価	平成24年度評価	平成25年度評価
29	南湖公民館	3 人権が尊重される社会づくり	⑩生涯にわたる健康を支援するために、健康講座・健康相談事業を推進しました。 ⑫様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備するために、環境、平和、情報化などの社会や地域の現況を見据えた事業を定期的に開催しました。	健康講座では、現代日本人の抱える、心と体の健康に関する諸問題を1年間を通して学習しました。 家庭教育支援講座では、次世代育成を主眼として親の役割や子育てに必要なことを学ぶ講座を開催しました。 現代的・地域的課題講座では、様々な切り口で現代・地域課題について考える講座を開催しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	健康講座では、現代日本人の抱える、心と体の健康に関する諸問題を学習しました。 家庭教育支援講座では、次世代育成を主眼として親の役割や子育てに必要なことを学ぶ講座を開催しました。 現代的・地域的課題講座では、様々な切り口で現代・地域課題について考える講座を開催しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	健康講座では、現代日本人の抱える、心と体の健康に関する諸問題を学習しました。 家庭教育支援講座では、次世代育成を主眼として親の役割や子育てに必要なことを学ぶ講座を開催しました。 現代的・地域的課題講座では、様々な切り口で現代・地域課題について考える講座を開催しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	南湖公民館	4 男女が共に参画するまちづくり	⑭市民が主体的に男女共同参画を推進するために、子育て中の親を支えるボランティア活動の場を提供しました。	講座保育ボランティア事業では、公民館の講座に子育て中の親が参加しやすいよう、講座保育制度を設け、その保育のボランティア登録に取り組みました。 事務事業は、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	講座保育ボランティア事業では、公民館の講座に子育て中の親が参加しやすいよう、講座保育制度を設け、その保育のボランティア登録に取り組みました。 事務事業は、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	講座保育ボランティア事業では、公民館の講座に子育て中の親が参加しやすいよう、講座保育制度を設け、その保育のボランティア登録に取り組みました。 事務事業は、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
30	香川公民館	1 男女平等の意識づくり	③平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進するために、国際理解・異文化理解を深める機会を充実しました。	「ナマステ（こんにちは）ネパール」の講座を開催し、国際理解・国際協力の輪を広げました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	講座「シルクロードのオアシス 国家・ウズベキスタン」を開催し、国際理解の輪を広げました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	講座「ヘルメットから見た日本の生活」を開催し、自国を理解するとともに国際理解の輪を広げました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
	香川公民館	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、家庭教育支援事業を充実しました。	乳幼児を持つ親に憩いの場として「かめさんのおうち」を開催し、参加者相互の交流の場、子育てに関する情報の提供をしました。また、その保育相談者の研修会も開催しました。この事業は参加者も多く、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	乳幼児を持つ親に憩いの場として「かめさんのおうち」を開催し、参加者相互の交流の場、子育てに関する情報の提供をしました。また、その保育相談者の研修会も開催しました。この事業は参加者も多く、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	乳幼児を持つ親に憩いの場として「かめさんのおうち」を開催し、参加者相互の交流の場、子育てに関する情報の提供をしました。この事業は参加者も多く、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
31	青少年課	3 人権が尊重される社会づくり	⑦あらゆる暴力をなくすために、特に青少年においては「子どもの安全を守る都市宣言」に基づき、その理念の具現化に向け、子どもの安全を守るキャンペーンなどの啓発活動を充実するとともに、インターネット上の青少年に対する有害情報の監視事業を実施しました。	青少年関係団体の協力、および防災無線・市広報紙等による呼びかけ、更には市職員による見守り活動などにより、全市的な子どもの安全を守る取り組みを実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	青少年関係団体の協力、および防災無線・市広報紙等による呼びかけ、更には市職員による見守り活動などにより、全市的な子どもの安全を守る取り組みを実施しました。 活動は全て目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	青少年関係団体の協力、および防災無線・市広報紙等による呼びかけ、更には市職員による見守り活動などにより、全市的な子どもの安全を守る取り組みを実施しました。 活動は概ね目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。
32	図書館	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育て、介護がしやすい環境をつくるために、親子の憩いの場や交流づくりを目的に読み聞かせ講習会やおはなし会を行いました。	読書に親しむ基礎となる読み聞かせの基礎的技術を学ぶため、読み聞かせ講習会を開催しました。また、おはなし会を定期的に開催し、絵本の読み聞かせや手遊び等を行いました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	読書に親しむ基礎となる読み聞かせの基礎的技術を学ぶため、読み聞かせ講習会を開催しました。また、おはなし会を定期的に開催したほか、図書館以外の場所へも出向いて読み聞かせを行いました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。	継続的に実施している読み聞かせ講習会に加えて、乳幼児期における家庭での読み聞かせについての講演会を実施しました。また、おはなし会を定期的に開催したほか、子育て支援センターなどにも出向いて読み聞かせを行いました。香川分館でも本館に続き乳幼児向けのおはなし会を隔月で開催しました。 活動は目標値を達成しており、次年度以降も継続的に取り組んでいきます。
33	教育センター	2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	⑤子育てに関する情報を提供するために、講座・講演会を開催しました。			講座・講演会では、より多くの方に参加いただけるよう、広報に努めました。 講座・講演会参加者数は、大雪のため講座が1回中止となったものの目標値を概ね達成しており、次年度以降も継続して取り組んでいきます。

Ⅳ 資料

ちがさき男女共同参画推進プラン後期事業計画 事務事業一覧

基本目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
1 男女平等の意識づくり	1 男女平等について学ぶ機会を増やす	1	階層別研修	職員課	22
		2	生涯学習の機会の提供	文化生涯学習課	22
		3	生涯学習の機会の提供	文化生涯学習課	22
		4	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	22
		5	ふれあい教育推進事業	学校教育指導課	22
		6	学校訪問（計画・要請・機会訪問）	学校教育指導課	22
		7	人権教育講座	学校教育指導課	22
	2 「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割意識をなくす	8	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	24
		9	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	24
	3 平和の尊さを啓発する事業と国際連携及び協力を推進する	10	平和啓発事業	男女共同参画課	24
		11	「平和について」ポスター・作文コンテスト事業	男女共同参画課	24
		12	ピーストレイン平和大使広島派遣事業	男女共同参画課	24
		13	国際交流関係事業	男女共同参画課	24
		本年度対象外	茅ヶ崎市外国語版便利帳改訂版作成事業 ※後期事業計画から追加	男女共同参画課	24
		14	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「一般学習事業」から変更	小和田公民館	24
15	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「国際・異文化理解事業」から変更	香川公民館	26		
2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	4 働きやすい環境をつくる	16	時間外勤務削減に向けてのノー残業デーの実施	職員課	26
		17	総合評価落札方式	契約検査課	26
		18	ちがさきしごと相談デー	雇用労働課	26
		19	ちがさき就職サポートコーナー	雇用労働課	26
		20	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	26
		21	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	26
		22	待機児童解消のための保育園整備拡充	保育課	26
		23	放課後児童健全育成事業	保育課	26

基本 目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	4 働きやすい環境をつくる	24	家庭的保育事業	保育課	26
		25	休日等保育事業	保育課	28
		26	延長保育事業	保育課	28
		27	特定保育事業	保育課	28
		28	一時預かり事業	保育課	28
		29	病後児保育事業	保育課	28
		30	産休明け保育事業	保育課	28
	5 子育て、介護がしやすい環境をつくる	31	地域包括支援センター運営事務	高齢福祉介護課	28
		32	地域福祉総合相談室運営事業 ※後期事業計画から追加	子育て支援課	28
		33	子育て支援の推進事業	子育て支援課	28
		34	子育てポータルサイト事業 ※後期事業計画から追加	子育て支援課	28
		35	子育て短期支援事業	子育て支援課	30
		36	子育て支援センター事業	子育て支援課	30
		37	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	30
		38	母子保健指導事業	こども育成相談課	30
		39	子育て教室事業	こども育成相談課	30
		40	育児支援家庭訪問事業	こども育成相談課	30
		41	療育相談事業	こども育成相談課	30
		42	道路安全施設設置事業	道路管理課	30
		43	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「親子ふれあい事業」から変更	小和田公民館	30
		44	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「子育て支援事業」から変更	小和田公民館	30
		45	講座保育ボランティア	鶴嶺公民館	30
		46	子ども事業 ※後期事業計画より「子育ての広場」から変更	鶴嶺公民館	30
		47	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「つるみね幼児子育て講座」から変更	鶴嶺公民館	30
48	疲れない介護 ※前期事業計画で終了	鶴嶺公民館	32		

基本 目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
2 仕事と生活の両立ができる環境づくり	5 子育て、介護がしやすい環境をつくる	49	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「子育て支援事業」から変更	松林公民館	32
		—	子育て支援事業 ※後期事業計画より「子育て支援事業」から変更、No.49と統合	松林公民館	32
		—	子育て支援事業 ※前期事業計画で終了	松林公民館	32
		—	子育て支援事業 ※前期事業計画で終了	松林公民館	32
		50	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「一般学習事業」から変更	松林公民館	32
		51	楽しい子育て講座事業	南湖公民館	32
		52	絵本とお話の時間事業	南湖公民館	32
		53	ひだまり事業	南湖公民館	32
		54	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「家庭教育支援事業」から変更	香川公民館	32
		55	家庭教育支援関連事業 ※後期事業計画より「家庭教育支援事業」から変更	香川公民館	32
		56	子ども読書活動推進事業	図書館	32
		57	図書館自主事業	図書館	32
	58	幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業 ※後期事業計画から追加	教育センター	34	
	59	「子どもの教育」講座・講演会 ※後期事業計画から追加	教育センター	34	
	6 男性の家庭生活や地域生活への参画をすすめる	60	次世代育成支援対策の推進	職員課	34
		61	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	34
		62	母子保健指導事業	こども育成相談課	34
		63	社会教育講座の開催	社会教育課	34
		—	社会的要請課題をテーマとした事業 ※後期事業計画より「男性の家庭生活への参画」から変更、No.50と統合	松林公民館	34
3 人権が尊重される社会づくり	7 あらゆる暴力をなくす	64	セクシャルハラスメント防止対策	職員課	36
		65	性別欄廃止の推進	企画経営課	36
		66	人権擁護活動事業	市民相談課	36
		67	女性問題の研究調査及び啓発	男女共同参画課	36
		68	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	36
		69	保健福祉総合相談事業	保健福祉課	36

基本 目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
3 人権が尊重される社会づくり	7 あらゆる暴力をなくす	70	家庭児童相談事業	こども育成相談課	36
		71	家庭児童相談事業 ※後期事業計画から追加	こども育成相談課	36
		72	子どもの安全を守る都市の推進	青少年課	36
		73	子どもの安全を守る都市の推進	青少年課	36
		74	子どもの安全を守る都市の推進	青少年課	36
		75	子どもの安全を守る都市の推進	青少年課	36
		76	子どもの安全を守る都市の推進	青少年課	38
	8 茅ヶ崎市女性センターを拠点とした相談事業に取り組む	77	DV被害者支援ネットワーク事業	男女共同参画課	38
		78	女性問題の研究調査及び啓発	男女共同参画課	38
		79	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	38
	9 女性が自分のからだのことを自分で決める権利を女性の人権として確立する	80	人権同和対策に関すること	男女共同参画課	38
		81	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	38
		82	がん検診事業	保健福祉課	38
		83	がん検診事業	保健福祉課	40
		84	母子健康手帳交付事業	こども育成相談課	40
		85	妊婦健康診査事業	こども育成相談課	40
		86	妊婦健康診査事業	こども育成相談課	40
		87	母子栄養健康づくり事業	こども育成相談課	40
	10 生涯にわたる健康を支援する	88	集団健康教育事業	スポーツ健康課	40
		89	栄養改善事業	スポーツ健康課	40
		90	健康相談事業	保健福祉課	40
		91	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	高齢福祉介護課	40
		92	介護予防・健康づくり事業	高齢福祉介護課	40
93		脳の健康教室事業	高齢福祉介護課	42	

基本 目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
3 人権が尊重される社会づくり	10 生涯にわたる健康を支援する	94	思春期保健事業	こども育成相談課	42
		95	思春期保健事業	こども育成相談課	42
		96	乳幼児健康診査事業	こども育成相談課	42
		97	乳幼児健康診査事業	こども育成相談課	42
		98	乳幼児健康・育児相談事業	こども育成相談課	42
		99	健康講座事業	南湖公民館	42
	11 人権尊重のために、メディアからの情報を主体的に読み解く力（メディア・リテラシー）を育成する	100	広報主任会議でのメディア・リテラシーの周知・啓発	秘書広報課	42
		101	人権擁護活動事業	市民相談課	42
		102	人権擁護活動事業	市民相談課	42
		103	人権擁護活動事業	市民相談課	44
		104	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	44
	12 様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備する	—	外国人相談事業 ※前期事業計画で終了	男女共同参画課	44
		105	重度障害者医療費助成事業	障害福祉課	44
		106	障害者就労支援事業	障害福祉課	44
		—	障害者地域作業所指導事業 ※前期事業計画で終了	障害福祉課	44
		107	自立支援給付費に関する事務	障害福祉課	44
		108	コミュニケーション支援事業	障害福祉課	44
		109	成年後見制度利用支援事業	障害福祉課	44
		110	地域活動支援センター及び相談・生活支援事業	障害福祉課	44
		111	訪問入浴サービスに関する事務	障害福祉課	46
112		移動支援事業	障害福祉課	46	
113		日中一時支援事業	障害福祉課	46	
114		店舗活用型就労支援事業	障害福祉課	46	

基本 目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
3 人権が尊重される社会づくり	12 様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境を整備する	115	SOSネットワーク事業	障害福祉課	46
		116	障害者虐待防止事業 ※後期事業計画から追加	障害福祉課	46
		117	任意事業	高齢福祉介護課	46
		118	母子父子家庭親子ふれあい事業	子育て支援課	46
		119	母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	46
		120	母子家庭高等技能訓練促進費事業	子育て支援課	46
		121	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	子育て支援課	46
		122	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課	46
		123	道路舗装修繕事業 ※後期事業計画より「歩道段差改良工事」から変更	道路管理課	46
		124	市道0107号線（桜道）整備事業	道路管理課	48
		125	小学校特別支援学級教育支援事業	学校教育指導課	48
		126	中学校特別支援学級教育支援事業	学校教育指導課	48
		127	社会的要請課題をテーマとした事業	鶴嶺公民館	48
		128	家庭教育支援事業	南湖公民館	48
129	現代的・地域的課題講座事業	南湖公民館	48		
4 男女が共に参画するまちづくり	13 政策・方針決定過程の場に女性の参画を増やす	130	女性職員の管理職への登用	職員課	48
		131	市民参加推進・啓発事業	市民自治推進課	48
		132	農業経営基盤強化促進事業 ※後期事業計画から追加	農業水産課	48
		133	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	48
		134	選挙管理委員会会議	選挙管理委員会事務局	50
		135	女性教職員の管理職への登用	学務課	50
	14 市民が主体的に男女共同参画を推進する	136	市民活動サポートセンター管理運営事業	市民自治推進課	50
		137	地域集会施設の管理運営事業	市民自治推進課	50
		138	市民活動推進補助事業	市民自治推進課	50
		139	市民活動等災害補償制度事業	市民自治推進課	50
140		防災訓練事業（総合防災訓練の開催）	防災対策課	50	

基本 目標	目標	No.	事務事業名	担当課名	頁
4 男女が共に 参画するまちづくり	14 市民が主体的に男女共同参画を 推進する	141	自主防災組織育成事業（地区自治会連合会防災訓練の指導）	防災対策課	50
		142	自主防災組織育成事業（防災研修会の開催）	防災対策課	50
		143	自主防災組織育成事業（防災リーダーの育成）	防災対策課	50
		144	自主防災組織育成事業（女性消防隊の育成）	防災対策課	52
		145	自主防災組織育成事業（避難所関係者による打合せ会）	防災対策課	52
		146	地域防災計画推進事業 ※後期事業計画から追加	防災対策課	52
		147	地域防犯活動推進事業	安全対策課	52
		148	地域防犯活動推進事業	安全対策課	52
		149	交通安全啓発事業	安全対策課	52
		150	地産地消推進事業	農業水産課	52
		151	まなび人材事業	文化生涯学習課	52
		152	生涯学習情報の収集・提供と相談体制の充実	文化生涯学習課	52
		153	地域における男女共同参画の推進	男女共同参画課	52
		154	男女共同参画推進センターいこりあ登録団体申請 受付及び支援	男女共同参画課	52
		155	新たな分野に取り組む事業	男女共同参画課	52
		156	男女共同参画啓発等推進事業	男女共同参画課	52
		157	市民の森再整備ワーキング	公園緑地課	54
		158	救命講習普及啓発事業（旧救命講習会拡大事業） ※後期事業計画から追加	救命課	54
		本年度対象外	県議会議員及び県知事選挙の執行管理	選挙管理委員会事務局	54
		本年度対象外	市議会議員及び市長選挙の執行管理	選挙管理委員会事務局	54
本年度対象外	衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の 執行管理	選挙管理委員会事務局	54		
159	参議院議員通常選挙の執行管理	選挙管理委員会事務局	54		
160	講座保育ボランティア事業	南湖公民館	54		

ちがさき男女共同参画推進プラン 進捗状況に関する報告書【平成23～25年度】

平成26年（2014年） 7月発行 100部

発行 茅ヶ崎市

編集 文化生涯学習部男女共同参画課男女共同推進担当

〒253-0044

神奈川県茅ヶ崎市新栄町12番12号トラストビル4階

電話 0467-57-1414

FAX 0467-57-1666

ホームページ <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp>

メールアドレス danjo@city.chigasaki.kanagawa.jp

携帯サイト
QRコード

